

平成 29 年度

白石町当初予算説明資料

主要事項内容説明書

目 次

各 課 の 主 要 事 項 説 明

《 一般会計予算 主要事項説明 》

【総務課】

がばいよかとこ発信事業	【新】	1
犯罪被害者等支援費	【新】	2

【企画財政課】

地域づくり推進費(コミュニティタクシー運行事業)		3
婚活サポート事業費		4
空き家バンク事業	【新】	5

【住民課】

通知カード・個人番号カード交付事業費		6
国民健康保険事業		7
後期高齢者医療事業		8

【保健福祉課】

臨時福祉給付金事業		9
児童手当		10
ひとり親家庭等医療助成費		11
町立保育園公設民営費		12
学童保育事業費		13
地域子育て支援事業費		14
不妊治療支援事業費		15
子どもの医療事業費		16
予防接種事業費		17
生活習慣病予防事業		18
成人検診事業費		19

【長寿社会課】

障害者自立支援給付費		20
障害児通所支援給付費		21
重度心身障害者医療給付費		22
敬老の日記念事業		23
地域介護・福祉空間整備推進事業 (既存高齢者施設等の防犯対策強化事業)	【新】	24
介護保険事業費		25
生きがい活動支援通所(デイサービス)事業		26
食の自立支援事業費		27
介護予防普及啓発事業費		28
生活支援体制整備事業費		29
認知症施策推進事業	【新】	30

【生活環境課】

指定ごみ袋等作成業務		31
一般廃棄物収集運搬業務		32
ごみ処理センター負担金		33
容器包装廃棄物収集運搬事業		34
し尿処理業務		35

【水道課】

上水道一部事務組合への出資事業		36
水道事業特別会計への補助金		37

【下水道課】

浄化槽整備推進事業		38
公共下水道等接続促進事業		39

【農業振興課】

しろいし農業塾	・・・・	40
新規農業就業者対策支援事業	・・・・	41
新規就農・経営継承総合支援事業	・・・・	42
さが園芸農業者育成対策事業	・・・・	43
玉葱生産安定対策事業	・・・・	44
土づくり推進事業費補助金	・・・・	45
農業経営力向上支援事業	・・・・	46
佐賀県集落営農組織法人化推進事業費	【新】・・・・	47
集落営農法人経営安定化支援事業	・・・・	48

【産業創生課】

ふるさと応援事業費	・・・・	49
地域おこし協力隊推進事業	・・・・	50
道の駅施設整備事業	・・・・	51
6次産業推進事業費	・・・・	52
6次産品販路拡大事業	・・・・	53
新規農産物開発研究費	・・・・	54
商工振興費(地域商業活性化支援事業補助金)	【新】・・・・	55
商工団体振興事業補助金(商工団体環境整備事業費補助金)	【新】・・・・	56
観光費	・・・・	57

【農村整備課】

地盤沈下対策事業費負担金	・・・・	58
土地改良施設維持管理適正化事業	・・・・	59
多面的機能支払交付金 農地維持支払事業	・・・・	60
多面的機能支払交付金 資源向上支払(共同活動)事業	・・・・	61
多面的機能支払交付金 資源向上支払(長寿命化)事業	・・・・	62
基幹水利施設ストックマネジメント事業	・・・・	63
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	・・・・	64
農業基盤整備促進事業	・・・・	65
基幹水利施設管理事業費	・・・・	66
基幹水利施設管理事業費(佐賀西部白石地区)	・・・・	67
排水機場管理事業費	・・・・	68
ため池等整備事業費	・・・・	69

漁業環境保全事業費	・・・・	70
漁港整備事業費	・・・・	71

【建設課】

住民協働・道路等環境整備事業費	・・・・	72
社会資本整備総合交付金事業 道路改築・修繕事業	・・・・	73
道路新設改良費	・・・・	74
社会資本整備総合交付金事業 通学路整備事業	・・・・	75
社会資本整備総合交付金事業 橋りょう長寿命化事業	・・・・	76
公営住宅ストック総合改善事業	・・・・	77

【学校教育課】

外国青年語学指導助手設置費	・・・・	78
スクールカウンセラー配置事業費	・・・・	79
適応教室事業	・・・・	80
学校教育課費(小学校情報教育費)	・・・・	81
学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業	・・・・	82
コミュニティ・スクール事業費	・・・・	83
小学校施設整備費	・・・・	84
中学校施設整備費	・・・・	85
子どもの学習環境改善事業	・・・・	86

【生涯学習課】

人権・同和教育費	・・・・	87
中央公民館費	・・・・	88
文化活動推進・文化財保護費	・・・・	89
青少年育成費	・・・・	90
スポーツ事業費	・・・・	91
ロードレース大会費	・・・・	92
白石社会体育館改修事業費	・・・・	93
パークゴルフ場費	・・・・	94
■平成29年度起債充当事業一覧	・・・・	95
■平成29年度ふるさと寄附金充当事業一覧	・・・・	96

■平成29年度地方消費税交付金(社会保障財源化分)が 充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に 要する経費	・ ・ ・ ・ 97
---	------------

《 特別会計予算 主要事項説明 》

【住民課】

国民健康保険特別会計	・ ・ ・ ・ 98 ～ 101
後期高齢者医療特別会計	・ ・ ・ ・ 102

【下水道課】

農業集落排水特別会計(農業集落排水機能強化事業)	・ ・ ・ ・ 103
地方公営企業化推進費	【新】・ ・ ・ ・ 104
特定環境保全公共下水道特別会計(公共下水道施設整備費)	・ ・ ・ ・ 105

【水道課】

水道事業特別会計(水道管管網整備事業)	・ ・ ・ ・ 106
---------------------	-------------

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	2	項	1	目	9	細事業名	がばいよかこ発信事業				所属	総務課 広報情報係
目 名 称	広報広聴費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,512					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	60	
	前年度当初	0			前年度最終	0					1,512	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節		生活基盤の充実
1 目的	「白石町まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の施策の一つである「がばいよかこ発信事業」として、本町を全国に向けてPRすることを目的に、ホームページのリニューアル及び町のPR映像制作・公開に取り組んできた。今後も引き続き本町のPRを全国に行いつつも、特に福岡都市圏をターゲットとしたPR活動を行っていく。											
2 事業内容	町内外への「白石町」のPR事業											
	1. 「白石町」のPR用ポスター制作											
	・ 年間通じて町内外の施設や催事や物品販売などの会場に掲示できるポスター。町の風景などで町をイメージしてもらえるポスター制作。											
	2. プレス発表・記者発表等で活用する広報パネル作成											
	・ 記者会見や表敬訪問などで用いる広報バックパネル作成											
	3. 福岡市中心に配布されるフリーペーパーへのイベント広告費											
	・ 福岡市内の女性(OLや主婦)をターゲットにしたフリーペーパーへの、町が行う福岡でのイベント(物品販売など)の広告掲載											
	4. 町PR用名刺デザイン等の作成											
	・ 町PR向けの名刺デザイン等を作成する。PR用名刺を作成し、配布することで町のPRにつながる。											
3 予算額												
	11 需用費											756 千円
	・ PRポスター制作費(大判サイズ:500枚)											540 千円
	・ 広報用パネル制作費(サイズ:2.2m×2.2m)											216 千円
	12 役務費											540 千円
	・ 広告費(福岡市内配布のフリーペーパー広告掲載)											540 千円
	13 委託料											216 千円
	・ PR名刺用デザイン等作成業務委託											216 千円
4 事業の効果	県外・町外に向け白石町の魅力を発信することで、町の知名度を上げ各資源を通じたファンの確保や交流人口等の増加を目指すことで、町民にとっても本町の魅力を再認識する機会になる。											

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	13	細事業名	犯罪被害者等支援費			所属	総務課 危機管理・防災係
目 名 称	諸費					財 源 内 訳					
予 算 額	400					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	65
	前年度当初	0	前年度最終	0						400	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節	災害に強く安全・安心な生活環境の整備		

1 目的

犯罪被害者やその家族、遺族(犯罪被害者等)は、犯罪に巻き込まれたことで、平穏な生活が一変し、心身の不調や生活上の問題など様々な苦痛を余儀なくされる。この精神的・経済的打撃の緩和を図り、犯罪被害者等が1日でも早く再び平穏な生活を営むことができるよう経済的な支援を行い、安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

2 事業内容

◆白石町犯罪被害者等支援条例

- ①遺族見舞金 犯罪行為により死亡した者の遺族に支給 300,000円/人
- ②傷害見舞金 犯罪行為により傷害を受けた者に支給 100,000円/人

3 予算額

節	金額	説 明
19 負担金、補助及び交付金	400	①遺族見舞金 犯罪行為により死亡した者の遺族に支給 300,000円×1件=300,000円 ②傷害見舞金 犯罪行為により傷害を受けた者に支給 100,000円×1件=100,000円
合 計	400	

4 事業の効果

経済的支援として支援金的な見舞金を支給することにより、支援の迅速化と被害者のニーズへの柔軟な対応ができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計						単位:千円		
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域づくり推進費 (コミュニティタクシー運行事業)				所属	企画財政課 白石創生推進係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	16,644					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	57・60		
	前年度当初	15,774	前年度最終	15,974				15,000		1,644	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

1 目的

合併後、新しい町の地域生活の向上や町の活性化などのために地域交通の確保が必要であり、新町の一体化を強化するとともに、利用者のニーズや利用実態を踏まえ、地域の実情に応じた生活交通の確保、輸送体系の確立を図る。

2 事業内容

道路輸送法の規定に基づき、地域公共交通会議において、地域における需要に応じた町民の生活に必要な公共交通の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を決定し、コミュニティタクシーの運行事業を行う。

・白石町地域公共交通会議の開催(コミュニティタクシーの運行事業の実施に必要な事項を協議する会議の開催)

・白石町コミュニティタクシー運行事業

◆定時定路線型(いこカー) 牛間田横手線・福富線

◆デマンド型(予約制いこカー) 町内全域を4エリアに分けて運行

3 予算額

節	予算額(千円)	内容説明及び積算基礎
8. 報償費	130	白石町地域公共交通会議委員報償 5,400円×12人×2回=129,600円
11. 需用費	100 214	コミュニティタクシー停留所修理費 コミュニティタクシー(いこカー)(予約制いこカー)時刻表印刷費
19. 負担金補助 及び交付金	16,200	コミュニティタクシー運行補助金 ・定時定路線型(いこカー) 9,200,000円 ・デマンド型(予約制いこカー) 7,000,000円

4 事業の効果

新町の一体性を強化するとともに、付加価値の高い交通体系の整備・充実を目指すことができる。
移動手段を確保することにより、安心・安全な地域づくりに寄与できる。

単位：千円

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計							
款	2	項	1	目	8	細事業名	婚活サポート事業費			所属	企画財政課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,407					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	1,485	前年度最終	1,485					1,407	56～58	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実			

1 目的

町内の独身者の未婚化、晩婚化に歯止めをかけ、少子化対策及び定住促進に寄与する。

- ※ 第1期婚活サポーター 17名 平成26.7.1～平成28.3.31
- ※ 第2期婚活サポーター 23人 平成28.4.1～平成30.3.31

2 事業内容

- ・婚活サポーターを設置し、結婚に関する相談及び結婚までの息の長い支援等を行う。
- ・結婚を望む独身者に対し、結婚に向けてのセミナーを開催することにより、結婚をサポートする。

3 予算額

節	予算額(千円)	内容説明及び積算基礎
8. 報償費	902	婚活セミナー講師謝金 30,000円×4回=120,000円 婚活サポーター謝礼 2,000円×12月×23名=552,000円 引き合わせ実費弁償分 10,000円×23名=230,000円
11. 需用費	100	消耗品費 100,000円
12. 役務費	275	広告料 10,000円×1回+50,000円×1回=60,000円 イベント手数料 100,000円 傷害保険料 5,000円×23名=115,000円
14. 使用料	130	バス借上げ料 100,000円 会場借上げ料 30,000円

4 事業の効果

結婚希望者に対する婚活をサポートすることにより、未婚化、晩婚化に歯止めをかけ、少子化対策及び定住促進に寄与することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	2	項	1	目	8	細事業名	空き家バンク事業				所属	企画財政課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,803					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	56~58	
	前年度当初	0	前年度最終	0						1,803	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

空き家の有効活用と移住・定住及び地域の活性化を図ることを目的として、「白石町空き家バンク」を創設する。
また、近年、適切に管理されていない空き家が増加し、防災、衛生、景観、防犯などの面で、近隣住民にも深刻な影響を及ぼしていることが問題となっている。このような「特定空家」にならないよう、町と協定締結した不動産事業者から提供された物件情報を町ホームページに掲載し、情報発信をしていくことを目的とする。

2 事業内容

- ・白石町空き家バンク制度創設に向けて、宅地建物取引業者と検討会開催
- ・白石町ホームページに空き家バンクサイト制作

3 予算額

節	予算額(千円)	内容説明及び積算基礎
8. 報償費	173	空き家バンク制度創設検討会報償費 5,400円×4人×8回=172,800円
9. 旅費	20	職員旅費 20,000円
11. 需用費	110	消耗品費 30,000円 印刷製本費 80,000円
13. 委託料	1,500	白石町HP空き家バンクサイト制作委託料

4 事業の効果

- ・白石町への移住・定住を促進し、地域の活性化を図ることが出来る。
- ・町内の空き家や空き地を有効活用することができる。
- ・適切に管理されていない空き家が「特定空家」になるのを防ぐことができる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	2	項	3	目	1	細事業名	通知カード・個人番号カード交付事業費			所属	住民課 住民係	
目 名 称	戸籍住民基本台帳費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	2,632					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	69・70	
	前年度当初	2,494	前年度最終	2,494			2,399		90	143	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本計画 第 6 章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進		
1 目的												
通知カード・個人番号カード交付事務を円滑に執行するために必要な経費を計上する。												
2 事業内容												
通知カードの新規・再交付申請受付 個人番号カードの交付事務(時間外交付については、予約により木曜日に実施) カードの記載事項変更												
<ul style="list-style-type: none"> ・通知カード・個人番号カード作成関連事務については、国の委託機関である地方公共団体情報システム機構が行う。 ・窓口での交付に係る事務経費については、市町負担となる。 												
3 予算額												
11 需用費	36 千円	消耗品	交付事務に係る消耗品及び事務用品		36,000円	インクリボン・クリーニングキット・事務用品等						
12 役務費	30 千円	通信運搬費	個人番号カード交付通知書発送料	切手代	82円×360通=29,520円							
13 委託料	2,566 千円	保守点検委託料	①カードプリンター保守委託料		64,000円(年額)×1.08=69,120円							
			②タッチパネル保守委託料		500円(月額)×12ヶ月×1.08=6,480円							
		その他委託料	通知カード・個人番号カード関連事務の交付金		2,399,000円							
			再発行委託料	通知カード	500円×172枚=86,000円							
				個人番号カード	800円×5枚=4,000円							
計	2,632 千円											
4 事業の効果												
交付事務を円滑に執行できる。												

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	3	項	1	目	1	細事業名	国民健康保険事業費			所属	住民課 保険係	
目 名 称	社会福祉総務費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	403,931					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	76	
	前年度当初	240,147	前年度最終	243,892		24,305	74,080			305,546	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節	社会保障の充実			

1 目的

国民健康保険事業費については、保険基盤安定繰出金、事務費等繰出金、出産育児一時金繰出金、財政安定化支援事業繰出金、財政補填繰出金を繰り出し、国保財政を支援する。

2 事業内容

①保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)【法定繰出】

市町村は、政令の定めるところにより、低所得者に対する保険料(税)軽減相当額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされている(法第72条の3第1項)。なお、都道府県は、政令の定めるところにより、その繰入金の3/4に相当する額を負担することとなっている。

②保険基盤安定繰出金(保険者支援分)【法定繰出】

保険税軽減の対象となった一般被保険者の数に応じて平均保険税の一定割合を公費で補填することにより、低所得者を多く抱える市町村を支援し、中間所得者層を中心に保険税負担を軽減する保険者支援制度が創設され、市町村は、政令の定めるところにより、支援額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされている(法附則第24条第1項)。なお、国、都道府県は、政令の定めるところにより、それぞれの繰入金の1/2、1/4を負担することとなっている。(法附則第24条第2項、第3項)

③事務費等繰出金【法定繰出】

国保事業を執行するために必要な一般管理費、連合会負担金、運営協議会費を町が事務費等繰出金として支援している。

④出産育児一時金繰出金【法定繰出】

被保険者が出産したときに支払われる出産育児一時金に対しても補助金額の2/3の支援金を繰り出している。

⑤財政安定化支援事業繰出金【法定繰出】

被保険者の応能保険料(税)負担能力が特に不足していること、病院の病床数が特に多いこと、被保険者の年齢構成が高齢者に偏っていることの三つの事由を想定して地方財政措置が講じられている。

⑥財政補填繰出金

H25年度保険税率(額)改定では賄えない収入不足について、一般会計から財政補填することで、国保特会の財政運営を支援する。

H30年4月の国保財政運営の都道府県単位化に向け、国保特会の赤字運営改善のため一般会計(一般財源)から財政支援を行う。

3 予算額

①保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)	82,570千円	②保険基盤安定繰出金(保険者支援分)	48,610千円	【法定繰出】①～⑤の計	163,931千円
③事務費繰出金	8,951千円	④出産育児一時金繰出金	9,800千円	【法定外繰出】⑥の計	240,000千円
⑤財政安定化支援事業繰出金	14,000千円	⑥財政補填繰出金	240,000千円	①～⑥合計	403,931千円

4 事業の効果

国民健康保険特別会計の財政が健全に運営される。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	後期高齢者医療事業費			所属	住民課 保険係	
目名称	老人福祉費					財 源 内 訳						
予 算 額	495,569					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
	前年度当初	497,495	前年度最終	498,759			83,700			411,869	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節	社会保障の充実		

1 目的 後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2 事業内容 町は、広域連合の経費負担、一定以上所得者分を除いた医療給付費の12分の1の定率負担、保険基盤安定制度の負担等が義務付けられている。

3 予算額	項 目	事業費	説 明		
	負担金	367,455	市町定率負担(一般会計から広域連合特別会計へ納付・高確法第98条) 療養給付見込額 4,467,138千円 - 特定費用(3割負担分) 52,146千円 - その他収入 5,527千円 = 負担対象額 4,409,465千円 負担対象額 4,409,465千円 × 定率負担 1/12 = 367,455千円		
	後期高齢者医療特別会計繰出金	128,114	徴収経費等事務費	特別会計の一般管理費50千円+徴収費716千円=766千円 その内徴収費に充当できる督促手数料分(50千円)を控除して計上 716千円	716
広域連合共通経費(一般会計分)			広域連合運営経費等(職員人件費、議会等) 均等割(10%) 965千円 + 人口割(45%) 2,507千円 + 高齢者人口割(45%) 3,199千円 = 6,671千円 (佐賀県広域連合合計192,936千円の約3.46%)	6,671	
広域連合共通経費(特別会計分)			運営経費(電算システム運営費、レセプト点検等) 均等割(10%) 1,087千円 + 人口割(45%) 2,825千円 + 高齢者人口割(45%) 3,606千円 = 7,518千円 (佐賀県広域連合合計217,443千円の約3.46%)	9,127	
保険基盤安定負担金			被保険者証郵送代実費負担金 1,609千円 低所得者軽減額 103,034千円 + 被扶養者軽減額 8,566千円 = 111,600千円 (負担金対象額) 町負担(1/4) 27,900 県負担(3/4) 83,700	111,600	
	計	495,569	県負担分は一般会計で歳入後、町負担分と合わせて後期特別会計へ繰出し、広域連合へ納付		

4 事業の効果 医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	3	項	1	目	1	細事業名	臨時福祉給付金事業				所属	保健福祉課 福祉係
目 名 称		社会福祉総務費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		65,186				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	74~76	
		前年度当初	18,000	前年度最終	15,406	65,186				0	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 4 節		社会保障の充実		

1 目的

平成26年4月に消費税率が8%に上げられたことに伴い、所得の低い方々の影響を緩和するため、『臨時福祉給付金』の支給を引き続き行うもの。
食料品支出額の増加分(3%アップ分)の平成29年4月~31年9月末までの2年6月分(軽減税率の導入を行うまで)として、給付対象者一人につき、15,000円)

2 事業内容

【基準日】…平成28年1月1日

【給付対象者】…平成28年度臨時福祉給付金給付対象者(平成28年度分の市町村民税(均等割)が課税されていない者から、以下の者を除いた者
[★市町村民税(均等割)が課税されている方から扶養されている方や、生活保護の被保護者等])

【給付額】…給付対象者一人につき、15,000円。

【実施方式】…実施主体は、市町村(町が実施する給付事業に要する経費を対象として、国が補助金(補助率10/10)を交付)

3 予算額

区 分	予算額(千円)	説 明
3. 職員手当等	800	時間外勤務手当
7. 賃 金	1,434	日々雇用職員賃金 6,400円×延べ224日
11. 需用費	300	消耗品費 用紙、事務用品
	100	印刷製本費 チラシ印刷費
	200	光熱水費 電気料金
12. 役務費	350	通信運搬費 郵送料
	350	手数料 口座振込手数料
13. 委 託 料	100	臨時福祉給付金システム改修委託料(H28で実施)
		申請書等封入封緘委託料(H28で実施)
		申請書データエントリー委託料 100,000円
14. 使用料及び賃借料	52	事務機器リース料
(事務費小計)	3,686	
19. 負担金補助及び交付金	61,500	臨時福祉給付金
合 計	65,186	

【支給対象者見込数】

4,100人

4 事業の効果

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響を緩和することが出来る。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	2	目	2	細事業名	児童手当			所属	保健福祉課 福祉係
目 名 称	児童措置費					財 源 内 訳					
予 算 額	374,850					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	88
	前年度当初	379,200	前年度最終	362,975		258,766	58,041			58,043	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実		

1 目的

子どもを養育している者に児童手当を支給することにより、次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資することを目的とする。

2 事業内容

支給対象:0歳から中学校修了までの子ども

支給月額:3歳未満15,000円、3歳以上小学校修了前(第1子・第2子)10,000円、3歳以上小学校修了前(第3子以降)15,000円、中学生10,000円

※ただし、児童を養育している者の所得が所得制限限度額以上の場合、特例給付として月額一律5,000円を支給する。

【交付金算定率】

支給対象児童		月額	国	県	町
3歳未満	被用者	15,000	37/45	4/45	4/45
	非被用者	15,000	4/6	1/6	1/6
3歳以上 小学校修了前	第1子・第2子	10,000	4/6	1/6	1/6
	第3子以降	15,000	4/6	1/6	1/6
中学生		10,000	4/6	1/6	1/6
所得制限以上世帯		5,000	4/6	1/6	1/6

【定時支給】

6月	2月~5月分
10月	6月~9月分
2月	10月~1月分

3 予算額

(単位:円)

支給対象児童		延べ人数	支給金額	国	県	町
3歳未満	被用者	3,800人	57,000,000円	46,866,667円	5,066,666円	5,066,667円
	非被用者	1,550人	23,250,000円	15,500,000円	3,875,000円	3,875,000円
3歳以上 小学校修了前	第1子・第2子	15,800人	158,000,000円	105,333,333円	26,333,333円	26,333,334円
	第3子以降	4,300人	64,500,000円	43,000,000円	10,750,000円	10,750,000円
中学生		6,900人	69,000,000円	46,000,000円	11,500,000円	11,500,000円
所得制限以上世帯		620人	3,100,000円	2,066,666円	516,666円	516,668円
合 計		32,970人	374,850,000円	258,766,666円	58,041,665円	58,041,669円

(月平均対象児童数) 2,748人

4 事業の効果

児童手当を支給することにより、保護者の経済的負担軽減に寄与し、児童の健やかな成長に資することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	2	目	3	細事業名	ひとり親家庭等医療助成費			所属	保健福祉課 福祉係
目名称	母子等福祉費					財源内訳					
予算額	9,200					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	88
	前年度当初	11,300	前年度最終	11,800		4,600			4,600	継続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第1節	子育て支援の充実	

1 目的

ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上、子どもの健全育成を目的とする。

2 事業内容

母子家庭の母、父子家庭の父及び児童等が健康保険により病院などの医療機関で受診を受けた場合、医療費の自己負担金の一部を助成する。

①母子家庭の母及び児童	父母:当該児童が20歳に達する日の前日まで
②父子家庭の父親及び児童	児童:18歳に達した日の属する年度末まで
③父母のいない児童	

※1ヶ月につき500円の自己負担、時効 診療日の翌日より2年

ひとり親家庭等医療費助成対象世帯数

	H25	H26	H27	H28
母子家庭	212	215	223	210
父子家庭	41	43	40	42
養育者家庭	1	1	1	1
計	254	259	264	253

(単位:円)

年度	助成件数(件)	助成額
H25	3,976	8,594,287
H26	4,150	10,500,000
H27	4,214	10,319,671
H28見込み	4,585	11,112,451

医療費支払(見込)状況 (単位:円)

支払月	H27年度実績		H28年度見込み	
	件数	金額	件数	金額
4月	317	704,812	582	1,276,775
5月	416	1,050,528	382	907,629
6月	286	764,970	470	1,240,850
7月	348	912,326	393	803,723
8月	474	1,181,801	282	600,554
9月	492	1,281,421	404	1,024,791
10月	362	676,040	208	567,450
11月	306	804,525	336	890,679
12月	250	526,698	382	950,000
1月	352	809,950	382	950,000
2月	209	548,359	382	950,000
3月	402	1,058,241	382	950,000
合計	4,214	10,319,671	4,585	11,112,451

3 予算額

(千円)

区分	予算額	財源内訳		
		県補助金	その他	一般財源
20扶助費	9,200	4,600		4,600

※小中学生の医療費が現物給付化することにより、子どもの医療費事業へ小中学生分が流れるため、小中学生分H28見込み(10ヶ月分)の額を減額し、H29予算を見込む。

$$11,112,451円 - 1,959,720円 = 9,152,731円 \div 9,200,000円$$

4 事業の効果

ひとり親家庭等の医療費の一部を助成することにより、生活の安定と福祉の向上を図る。

単位:千円

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計						所属	保健福祉課 こども未来係
款	3	項	2	目	4	細事業名	町立保育園公設民営費					
目 名 称	児童福祉施設費					財 源 内 訳				予算書頁		
予 算 額	545,723					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	90・91	
	前年度当初	494,123	前年度最終	577,823				266,300	279,423	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実		

1 目的 新たな保育ニーズへの柔軟な対応が可能となる民営化を推進する。

2 事業内容

保育園名	定員	指定期間(5年間)	年齢区分(人)												合計(入所 予定1ヶ月 合計人数)	運営費(公定価格) (円)
			0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児			
			標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間		
有明ふたば保育園	120	H25.4~H30.3	8	0	22	0	22	0	23	1	22	1	20	1	120	109,500,000
六角保育園	110	H26.4~H31.3	8	0	18	0	18	0	16	0	24	1	21	1	107	98,200,000
有明みのり保育園	60	H26.4~H31.3	2	0	6	1	9	1	8	1	11	0	10	0	49	57,500,000
福田保育園	50	H27.4~H32.3	7	0	8	0	11	0	8	1	8	0	7	0	50	76,300,000
福富保育園	190	H27.4~H32.3	10	0	18	0	26	1	35	0	30	1	45	1	167	126,200,000
有明わかば保育園	50	H27.4~H32.3	2	0	8	0	6	0	12	0	11	0	10	1	50	63,200,000

3 予算額

(単位:千円)

節	区分	予算額	財源内訳				
			国費	県費	保育料	その他	一般財源
13.委託料 (運営費委託料)	有明ふたば保育園	109,500			19,600	9,000	80,900
	六角保育園	98,200			20,800	4,000	73,400
	有明みのり保育園	57,500			6,600	9,000	41,900
	福田保育園	76,300			9,700	4,000	62,600
	福富保育園	126,200			27,600	6,000	92,600
	有明わかば保育園	63,200			9,000	1,000	53,200
	小計	530,900			93,300	33,000	404,600
19.負担金、補助及び交付金 (延長保育、障害児保育、地域活動事業、防犯対策強化整備事業)	有明ふたば保育園	2,347					2,347
	六角保育園	2,347					2,347
	有明みのり保育園	2,347					2,347
	福田保育園	2,347					2,347
	福富保育園	2,347					2,347
	有明わかば保育園	3,088					3,088
	小計	14,823					14,823
	合計	545,723			93,300	33,000	419,423

13節:委託料

公定価格により算定
公設民営化保育園の負担割合
一般財源 10/10 (国庫、県費の分は交付税措置)

19節:負担金、補助及び交付金

※延長保育:30分加算 300,000円、1時間加算 1,342,000円
300,000円×5園×2(開所前後)
1,342,000円×1園

※障害児保育:重度66,490円、軽度33,240円

66,490円×12ヶ月×1人×6園

33,240円×12ヶ月×1人×6園

※地域活動事業(世代間交流事業) 100,000円×6園

※防犯対策強化整備事業(防犯カメラ設置事業)

600,000円×3/4(補助率)=450,000円×6園

財源内訳

その他:保育料93,300、受託料33,000、ふるさと基金140,000

4 事業の効果 安心・安全な保育を実施することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	3	項	2	目	6	細事業名	学童保育事業費			所属	保健福祉課 こども未来係
目 名 称	子ども・子育て支援事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	43,425					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	42,682	前年度最終	38,389		12,067	12,067		7,223	12,068	91・92
	白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本計画 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実	

1 目的

保護者の就労等により、保育に欠ける小学校児童を対象に学校終了後から午後7時まで学校の余裕教室等で保育することにより児童の健全育成を図る。

2 事業内容

- ・平日は、放課後から19時まで実施。
- ・長期休暇時は、各クラブで7時40分～19時まで実施。
- ・土曜日は、1箇所(六角小)で7時40分～18時まで実施。

★放課後児童健全育成事業補助金 24,134,000円
国 1/3、県 1/3、町 1/3

★その他:保護者負担金

区分	負担金の額(児童一人につき)		区分	負担金の額(児童一人につき)	
継続参加	4月～翌年3月まで(月～金)の参加※	月額 2,000円	一時参加	夏季休業日(月～金)	月額 5,000円
	4月～翌年3月まで(月～土)の参加※	月額 3,000円		夏季休業日(月～土)	月額 6,000円
	8月(月～金)の参加	月額 4,000円		冬季休業日	月額 2,000円
	8月(月～土)の参加	月額 5,000円		学年末休業日及び春季休業日	月額 2,000円
	延長利用分(午後6時～午後6時30分)	月額 500円		延長利用分(午後6時～午後6時30分)	月額 500円
	延長利用分(午後6時～午後7時)	月額 1,000円		延長利用分(午後6時～午後7時)	月額 1,000円
	申込時間を超過して利用した場合	30分ごと 50円		申込時間を超過して利用した場合	30分ごと 50円
減免の場合			減免率		
・ひとり親家庭の場合			1/2		
・生活保護法による被保護世帯である場合			10/10		
・被災世帯である場合			10/10		
・その他特別な事由があると認められた場合			10/10		
・同一世帯から2人以上の児童が参加する場合の2人目児童			1/2		

※は8月を除く。

3 予算額

(単位:千円)

7.賃金	9.旅費	11.需用費	12.役務費	13.委託料	15.工事 請負費	18.備品 購入費	合計
39,244	20	2,262	450	139	1,080	230	43,425

4 事業の効果 子ども達の健全育成を図ることができる。

単位:千円

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計					所属	保健福祉課 子ども未来係	
款	3	項	2	目	6	細事業名	地域子育て支援事業費			予算書頁	
目 名 称	子ども・子育て支援事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	15,533					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	93
	前年度当初	15,615	前年度最終	16,318		5,177	5,177			5,179	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実		

1 目的

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子供や子育てをめぐる環境が大きく変化するなか、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や負担感の増大といった問題が生じている。子育ての負担感等の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整え、きめ細かな子育て支援サービスを提供し子育て支援機能の充実を図る。

2 事業内容

1. 地域子育て支援拠点事業

常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。

事業形態 ひろば型、週5日(月曜日～金曜日・第2土曜日) 時間:午前9時～午後5時

※白石町社会福祉協議会が、白石町交流館1階白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」で実施。

2. 一時預かり事業(一般型):地域子育て支援拠点、駅周辺等利便性の高い場所など、一定の利用児童が見込まれる場所で実施するもの

事業形態:週5日(月曜日～金曜日・第2土曜日)、時間:午前9時～午後5時

※白石町社会福祉協議会が、白石町交流館1階白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」で実施する。

3. 一時預かり事業(余裕活用型):保育所等で実施するもので、実施場所の定員の範囲内において実施するもの

※有明ふたば保育園、有明わかば保育園で実施。

4. 一時預かり事業(幼稚園型)

在園児(教育標準時間の子ども)と園児以外の子どもの一時的預かりも併せて実施するもの

※認定こども園ありあけ幼稚園で実施。

① ゆめてらす

H27.11～H28.10までの利用状況(延べ人数) 単位:人

年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H27.11 ～H28.3	928	1,208	2,136	280
H28.4～ H28.10	1,281	1,646	2,927	379
計	2,209	2,854	5,063	659

② 有明ふたば保育園、有明わかば保育園(一時預かり)

見込み

有明ふたば保育園 350人

有明わかば保育園 150人

③ ありあけ幼稚園(一時預かり)

見込み

平日:3,000人

休日(土曜日):450人

予算内訳(一時預かり事業)

① 300人から900人	1,580,000円
② 500人×@2,100円	1,050,000円
③ 3,000人×@500円	1,500,000円
450人×@800円	360,000円

3 予算額

(単位:千円)

節	事業名	予算額	財源内訳			
			国庫支出金	県費	その他	一般財源
19 負担金、補助及び交付金	地域子育て支援拠点事業	11,043	3,681	3,681		3,681
	一時預かり事業	4,490	1,496	1,496		1,498
	合計	15,533	5,177	5,177		5,179

財源内訳: 子ども・子育て支援事業

地域子育て支援拠点事業(国1/3、県1/3、町1/3)

一時預かり事業(国1/3、県1/3、町1/3)

4 事業の効果

地域子育て支援拠点事業は、子育て家庭の身近な拠り所として、異世代交流、父親の育児参加、地域コミュニティの活性化を実現できる。

また、一時預かり事業は、保護者の就労形態の多様化、疾病等、育児に伴う心理的、肉体的負担の軽減が期待できる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	1	目	1	細事業名	不妊治療支援事業費			所属	保健福祉課 健康づくり係
目 名 称	保健衛生総務費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,900					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	3,400	前年度最終	3,400				3,000	900	96	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実		

1 目的

不妊治療を希望しているにもかかわらず経済的負担を感じている夫婦に対して、不妊治療費の一部を助成することで経済的負担の軽減を図る。

2 事業内容

助成方法

償還払い方式

対象者

佐賀県不妊治療支援事業の対象者であり、夫婦のいずれかが町内に住民登録し、引き続き1年以上居住していること。

助成対象とする

佐賀県不妊治療指定医療機関で実施された、戸籍上の夫婦間で行う健康保険が適用されない不妊治療

不妊治療

(人工授精、体外受精、顕微授精、男性不妊治療)

助成額

医療機関で支払った費用から佐賀県不妊治療支援事業助成金額を差し引いた額の1/2以内

3 予算額

節	予算	細 節	金 額(円)	備考
19.負担金補助 及び交付金	3,900	補助金	3,900,000	不妊治療支援事業補助金

参考

申請件数

H 22年度 10件

H 23年度 18件

H 24年度 22件

H 25年度 16件

H 26年度 13件

H 27年度 28件

H 28年度 12件

出生数

7組

13組

13組

11組

9組

17組

9組

2

4

4

4

2

3

0

平成28年11月末現在

4 事業の効果

高額な医療費負担の助成により経済的負担の軽減が図られ、少子化対策の一助となる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	1	目	1	細事業名	子どもの医療事業費		所属	保健福祉課 福祉係	
目名称	保健衛生総務費					財源内訳					
予算額	69,087					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	41,705	前年度最終	41,213			20,458	40,000	101	8,528	95~97
	白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)					基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第1節	子育て支援の充実

1 目的

出生から中学生までの子どもの医療費助成により、疾病の早期治療と家庭の経済的負担の軽減に努める。

2 事業内容

※出生から中学生までの子どもを対象に、保険給付の一部負担金から、医療機関及び保険者ごとに、1月当たり入院は上限1,000円、入院外は上限1回目500円・2回目500円の自己負担を控除した医療費について助成を行う。ただし、薬局は一部負担金を全額助成する。

※県外で受診した場合の医療費については、償還払いとする。

※高額医療費に該当した場合については、高額療養費該当者の代理申請を行う。

※医療費の助成については、国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託。

役務費(支払審査手数料) 3,386,848円

国保連合会(35%)	14,455件 × @99.66円 =	1,440,585円	
支払基金(65%)	医科・歯科	16,107件 × @90.3円 =	1,454,462円 (60%)
	調剤	10,738件 × @45.8円 =	491,800円 (40%)
41,300件		3,386,848円	

3 予算額

節	予算額	財源内訳				内容
		県補助金	高額医療収入	その他	一般財源	
12.役務費	3,387	964			2,423	審査手数料
20.扶助費	63,200	18,244	100	1	44,855	ひとり親、小中学生を加え見込む
28.繰出金	2,500	1,250			1,250	H28現物給付に伴う国保財政影響
計	69,087	20,458	100	1	48,528	

※10/12は、現物給付は診療報酬の支払いが2ヶ月遅れとなり、H29の支出は、10ヶ月分となるため。
 ※1.28は、現物給付により小中学生の90%が受診し助成したと仮定した場合、受給者数の増加倍率(70%→90%)

医療費支払い実績(見込(現物給付+償還払)) (単位:円)

支払月	H27年度		H28年度(見込)	
	件数	金額	件数	金額
4月	2,102	2,795,917	2,246	3,056,883
5月	2,076	2,869,644	2,186	2,949,322
6月	1,723	2,341,720	1,902	2,251,645
7月	1,734	2,808,070	1,845	2,837,636
8月	1,746	2,529,920	1,851	3,062,048
9月	2,037	2,959,009	1,763	2,537,644
10月	1,773	2,484,150	1,810	2,612,749
11月	1,855	2,680,552	1,777	2,873,798
12月	2,020	3,180,861	1,950	2,800,000
1月	1,773	2,485,282	1,950	2,800,000
2月	2,086	2,955,713	1,950	2,800,000
3月	1,857	2,572,915	1,950	2,800,000
未熟児医療	5	34,160	10	200,000
合計	22,787	32,697,913	23,190	33,581,725円

※H29の扶助費の見込みは、H28の決算見込みに「ひとり親家庭医療(小中生分)」と「重度心身障害者医療(小中生分)」及び「小中学生医療費」分の現物給付化影響額を加えて見込む。

- ・「ひとり親家庭医療」より10ヶ月分 × 1.28 = 2,508,442円①
- ・「小中学生医療費」よりH28決算見込みの10ヶ月分に1.28を乗じ 24,859,540円 × 10/12 × 1.28 = 26,516,843円②
- ・「重度心身障害者医療」より小中生H28見込み額 500,000円③

33,581,725円 + ① + ② + ③ = 63,107,010円 ≒ 63,200,000円

4 事業の効果

出生から中学生までの子どもに対して医療費を助成することで、子どもの疾患の早期発見及び早期治療が出来るとともに、保護者の経済的負担の軽減が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	4	項	1	目	2	細事業名	予防接種事業費			所属	保健福祉課 健康づくり係
目 名 称	予防費					財 源 内 訳					
予 算 額	64,114					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	97
	前年度当初	62,321	前年度最終	64,536					64,114	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	------------

1 目的

感染症の蔓延を予防し、公衆衛生の向上を図る。

2 事業内容

- ① 予防接種法による定期接種及び定期外予防接種を実施する。
- ② 実施方法: 予防接種実施医療機関に直接申込み個別接種により実施する。(H25年度よりすべて個別接種)
- ③ 対象者: 乳幼児及び小中高校生及び65歳以上の高齢者。
- ④ 子宮頸がん予防接種は、平成25年度から定期接種となったが、副反応に関する情報提供が不十分なため、積極的勧奨が全国的に差し控えられている。
- ⑤ 平成26年10月から水痘と高齢者の肺炎球菌予防接種が定期接種となった。
- ⑥ 0才～中学3年生までのインフルエンザ接種者は、代理受領による個別接種で実施し、1人2,000円を助成する。
- ⑦ 平成22年度から日本脳炎予防接種は、積極的勧奨が再開となり、随時積極的勧奨を実施しており、平成29年度は、高3、中2、中1、小4に個別通知予定
- ⑧ 平成28年10月からB型肝炎予防接種が定期接種となった。
- ⑨ 予防接種健康被害調査委員会(任期2年)
組織: 副町長・杵藤保健所長・県医師会推薦医師(2名)・地区医師会推薦医師(1名)・学識経験者(1名)

3 予算額

節	予算(千円)	細 節	金 額(円)	備 考
1.報酬	40	委員報酬	40,000	予防接種被害調査委員 10,000円 × 4人 = 40,000円
9.旅費	4	費用弁償	4,000	予防接種被害調査委員 1,000円 × 4人 = 4,000円
11.需用費	150	消耗品費	150,000	予防接種用事務用品等 150,000円
12.役務費	1,520	通信運搬費	260,000	予防接種通知 260,000円
		手数料	1,260,000	審査支払手数料 105円 × 延べ 12,000件 = 1,260,000円
13.委託料	62,000	その他委託料	62,000,000	予防接種委託料 62,000,000円
20.扶助費	400	扶助費	400,000	予防接種費用(償還払) 400,000円
計	64,114		64,114,000	

4 事業の効果

免疫効果を上げることにより、感染予防と重症化防止につながる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	1	目	2	細事業名	生活習慣病予防事業費			所属	保健福祉課 健康づくり係
目 名 称	予防費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,315					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	97
	前年度当初	1,145	前年度最終	1,188			276			1,039	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	------------

1 目的

各種健康教室を開催し、生活習慣病の予防及び重症化を抑制するとともに、健康に関する意識の高揚を図る。また、運動を継続し易くするため、爽明館の利用料の一部を助成する。

2 事業内容

- 健康クッキング教室 生活習慣病予防のための減塩料理等を学ぶ教室を開催
- 歯科教室 口腔ケアの重要性を学ぶ教室を開催
- 運動教室の開催 生活習慣病予防のための運動教室を開催（ニコニコペースの運動教室を継続して実施）
- 有明スカイパークふれあい郷爽明館利用料及び年会費の一部助成

3 予算額

節	予算額	細節	内訳
07賃金	14千円	日々雇用職員賃金	13,200円 歯科衛生士 4,400円 × 3回 = 13,200円
11需用費	190千円	消耗品費	190,000円 健康クッキング教室材料費 500円 × 30人 × 10回 = 150,000円 健康手帳 100円 × 0冊 × 1.08 = 0円 消耗品 40,000円 = 40,000円
12役務費	18千円	通信運搬費	17,480円 健康クッキング教室開催通知 92円 × 30人 × 3回 = 8,280円 運動教室開催通知 92円 × 20人 × 5回 = 9,200円
13委託料	195千円	その他委託料	194,400円 運動教室委託料 30,000円 × 6回 × 1.08 = 194,400円
14使用料及び賃借料	898千円	その他使用料	897,120円 爽明館使用料 利用券助成 210円 × 210枚 × 12月 = 529,200円 爽明館会員助成 (年会員、短期会員、ペア会員) 367,920円

4 事業の効果

生活習慣病の予防を図ることで、将来の医療費、介護保険費の抑制を図ることができる。

歳入財源: 佐賀県健康増進事業費補助金

網掛が対象	健康教育費
対象経費	415,080円
県2/3	276,000円

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	4	項	1	目	2	細事業名	成人検診事業費				所属	保健福祉課 健康づくり係
目名称	予防費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	24,903					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	97	
	前年度当初	27,249	前年度最終	19,695			250		4,655	19,998	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実		

1 目的

がんが町民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状を踏まえ、がん検診を実施し、がんの予防及び早期発見の推進を図ることにより、がんによる死亡率を減少させるとともに、医療費の適正化を図る。

2 事業内容

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知)その他の法令に基づき、がん検診を実施する。

【検診項目】	■胃がん	40歳以上	■子宮頸がん	20歳以上	※検診の県内広域化に伴い、平成29年度から毎年受診可に変更
	■肺がん・結核	40歳以上(結核検診65歳以上)	■前立腺がん	→40歳以上	
	■大腸がん	40歳以上	■肝炎ウイルス検査	→30歳以上75歳未満(未検査者のみ)	
	■乳がん※	40歳以上(隔年受診)			
		※平成29年度から視触診は廃止			

3 予算額

節	予算額	細節	内訳
07賃金	482千円	日々雇用職員賃金	481,500円
11需用費	440千円	消耗品費	143,000円
		印刷製本費	296,610円
12役務費	1,528千円	通信運搬費	1,528,000円
13委託料	22,420千円	その他委託料	22,420,000円
14使用料及び賃借料	33千円	その他使用料	33,000円

歳入財源:佐賀県健康増進事業費補助金の内、健康診査費に係る分 県費:2/3

4 事業の効果

各種がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡率を減少させ、医療費の適正化を図ることができる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害者自立支援給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係
目 名 称	障害者福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	552,063					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	77~79
	前年度当初	551,741	前年度最終	520,200		275,000	137,500			139,563	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、必要な障害福祉サービスを給付する。

2 事業内容

障害者がサービス提供事業所と契約し、支給決定サービス量に応じた支援を受ける。

- 訪問系サービス（居宅介護、同行援護、行動援護など）
- 居住系サービス（施設入所支援、グループホーム）
- 精神障害者デイケア のびのび会（事業は健康づくり係）

- 日中活動系サービス（生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援等）
- 計画相談支援

3 予算額

11 需用費	消耗品費								104,000 円	104 千円
13 委託料	その他委託料	支援費給付事務委託料(自立支援給付費)				82,000 円 ×	12 月 =	984,000 円		984 千円
14 使用料及び賃借料	その他借上料	支援費ソフトリース料(地方自治法に基づく長期継続契約)				902,400 円 ×	1.08 =	974,592 円		975 千円
20 扶助費	介護給付費・訓練等給付費・相談支援給付費	障害者自立支援給付費						550,000,000 円		550,000 千円
								(国庫1/2・県費 1/4)		

当初予算額 552,063 千円

4 事業の効果

障害者に必要な障害福祉サービスを提供することにより、障害者及びその家族の地域生活を支援することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害児通所支援給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係
目 名 称	障害者福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	49,286					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	79
	前年度当初	22,101	前年度最終	28,078		24,643	12,321			12,322	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

1 目的

- ・ 児童発達支援 児童発達支援センター等に通うことで、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の習得、集団生活への適応訓練その他の便宜を供与することを目的とする。
- ・ 医療型児童発達支援 上肢、下肢または体幹の機能の障害のある児童につき、医療型児童発達支援センター等に通うことで、児童発達支援及び治療を行うことを目的とする。
- ・ 放課後等デイサービス 就学している障害児につき、授業の終了後または休業日に児童発達支援センター等に通うことで、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することを目的とする。
- ・ 保育所等訪問支援 保育所その他の児童が集団生活を営む施設等に通う障害児につき、当該施設を訪問することで、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他の便宜を供与することを目的とする。

2 事業内容

障害児(18歳未満)が施設・事業者と契約し、支給決定のサービス量に応じ自己負担をし、施設や事業所に通所しながら必要な支援を受ける。

- 障害児通所支援
- ・ 障害児相談支援
 - ・ 児童発達支援
 - ・ 医療型児童発達支援
 - ・ 放課後等デイサービス
 - ・ 保育所等訪問支援

3 予算額

20扶助費

	延利用者見込み数	見込額
・ 児童発達支援	304 人	16,416,000 円
・ 医療型児童発達支援	0 人	0 円
・ 放課後等デイサービス	285 人	30,780,000 円
・ 保育所等訪問支援	0 人	0 円
・ 障害児相談支援	108 人	2,090,000 円
H29年度所要見込額		49,286,000 円

(国庫1/2・県費 1/4)

当初予算額 49,286 千円

※ 医療型・保育所訪問は、実績なしのため計上していない。

4 事業の効果

障害児に必要な支援と保護により福祉の向上を図ることができる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円																																																															
款	3	項	1	目	2	細事業名	重度心身障害者医療給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係																																																										
目 名 称	障害者福祉費					財 源 内 訳																																																															
予 算 額	55,066					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁																																																										
	前年度当初	54,030	前年度最終	54,030			27,000		20,000	8,066	77・79																																																										
	白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本計画 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実																																																											
<p>1 目的 重度の身体障害又は知的障害を有する者について、医療費の一部を助成することにより、これらの者の保健の向上及び福祉の増進を図る。</p> <p>2 事業内容 【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例】 【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例施行規則】</p> <p>○対象者 白石町に住所を有する者で次の各号のいずれかに該当する者 ただし、生活保護法による医療費扶助を受けている者を除く。 (1)重度身体障害者 身体障害者程度等級表の1級又は2級に該当する者 (2)重度知的障害者 知的障害の程度が知的指数35以下の者 (3)重複障害者 身体障害者程度等級表の3級に該当し、かつ知的障害の程度が知的指数50以下の者</p> <p>○内容 (1)申請により助成のための受給資格登録を行い受給資格証を交付する。 (2)1月500円の自己負担額及び高額療養費等を差し引いた額を助成する。 (3)入院時の食事療養費は自己負担とする。</p> <p>○助成の制限 前年の所得(県の交付要綱により特別児童扶養手当等に関する法律第20条及び21条に規定する額)により、助成の制限あり。</p> <p>3 予算額</p> <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td>7 賃金</td> <td>日々雇用職員</td> <td>6,400円</td> <td>×</td> <td>240日</td> <td>=</td> <td>1,536,000円</td> <td>1,536 千円</td> </tr> <tr> <td>11 需用費</td> <td>消耗品費(ラベル用紙、スティックのり他)</td> <td>30,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>当初予算額 30 千円</td> </tr> <tr> <td>20 扶助費</td> <td>重度心身障害者医療費助成事業費</td> <td>補助率 : 県費 1/2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ H28年4月～11月までの平均助成月額</td> <td>34,893,078円÷8月≒4,362,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ H29年度医療費見込額</td> <td>4,500,000円×12月=54,000,000円</td> <td>-</td> <td>500,000円</td> <td></td> <td></td> <td>当初予算額 53,500 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(小中医療費助成分)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 事業の効果</td> <td colspan="6">重度障害者の保健の向上及び福祉の増進に寄与できる。</td> <td>計</td> <td>55,066 千円</td> </tr> </table>													7 賃金	日々雇用職員	6,400円	×	240日	=	1,536,000円	1,536 千円	11 需用費	消耗品費(ラベル用紙、スティックのり他)	30,000円					当初予算額 30 千円	20 扶助費	重度心身障害者医療費助成事業費	補助率 : 県費 1/2							○ H28年4月～11月までの平均助成月額	34,893,078円÷8月≒4,362,000円							○ H29年度医療費見込額	4,500,000円×12月=54,000,000円	-	500,000円			当初予算額 53,500 千円							(小中医療費助成分)		4 事業の効果	重度障害者の保健の向上及び福祉の増進に寄与できる。						計	55,066 千円
7 賃金	日々雇用職員	6,400円	×	240日	=	1,536,000円	1,536 千円																																																														
11 需用費	消耗品費(ラベル用紙、スティックのり他)	30,000円					当初予算額 30 千円																																																														
20 扶助費	重度心身障害者医療費助成事業費	補助率 : 県費 1/2																																																																			
	○ H28年4月～11月までの平均助成月額	34,893,078円÷8月≒4,362,000円																																																																			
	○ H29年度医療費見込額	4,500,000円×12月=54,000,000円	-	500,000円			当初予算額 53,500 千円																																																														
						(小中医療費助成分)																																																															
4 事業の効果	重度障害者の保健の向上及び福祉の増進に寄与できる。						計	55,066 千円																																																													

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計					単位:千円		
款	3	項	1	目	3	細事業名	敬老の日記念事業費				所属	長寿社会課 高齢者係
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	21,105					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	81・82・85	
	前年度当初	17,042	前年度最終	20,215			15,000		6,105	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

1 目的

長年にわたり、社会に貢献された高齢者に対し、敬意を表し、長寿を祝福する。

2 事業内容

- ・地域で行われる、高齢者の長寿を祝う行事にかかる経費の一部を助成する。
- ・長寿祝金、敬老記念品を贈呈する。

	敬老記念品				長寿祝金				
対象者	喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)及び男女の最高齢者				満80歳、85歳、90歳、95歳及び100歳以上の者				
敬老記念品額 及び 長寿祝金額	喜寿 3,000円	米寿 3,000円	白寿 3,000円	最高齢 5,000円	80才 10,000円	85才 15,000円	90才 20,000円	95才 30,000円	100才以上 50,000円
支給日及び方法	9月16日から9月末(商品券、郵送)				9月末(現金、口座振込)				

3 予算額

(単位:円)

8.報償費				11.需用費				12.役務費				19.補助金				20.扶助費			
敬老記念品								通信運搬費				地域敬老事業助成金				長寿祝金			
喜寿	3,000円	×	268人	804,000	消耗品費			簡易書留	197,000	1,200円	×	4,750人	5,700,000	80才	10,000円	×	303人	3,030,000	
米寿	3,000円	×	203人	609,000	生花	4,000		口座確認	66,000					85才	15,000円	×	260人	3,900,000	
白寿	3,000円	×	15人	45,000	消耗品	50,000		振込案内	66,000					90才	20,000円	×	148人	2,960,000	
最高齢	5,000円	×	2人	10,000				受取人払い	54,000					95才	30,000円	×	62人	1,860,000	
														100歳以上	50,000円	×	35人	1,750,000	
				1,468,000		54,000			383,000				5,700,000					13,500,000	

4 事業の効果

地域の敬老意識の高揚につながり、明るく豊かな長寿社会を築くことができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	3	項	1	目	3	細事業名	地域介護・福祉空間整備推進事業 (既存高齢者施設等の防犯対策強化事業)			所属	長寿社会課 高齢者係
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,962					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	85
	前年度当初	0	前年度最終	0		1,962			0	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 目的

高齢者施設等の防犯対策強化に必要な防犯カメラや人感センサー、非常通報装置、侵入防止フェンス等を設置するために必要な機器等を導入する介護サービス事業者に対してその経費を支援する。

2 事業内容

防犯対策強化事業

既存施設の防犯対策を強化するために必要な安全対策に要する経費を支援する(防犯監視設備、緊急通報設備等)

- ・A事業所 防犯カメラ等 補助額 518千円
- ・B事業所 防犯カメラ等 補助額 900千円
- ・C事業所 パトライト等設置 補助額 544千円

3 予算額

予算科目	予算額(千円)	内 容
19 負担金補助 及び交付金	1,962	防犯対策に要する経費補助

※財源 : 地域介護・福祉空間整備推進事業補助金

4 事業の効果

介護施設の防犯対策を強化することにより、侵入者等の早期発見、通報、対処が可能となり、利用者や従事者の安全性の確保に資することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護保険事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	444,980					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	84
	前年度当初	449,699	前年度最終	427,476					444,980	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	---------------------

1 目的

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾患等により介護が必要になった人に対して、その人が持つ能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように、必要な介護サービスの提供を行う。

2 事業内容

杵藤地区市町村圏組合が保険者となり、介護保険事業を実施し、運営する。
構成市町は、介護給付及び予防給付等に要する費用の一部を負担する。(保険料50%、国25%、県・町12.5%)

◆高齢者数・要介護者数の状況(平成28年3月末日)

各年度末

総人口	24,224 人	要介護・要支援者数	1,722 人
40-64歳	7,856 人		
65-74歳	3,215 人	要支援1	238 人
75歳以上	4,432 人	要支援2	213 人
高齢化率	31.57 %	要介護1	382 人
		要介護2	289 人
		要介護3	216 人
		要介護4	219 人
		要介護5	165 人

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
高齢者数	7,274人	7,236人	7,331人	7,434人	7,521人	7,647人
高齢化率	27.97%	28.26%	28.97%	29.76%	30.58%	31.57%
認定者数	1,585人	1,590人	1,672人	1,711人	1,728人	1,722人

◆介護保険サービス

在宅サービス	通所介護(デイサービス)、通所リハ(デイケア)、短期入所生活(ショートステイ) 訪問介護(ホームヘルプ)、訪問入浴介護、訪問リハ、訪問介護、居宅療養管理指導 福祉用具貸与、特定福祉具販売、住宅改修費支給
施設サービス	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
地域密着型サービス	小規模多機能居宅介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)ほか

3 予算額

19.負担金、補助及び交付金	
介護保険費負担金	444,980 千円

4 事業の効果

保険者に対して介護保険法に基づく必要額を支出し、介護保険事業の安定的運営を図ることができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計					単位:千円	
款	3	項	1	目	3	細事業名	生きがい活動支援通所(デイサービス)事業		所属	長寿社会課 高齢者係	
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	16,836					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83
						前年度当初 16,491 前年度最終 16,629					

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	---------------------

1 目的

家に閉じこもりがちなおおむね65歳以上の者に対して、日常動作訓練、趣味活動、生きがい活動等の各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上等を図る。

2 事業内容

- 【委託先】 白石町社会福祉協議会
- 【対象者】 介護認定審査会において非該当と認定された者及びそれに準ずる者で町長が特に必要と認めるもの
- 【実施施設】 白石町交流館
- 【事業内容】 生活指導、日常動作訓練、健康チェック、昼食、養護、送迎

年度末

【利用実績】

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
登録者数	199人	174人	185人	210人	155人	141人	141人
延べ参加者数	6,148人	6,413人	5,542人	5,539人	5,366人	5,301人	5,356人

3 予算額

13.委託料

生きがい活動支援通所事業委託料 69,000 円 × 244 日 = 16,836,000 円 (3,000円 × 1日 × 23人 = 69,000円)

4 事業の効果

社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上等を図り、自立した生活を継続することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	食の自立支援事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	8,790					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	9,893	前年度最終	9,236				8,072	718	82・83	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 目的

食事の調理が困難な高齢者世帯等に、栄養バランスのとれた食事を訪問により提供し、安否の確認を行うことで自立した在宅生活の継続を図る。

2 事業内容

◆ 食の配食サービス

1日に2回(昼食・夕食)、日曜日を除く週6日間、食事を調理し宅配する。また、配食サービス時に利用者の安否確認を行う。

ただし、台風時等の際には希望者に事前申込によるパン・牛乳の実費配布を行う。

【委託先】 佐賀県農業協同組合白石地区統括支所

◆ アセスメント調査

年に1回アセスメント調査を行い、適正な利用か他のサービスが適しているか調整する。

【委託先】 在宅介護支援センター(白い石、桜の園、うたがき)

◆ 老朽化した配食用食器の更新

◆ 利用実績

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
登録者数	64人	62人	68人	55人	46人	54人
延べ配食数	15,723食	14,909食	15,660食	14,295食	11,734食	12,859食

3 予算額

11.需用費

消耗品費 配食用ボックス留め具等 (15,000円×1.08)+(送料1,200円×1.08) 18,000 円

13.委託料

食の自立支援配食事業費委託 600 円 × 7,000 食 = 4,200,000 円

食の自立支援配食事業費委託(低所得) 700 円 × 6,300 食 = 4,410,000 円

食の自立支援事業アセスメント調査委託 2,700 円 × 60 件 = 162,000 円

(新規利用時及び常時利用者年1回)

※ 財源: 包括的支援事業委託金 500円×500食=250,000円

2,700円×60件=162,000円

包括的支援事業委託金 200円×13,300食=2,660,000円

4 事業の効果

高齢者の安心と健康で自立した生活を確保することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護予防普及啓発事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					
予算額	19,694					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	81~84
	前年度当初	6,233	前年度最終	5,451				19,694	0	継続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

1 目的

介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域を目指し、健康教育、健康相談等の取り組みを通じて介護予防に関する知識の普及・啓発を行う。

2 事業内容

1.一般の高齢者を対象に、運動機能向上を中心に要介護状態等となることの予防や要介護状態等の軽減、悪化防止を図り高齢者が主体的に健康増進の意識を持ち続けるよう取り組む。

- ・ 健康体操教室(モデルサロン) 週1回~月2回実施 3ヶ所
- ・ 健康アップ教室 15回実施×1コース
- ・ しゃきっと教室(運動機能向上事業 16回実施×3ヶ所×3クール)
- ・ シルバー教室(運動、認知予防事業)
- ・ 介護予防 水中運動教室 ①毎週1回×年間(40回)・・・春、夏、冬休みを除く
②毎週1回×16回(1クール)×3クール
- ・ 介護予防音楽療育委託料 サロン12カ所
- ・ 口腔機能向上プログラム(歯科医師会委託事業)
- ・ 出前講座

2.老人クラブ会員等の一般高齢者を対象に健康づくり、介護予防に関する知識の普及啓発を行う。

3.老人クラブに委託して、会員の健康づくり介護予防の活動を展開してもらう。

4.白石町介護予防体操を使用し普及を行う。

5. 認知症対策事業:認知症サポーター養成講座

3 予算額

歳出 19,694 千円

区分	内容	金額
7 賃金	教室での健康チェック(看護師等)	399 千円
8 報償費	教室、出前講座等での講師謝金	1,232 千円
11 需用費	高齢者の暮らしの情報紙発行・教室等の消耗品費、燃料費等	2,500 千円
12 役務費	通知用郵送費	25 千円
13 委託料	介護予防教室委託料(水中運動、健康アップ、運動指導) 13,549千円 老人クラブ健康づくり事業委託料 300千円 ケーブルテレビ放送費委託料 1ヶ年 455千円 DVD作成委託料(介護予防ケーブル放送分編集)432千円 地域サロンモデル事業委託料 364千円	15,100 千円
14使用料及び賃借料	冷暖房費、ふれあい郷施設使用料	438 千円

◎財源内訳
介護予防事業委託金
19,694 千円
一般財源
0 千円

4 事業の効果

高齢者に対して介護予防の実践と知識の普及をはかることで、元気で自立した生活を続けられる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	生活支援体制整備事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	9,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	5,580	前年度最終	5,580				9,000	0	81~83	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 目的

1人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、認知症高齢者等さまざまな高齢者が生きがいを持ちながら生活継続するための生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組み。生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、担い手やサービスの開発を行い、高齢者の社会参加及び生活支援・介護予防の充実を推進する。

2 事業内容

第1層協議体研修会 6回

(1)生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置

多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進。コーディネート機能は、資源開発・ネットワーク構築を中心に充実。

第1層(市町村区域)、第2層(日常生活圏域)でのネットワーク構築や資源開発

(不足するサービスや担い手の創出・養成、活動する場の確保)

資源開発	ネットワーク構築
○地域に不足するサービスの創出	○関係者間の情報共有
○サービスの担い手の創出	○サービス提供主体間の連携の体制づくり
○元気な高齢者などが担い手として活動する場の確保	

(2)協議体の設置 →多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進

3 予算額

9,000 千円

08 報償費

240 千円

第1層協議体研修会謝金

2,000円×20人×6回=240,000

11 需用費

100 千円

消耗品費(用紙代等)

100,000円

13 委託料

7,660 千円

生活支援体制整備事業委託料
(第1層生活支援コーディネーター人件費等)

7,660,000円

1,000 千円

生活支援体制整備事業委託料
(第2層協議体設置に係る経費等)

1,000,000円

◎財源内訳
新しい包括的支援事業委託金
9,000 千円
一般財源
0 千円

4 事業の効果

高齢者の生活支援を支えるため、多様な事業主体による重層的な生活支援・介護予防サービス提供体制の構築が計られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円				
款	3	項	1	目	3	細事業名	認知症施策推進事業			所属	長寿社会課 高齢者係	
目名称	老人福祉費					財源内訳						
予算額	330					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
	前年度当初	0			前年度最終	0			330	0	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

1 目的

認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて、医療・介護等が有機的に連携し、早期診断、早期対応のための体制整備を図る。

2 事業内容

認知症初期集中支援チーム検討委員会の設置

(1) 認知症初期集中支援チーム員は、初回の観察・評価訪問を医療系職員と介護系職員、保健師等で行う。また、医療・保健・福祉に携わる関係者等から構成される委員会を設置し、認知症疾患医療センターや医師会との協議を行い、情報の共有化を図る。

(2) 認知症地域支援推進員の充実を図り、早期診断、早期対応のための体制整備を行う。

3 予算額	330	千円			
08 報償費	132	千円	認知症初期集中支援チーム検討委員会 報償費	$2,000円 \times 11人 \times 6回 = 132,000円$	
09 旅費	68	千円	認知症初期集中支援チーム員研修旅費(東京都)	$56,000円 \times 1人 = 56,000円$	
			認知症地域支援推進員研修旅費(福岡県)	$5,860円 \times 2人 = 11,720円$	
19 負担金	130	千円	認知症初期集中支援チーム員研修負担金(東京都)	$50,000円 \times 1人 = 50,000円$	
			認知症地域支援推進員研修負担金(福岡県)	$40,000円 \times 2人 = 80,000円$	

◎財源内訳
包括的支援事業委託金
330 千円
一般財源
0 千円

4 事業の効果

関係機関との連携体制を構築し、認知症の早期診断・早期対応を行うことで、自立した生活を支援できる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	2	目	2	細事業名	指定ごみ袋等作成業務			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目 名 称	塵芥処理費					財 源 内 訳					
予 算 額	17,051					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	100
	前年度当初	11,731	前年度最終	11,731				150	16,901	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 5 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり			

1 目的

ごみ排出者は、ごみ収集・処分費用に対する受益者負担として、ごみの種類に応じた指定のごみ袋を購入してごみを排出する。そのための指定ごみ袋を作成する。

2 事業内容

町指定のごみ袋及び粗大ごみシールを作成する。

3 予算額

節	細節	品 名	作製数量	単価(円)	金額(円)	
11.需用費	消耗品費	もえるごみ(特大袋)	280,000 枚 ×	18.00	= 5,040,000円	17,051
		もえるごみ(大袋)	570,000 枚 ×	15.50	= 8,835,000円	
		もえるごみ(小袋)	63,000 枚 ×	12.00	= 756,000円	
		もえないごみ袋	52,000 枚 ×	17.00	= 884,000円	
		カン専用袋	32,000 枚 ×	13.00	= 416,000円	
		ビン専用袋(大袋)	20,000 枚 ×	17.00	= 340,000円	
		ビン専用袋(小袋)	10,000 枚 ×	15.00	= 150,000円	
		ペットボトル専用袋	36,000 枚 ×	15.00	= 540,000円	
		粗大ごみシール	9,000 枚 ×	10.00	= 90,000円	
計					17,051	

財源内訳その他	指定ごみ袋有料広告掲載料を充当	150
---------	-----------------	-----

4 事業の効果

指定ごみ袋を利用することにより、ごみの出し方や分別の仕方などの啓発につながる。
また、ごみの収集・処分の費用を一部負担することで排出者として適正な処理及びコストの意識も認識できる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	4	項	2	目	2	細事業名	一般廃棄物収集運搬業務			所属	生活環境課 廃棄物対策係	
目 名 称	塵芥処理費					財 源 内 訳						
予 算 額	95,657					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
	前年度当初	75,763	前年度最終	90,309					38,418	57,239	100	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 5 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり				

1 目的

市町村の責務である一般廃棄物の適正処理を行うため、さが西部クリーンセンターで処理する「可燃・不燃・粗大ごみ」の収集運搬を行う。
収集運搬の効率性を図るため町内を6ブロックに分割し、安定かつ安全にごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルール周知に努めながら衛生的な生活環境の向上を図る。

2 事業内容

町内のごみステーションに排出される「可燃・不燃・粗大ごみ」を収集し、さが西部クリーンセンターへ運搬する業務を委託する。

3 予算額

13.委託料	収集ブロック	収集地区	積算基礎		95,657
	A1ブロック	主に白石地区	60,180,000 円 × 1.08 =	64,994,400 円	
Bブロック	六角・須古地区				
Cブロック	有明西地区				
Dブロック	有明東・南地区				
A2ブロック	主に北明地区	12,050,000 円 × 1.08 =	13,014,000 円		
Eブロック	福富地域	16,341,000 円 × 1.08 =	17,648,280 円		

財源内訳	ごみ処理手数料を充当	37,260
その他	許可申請手数料を充当	18
	遠距離搬入補助金を充当	1,140
	計	38,418

4 事業の効果

安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルール周知に努めながら衛生的な生活環境の向上が図られる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	2	目	2	細事業名	ごみ処理センター負担金			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目 名 称	塵芥処理費					財 源 内 訳					
予 算 額	105,579					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101
	前年度当初	108,010	前年度最終	101,101						105,579	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-------------

1 目的

住民から排出された一般廃棄物を広域のごみ処理施設で適正処理する。

2 事業内容

町内で排出される一般廃棄物のうち、資源ごみを除く可燃・不燃・粗大ごみをさが西部クリーンセンターで適正処理する。
稼働を終了した杵藤クリーンセンターは、今後、施設解体や跡地利用等について検討すると共に、水質検査を継続して実施する。

3 予算額

19.負担金補助及び交付金 (杵藤地区広域市町村圏組合)	ごみ処理センター費負担金(ごみ搬入量の割合による)	6,660,000 円	6,660
19.負担金補助及び交付金 (佐賀県西部広域環境組合)	管理運営負担金 (ごみ搬入量の割合による)	77,157,000 円	98,919
	施設整備負担金 (均等割10%、人口割90%)	21,762,000 円	
計			105,579

4 事業の効果

一般廃棄物の処理施設を広域で運営することにより、効率的、計画的かつ適正に処理することができ、併せて環境負荷の低減が図られる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	4	項	2	目	2	細事業名	容器包装廃棄物収集運搬事業			所属	生活環境課 廃棄物対策係	
目 名 称	塵芥処理費					財 源 内 訳						
予 算 額	6,050					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
	前年度当初	5,943	前年度最終	5,943					1,679	4,371	100	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 5 章		自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節		環境にやさしいまちづくり		

1 目的

容器包装リサイクル法の趣旨により町が定めた分別収集計画に基づき、缶・ビン・ペットボトルの再商品化を行うため、資源ごみの分別収集を行う。
 収集運搬の効率性を図るため町内を6ブロックに分割し、安定かつ安全にごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルール周知に努めながら衛生的な生活環境の向上を図る。

2 事業内容

各家庭等から排出される「資源ごみ」を町が指定する中間処理施設までの収集運搬業務を委託する。
 収集回数 → 缶・ビン・PET 月 1回

3 予算額

	収集ブロック	収集品目	積 算 基 礎				
13.委託料	A~Dブロック	缶・ビン・PET	4,520,000円	×	1.08	= 4,881,600円	6,050
	Eブロック	缶・ビン・PET	1,081,000円	×	1.08	= 1,167,480円	

財源内訳 その他	資源ごみ売却収入を充当	644
	ペットボトル収益市町村分配金を充当	1,020
	再商品化合理化拠出金を充当	15
	計	1,679

4 事業の効果

安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルール周知を行うことにより、衛生的な生活環境の向上が図られる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	2	目	3	細事業名	し尿処理業務			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目 名 称	し尿処理費					財 源 内 訳					
予 算 額	105,863					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101
	前年度当初	106,612	前年度最終	109,658						105,863	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-------------

1 目的

町内で排出されるし尿・浄化槽汚泥を広域で適正処理し、公衆衛生の保全を図る。

2 事業内容

し尿・浄化槽汚泥の収集・運搬を許可業者により実施、杵東地区環境センターで処理する。
なお、現施設が老朽化しているため、次期施設建設が予定されており、供用開始は平成35年4月の見込みである。

3 予算額

19.負担金補助及び交付金	維持管理費(平等割15%、人口割85%)	105,863,000 円	105,863
---------------	----------------------	---------------	---------

4 事業の効果

広域で処理することにより効率的、計画的な処理を行うことができ、公衆衛生の保全が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																										
款	4	項	3	目	1	細事業名	上水道一部事務組合への出資事業		所属	水道課 庶務係																							
目 名 称	上水道費					財 源 内 訳				予算書頁																							
予 算 額	13,142					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	102																						
	前年度当初	18,161	前年度最終	18,167						13,142	継 続																						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節		生活基盤の充実																						
1 目的	上水道一部事務組合の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、一般会計から適切な繰出しを行う。																																
2 事業内容	<p>【佐賀西部広域水道企業団】</p> <p>○水道水源開発・広域化対策に係る平成元年度以前の企業団借入分の元利償還に対する繰出金 ○企業団職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出金</p> <p>【西佐賀水道企業団】</p> <p>○企業団職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出金</p>																																
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">佐賀西部広域水道企業団繰出金</th> <th colspan="2">西佐賀水道企業団繰出金</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th colspan="3">水道水源開発・広域化対策元利償還繰出金</th> <th rowspan="2">児童手当分</th> <th rowspan="2">児童手当分</th> </tr> <tr> <th>償還元金分</th> <th>償還利息分</th> <th>小計</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,705</td> <td>319</td> <td>13,024</td> <td>15</td> <td>103</td> <td>13,142</td> </tr> </tbody> </table> <p>【繰出基準】 元利償還分 昭和61年度から平成元年度までの事業費に係る国庫補助対象事業費の7/30相当額の償還元金に相当する額 児童手当分 地方公営企業職員に係る児童手当の給付に要する経費の合計額</p>											佐賀西部広域水道企業団繰出金			西佐賀水道企業団繰出金		合 計	水道水源開発・広域化対策元利償還繰出金			児童手当分	児童手当分	償還元金分	償還利息分	小計			12,705	319	13,024	15	103	13,142
佐賀西部広域水道企業団繰出金			西佐賀水道企業団繰出金		合 計																												
水道水源開発・広域化対策元利償還繰出金			児童手当分	児童手当分																													
償還元金分	償還利息分	小計																															
12,705	319	13,024	15	103	13,142																												
4 事業の効果	上水道一部事務組合の円滑な運営及び経営健全化に資することにより上水道の安定した供給体制を維持する。																																

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円																																																		
款	4	項	3	目	1	細事業名	水道事業特別会計への補助金			所属	水道課 庶務係																																																
目 名 称	上水道費					財 源 内 訳					予算書頁																																																
予 算 額	63,304					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	102																																																
	前年度当初	50,417	前年度最終	81,780						63,304	継 続																																																
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実																																																	
<p>1 目的 町上水道事業会計の円滑な事業運営に資するため、必要な給水量確保や施設整備に係る経費等について、一般会計からの適切な操出しによる補助を行う。</p> <p>2 事業内容 ○上水道高料金対策補助金 (自然条件等により建設改良費が割高のため資本費が高額となり、高水準の料金設定をせざるを得ない上水道事業について、料金格差の縮小に資するための補助)</p> <p>○統合簡水償還補助金 (統合簡水に係る統合前の建設改良事業のために発行された企業債の元利償還金の一部に対する補助)</p> <p>3 予算額</p> <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td>○上水道高料金対策補助金</td> <td>(179.51-155) × 1,669,033 = 40,907,998円</td> <td>小計</td> <td>40,908千円</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(資本費-基準資本費) × 年間有収水量</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>○統合簡水償還補助金</td> <td>元金 34,649,296 ÷ 2 17,324,648円</td> <td colspan="2"></td> <td>小計</td> <td>22,396千円</td> <td>合計</td> <td>63,304千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>利子 10,140,756 ÷ 2 5,070,378円</td> <td colspan="10"></td> </tr> </table> <p>4 事業の効果 町上水道事業会計の円滑な運営及び経営健全化に資することにより、上水道の安定した供給体制を維持することができる。</p>												○上水道高料金対策補助金	(179.51-155) × 1,669,033 = 40,907,998円	小計	40,908千円										(資本費-基準資本費) × 年間有収水量											○統合簡水償還補助金	元金 34,649,296 ÷ 2 17,324,648円			小計	22,396千円	合計	63,304千円						利子 10,140,756 ÷ 2 5,070,378円										
○上水道高料金対策補助金	(179.51-155) × 1,669,033 = 40,907,998円	小計	40,908千円																																																								
	(資本費-基準資本費) × 年間有収水量																																																										
○統合簡水償還補助金	元金 34,649,296 ÷ 2 17,324,648円			小計	22,396千円	合計	63,304千円																																																				
	利子 10,140,756 ÷ 2 5,070,378円																																																										

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	4	目	1	細事業名	浄化槽整備推進事業費			所属	下水道課 下水管理係
目 名 称	下水道費					財 源 内 訳					
予 算 額	43,226					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103・104
	前年度当初	43,226	前年度最終	39,775		8,579	8,579			26,068	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

公共用水域の水質汚濁の原因として、炊事、洗濯、入浴などの日常生活に伴って排出される生活排水が大きな問題となっている。水質汚濁を防止するために、家庭内において設置される浄化槽の経費の一部を助成し、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与する。

2 事業内容

浄化槽設置事業により、50人槽以下の浄化槽を60基の整備を行う。

(単位:基、千円)

区 分	基数	国基準単価	町上乘せ単価	補助単価額	補助金額
5人槽	10	332	268	600	6,000
6人～7人槽	47	414	306	720	33,840
8人～10人槽	1	548	372	920	920
11～20人槽	1	939	0	939	939
21～30人槽	1	1,472	0	1,472	1,472
31～50人槽	0	2,037	0	2,037	0
計	60				43,171

(単位:千円)

左の財源内訳			
国	県	町	計
8,579	8,579	26,013	43,171

整備状況(H29.3予定)

	対象数	設置数	整備率
整備世帯	3,731	1,425	38.2%
H28年度		58	
計	3,731	1,483	39.7%

3 予算額

節	区 分	項 目	事業費	摘 要
19	負担金補助及び交付金	浄化槽普及促進協議会会費	20	佐賀県浄化槽普及促進協議会
		浄化槽普及促進協議会負担金	35	前年度汚水処理施設整備交付金(国庫)×4/1,000 8,579千円×4/1,000=34,316円
		浄化槽設置整備事業補助金	43,171	
		計	43,226	

4 事業の効果

浄化槽設置事業を実施することにより、公共用水域の水質保全が保たれる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	4	目	1	細事業名	公共下水道接続促進事業費			所属	下水道課 下水管理係
目 名 称	下水道費					財 源 内 訳					
予 算 額	5,400					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	104
	前年度当初	7,800	前年度最終	4,158					5,400	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

特定環境保全公共下水道の供用開始後3年以内に行う受益者の排水設備工事に助成することにより、接続率の向上を図り、生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全の早期実現を可能とする。

2 事業内容

助成条件

○ 家庭からの生活排水を下水道に流入させるための宅地内排水管や汚水桝などの排水設備工事を対象

対象住宅: 自ら所有し居住する住宅(新築住宅を除く)

対象工事: 白石町下水道排水設備指定工事店による施工の工事

助成額

○ 補助率10% 上限額 供用開始後1年目10万円、2年目7.5万円、3年目5万円

H25. 12~H43. 3の18年間(特定環境保全公共下水道 供用開始後3年間)

区分	総計	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度以降
補助金予定額	51,840	5,400	4,320	3,240	3,240	35,640
想定申請者(件)	960	100	80	60	60	660

3 予算額

19 負担金補助及び交付金 公共下水道接続促進事業費補助金 平均額54千円×100件=5,400千円

4 事業の効果

下水道等の目的が早期に達成でき、設置した施設の遊休化が避けられ、維持管理を含む経営の安定化が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	8	細事業名	しろいし農業塾			所属	農業振興課 振興係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
予 算 額	12,781					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59
	前年度当初	0	前年度最終	1,000				12,500	281	継続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

本町の主要産業である農業の維持や農地の保全等の観点から新規就農者など担い手の確保は大きな課題である。本町で就農及び移住してもらうために希望者を募集し、白石地区農業振興協議会で受け入れ、農業研修生として農業全般に従事し、農業の担い手としての自立を目指す。また、地域との関わりを持ち定住促進へと繋げるため、平成26年度補正事業から継続して取り組む。

2 事業内容

県外の地域から生活の拠点を移した者を農業研修生として農業団体等で受け入れ、農業研修生として支援を受けながら農業関係の研修に取り組み、農業による自立と地域への定着を図る。また、研修生の就農を支援するため、行政・JAなど関係団体が連携して取り組み、研修等に必要な経費の助成と指導・助言を行う。

- ・ 研修生(6人以内):20歳以上40歳未満の心身ともに健康で、本町に住民票を異動出来る人、指導員(2人):町内在住で研修生への指導・助言等が出来る人
28年度体制:研修生4人、指導員2人 29年度:第2期生募集内容、研修生6人以内
- ・ 研修後は本町で農業経営をし、本町における地域農業の担い手として農業を営む志のある人

3 予算額

19節 しろいし農業塾事業補助金 12,781千円

区 分	内 容	金 額	区 分	内 容	金 額
共済費	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険等	2,065,020	役務費	リース車任意保険 傷害(損害)保険 口座振込手数料	331,300
賃 金	研修生・指導員賃金	5,566,410	委託料	健康診断	19,400
報償費	受入れ農家謝礼	600,000	使用料及 び賃借料	車両借上げ料 研修生住居借上げ料 事務所借上げ料 会場借上げ料 実習田借上げ料 農機具リース料	3,124,408
旅 費	研修生募集活動旅費 研修旅費	362,000		備品購入費	動噴、刈払機等
需用費	印刷製本費 研修用燃料代 事務用品等 収納舎光熱水費 小農具費	561,840			

4 事業の効果

農業の担い手及び定住者の確保により、本町農業の後継者不足の解消と定住人口の増加につながる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円			
款	6	項	1	目	2	細事業名	新規農業就業者対策支援事業			所属	農業振興課 振興係	
目 名 称	農業総務費					財 源 内 訳						
予 算 額	1,329					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	110	
	前年度当初	1,829	前年度最終	1,329			185			1,144	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

農業においての後継者は、減少傾向にあるものの、仕事に誇りを持ち、魅力ある職業として営み、地域の担い手として活力のある町づくりに取り組んでいる青年も存在しており、今後さらにそうした青年を数多く育成していく必要がある。町の担い手の減少は、農業振興面のみならず、農村社会においても様々な問題を生じているため、生産性の高い農業の確立と農村地域の活性化を実現するため、地域の実態に即した近代的、企業的な感覚を備えた後継者を確保することにより産業の振興を図る。

2 事業内容

(1) 白石町親元就農促進支援事業助成金(平成26～28年度認定者に支給、29年度からの新規認定なし。)

○助成金の額 1人当たり 250,000円 (但し、5年後の就農継続確認が取れた場合、追加で100,000円助成)

○交付要件 ①白石町に住所を有する者 ②町内で農業経営を行っている認定農業者(1回以上の再認定を受けている者)の2親等以内の直系卑属の者
③就農年(平成26年1月1日以降)の農業従事日数が年間150日以上であること ④申請日における年齢が18歳から45歳未満の者
⑤白石青年実業会に加入しており、積極的に活動を行うもの ⑥農業者年金の加入者 ⑦白石町農業施策全般に関して協力的であること

(2) 新規農業就業者対策推進事業

○実施主体 白石町新規就農者確保対策協議会・・・構成員は、農業委員会会長、指導農業士、女性農村アドバイザー、青年農業士、認定農業者代表者、JAさが白石地区各6部会長等、JAさが白石地区、白石青年実業会、佐賀農業高校、杵藤農林事務所、杵島農業改良普及センター、白石町。

○事業内容 ① 就農促進パンフレットの作成 ② 白石町就農アドバイザーの設置 ③ セミナーの開催 ④ 交流会及び研修会の開催 ⑤ 高校との連携強化

(3) 白石町ニューファーマー支援事業補助金

事業内容	事業費	負担区分		備考
		県補助金	その他	
新規就農者確保対策協議会・企画会議の開催	48,600	185,000	185,000	委員報酬・資料作成
就農啓発・相談事業	72,100			謝礼・資料作成
就農支援活動	138,300			視察農家謝礼、車借上料
経営確立・定着支援活動	111,000			活動報償費、講師謝礼
合 計	370,000			

3 予算額

(1) 白石町親元就農促進支援事業 250,000円 × 4人 = 1,000,000円 (内訳:既認定者2名、H28認定見込者2名)
(2) 白石町新規就農者確保対策協議会負担金 144,000円
(3) 白石町ニューファーマー支援事業費補助金 185,000円
1,329,000円

4 事業の効果

本事業を実施することにより、新規就農者を確保し、後継者の育成を図ることができる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	2	細事業名	新規就農・経営継承総合支援事業			所属	農業振興課 振興係
目 名 称	農業総務費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	30,770					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	110
	前年度当初	21,020	前年度最終	21,020			30,750			20	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 目的

持続的で力強い農業構造を実現するためには、今後、基幹的に農業に従事する青年層の新規就農者を倍増させる必要があるため、国庫事業である新規就農・経営継承総合支援事業を推進する。

2 事業内容

○ 青年就農給付金(経営開始型)

①人・農地プランに位置づけられている、原則45歳未満の独立・自営就農者(単なる親元就農は対象外)が対象となる。

②給付金額については、

・平成26年度までに申請した者(既給付者)は、年間150万円を給付する。ただし、前年の所得が250万円以上ある場合は給付しない。

・平成27年度以降に申請した者(新規就農者)は、前年の所得により給付金の額が変動する。ただし、前年の所得が350万円以上ある場合は給付しない。

※平成29年度より、農業次世代人材投資事業に名称変更予定。

3 予算額

区 分	内 容	予算額
11節 需用費		20,000
消耗品費	事務用消耗品(一般財源)	20,000
19節 負担金補助及び交付金	青年就農給付金(経営開始型)	30,750,000
補助金	・既給付者分(平成24年度～28年度新規就農者) 平成28年度1回給付対象者 4人×750,000円 平成28年度2回給付対象者 9人×1,500,000円 平成28年度2回給付対象者 2人(夫婦)×1,125,000円	18,750,000
	・新規就農者分 4人×1,500,000円(しろいし農業塾1期生) 4人×1,500,000円	12,000,000
合 計		30,770,000

4 事業の効果

今後の担い手となる、若手の新規就農者を確保することにより、本町の力強い農業構造の確立を図ることができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	さが園芸農業者育成対策事業費			所属	農業振興課 振興係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	95,303					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	112
	前年度当初	22,107	前年度最終	62,278			78,537			16,766	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

近年の園芸農業を取り巻く情勢は、高齢化の進行による農業従事者数の減少、生産物価格の低迷、更には燃油を始めとした生産資材価格の高騰など厳しさを増している。このような中、本町の園芸農業が持続的に発展していくためには、収益性の高い園芸農業に向けた取り組みを強化していく必要がある。このため、革新的技術の導入による収量・品質の向上や省エネ・省力化技術の普及などを進めるとともに、新規就農者等を育成することにより、儲かる園芸農業を確立する。

2 事業内容

- 実施期間 平成26年度～30年度(5年間)
- 実施主体 2戸以上の農業者が組織する団体、新規就農者等
- 補助率 原則 県1/3以内、町1/10以上
 - ※新規就農者等の取組や革新的技術の導入の取組(県1/2以内、町1/10以上)
 - ※脱石油・省石油対応ハウス、猛暑対応ハウス等の取組(県4/10以内、町1/10以上) 他

3 予算額

19節 負担金補助及び交付金 95,303千円

区分	事業内容	品目名	受益戸数 (戸)	受益面積 (a)	事業量	総事業費 (千円)	財源内訳			備考
							県補助金	町費	事業主体	
施設園芸	いちご高設栽培	いちご	7	109.2	10,924 m ²	94,821	47,407	9,485	37,929	
	育苗ハウス	レタス	2	6.9	692 m ²	10,302	5,149	1,031	4,122	
	パイプハウス	いちご、小ネギ	3	33.8	3,388 m ²	33,248	14,506	3,326	15,416	
	パイプハウスの長寿命化	いちご	4	64.8	6,486 m ²	7,744	2,581	775	4,388	
	省エネ資材	いちご	2	23.5	2,356 m ²	2,832	943	284	1,605	
露地園芸	乗用管理機	たまねぎ	7	1,950.0	2 台	4,370	1,456	437	2,477	
	収穫機	れんこん	5	1,019.0	5 台	13,042	6,086	1,305	5,651	
	定植機	キャベツ	18	250.0	1 台	1,230	409	123	698	
合 計 (事業主体数 6)		-	48	3,457.2	-	167,589	78,537	16,766	72,286	
予算額(県費+町費)=							95,303			

4 事業の効果

本町の農業生産所得は、園芸作物に大きく左右されることから、本事業を推進することにより、しろいし農業の発展に寄与することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	玉葱生産安定対策事業			所属	農業振興課 振興係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,417					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	111・112
	前年度当初	0	前年度最終	23,914			604			2,813	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

ここ数年、町内を中心に発生が多く問題となっている玉葱べと病の総合的な防除対策を早急に確立し、地域と関係機関が一体となって、被害の軽減対策に取り組む。

2 事業内容

◇野菜病虫害防除推進協議会の開催

白石町、JAさが白石地区、JAさが白石地区玉葱部会、町内野菜取扱業者、杵藤農林事務所、農業試験研究センター白石分場、杵島農業改良普及センターが構成員となり、玉葱の病虫害防除対策について、関係機関の連絡調整、研究及び協議を行う。(事務局:町農業振興課、協議会活動期間:平成27~29年度)

◇経営継続のための借入資金の利子補給補助の実施

◇越年罹病株の抜き取りの普及徹底及び処分

資金名(運転資金)	融資機関	対象者	利率	限度額	償還期間
アグリマイティ資金(べと病特例措置分)	JAさが	被害組合員	0.30%	減収範囲内又は200万円のいずれか低い額	5年以内

他に佐賀銀行、佐賀共栄銀行、九州ひぜん信金等融資制度有り。

3 予算額

- ・ 11節 需用費 事務用消耗品 30千円
- ・ 12節 役務費 利子補給事業事務手数料 150千円
玉葱べと病対策借入資金利子補給事業事務手数料 200件×750円
- ・ 19節 負担金補助及び交付金 3,237千円
 - ①玉葱べと病対策借入資金利子補給補助金 300千円
融資申し込み約300,000千円の最低利息0.1%を助成。
 $300,000,000 \times 0.1\% = 300,000$ 円
 - ②白石町野菜病虫害防除推進協議会負担金 1,728千円
会議費用弁償、チラシ印刷、防除対策パンフ印刷、研修会開催など 228,000円
越年罹病株県補助事業対象外運営費用
(罹病株3月処分費用、専用袋作成等) 1,500,000円
 - ③玉葱べと病緊急対策事業費補助金 1,209千円
越年罹病株焼却処分費補助 補助率:県1/2 町1/2

	項目	単価(円)	数量	金額(円)
②	クリーンセンター処分料金	10 /kg	60,000	600,000
	運搬委託費	43,500 /日	12	522,000
	袋作成費用	15.5 /円	20,000	310,000
	チラシ作成	22.5 /枚	3,000	67,500
	合計			1,499,500
③	クリーンセンター処分料金	10 /kg	73,000	730,000
	運搬委託費	43,500 /日	11	478,500
	合計			1,208,500

4 事業の効果

玉葱の主力産地である責任と白石ブランドの信頼確立に向けて、30年産玉葱の作付において生産意欲の向上、安定生産を実現し、所得の安定を図る。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	土づくり推進事業費補助金			所属	農業振興課 振興係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,577					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	112
	前年度当初	1,077	前年度最終	2,077				1,000	577	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

白石町の野菜農家と畜産農家が連携し、堆肥等を活用した土づくりを推進し、持続的な生産基盤の強化による農家経営の発展を図り、地力の低下による農産物の病害防止等に寄与する。

2 事業内容

①土づくり推進事業費補助金

○事業要件

町内に住所を有する者が、JA堆肥センター又は町内に牛舎のある畜産農家から年間を通じて4トン以上の牛糞堆肥を購入した場合に補助を行う。

○補助金の額

買入れた数量に対し、購入価格の1/4以内の補助率とする。ただし、1t当たり、1,000円を上限とする。

②地域資源環境型土作り推進協議会

白石町、JAさが白石地区、JAさが白石地区の生産部会、研究会、杵藤農林事務所、農業試験研究センター白石分場、杵島農業改良普及センターが構成員となり、堆肥の供給体制・仲介するシステムの構築の検討、需要量の把握、散布方法の検討などを連携して実施する。

(事務局:JA園芸指導課、協議会活動期間:平成27～29年度)

3 予算額

19節 負担金補助及び交付金 1,577千円

○土づくり推進事業費補助金

1,500t × 1,000円 = 1,500,000円

○地域資源環境型土作り推進協議会負担金 77,000円

堆肥購入過去実績

年度	購入件数	購入価格	購入量	補助金額
19	88 件	3,194,006 円	1,134 t	797,938 円
20	105 件	3,743,558 円	1,467 t	933,573 円
21	64 件	2,056,411 円	717 t	514,065 円
22	48 件	1,230,900 円	416 t	307,690 円
23	67 件	2,155,850 円	831 t	538,942 円
24	69 件	2,333,480 円	957 t	583,355 円
25	81 件	2,455,415 円	1,005 t	613,835 円
26	72 件	2,664,039 円	1,062 t	665,993 円
27	63 件	1,997,206 円	784 t	499,302 円

4 事業の効果

良質な土づくりを行うことは、農産物生産の根幹でもあり、現在、消費者が求める安全で安心な農産物生産拡大も見込める。また、堆肥の野積み防止へもつながることから、環境保全を図ることができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	農業経営力向上支援事業			所属	農業振興課 農政係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	2,800					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113
	前年度当初	4,000	前年度最終	800			2,800			0	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

平成19年度において本町では70の集落営農組織が結成され、そのうち広域統合も含め4つの集落営農法人が設立された。その他現在、6つの法人設立準備委員会が設置されており、平成32年度までの目標を30法人の設立を目指す。このような集落営農組織や個別経営体などの地域農業の担い手が安定的に経営発展していけるように農業経営の法人化を促し、農地の集積を図りながら地域農業の維持発展を図る。
(事業名については、H27年度まで「担い手経営発展支援事業」であったが、平成28年度から「農業経営力向上支援事業」となった。)

2 事業内容

○農業経営の法人化の支援
集落営農組織や複数の個別経営体の法人化に必要な、定款作成、認証代、印紙税、登録免許税等の経費について補助を行う。
・補助率:定額 1組織40万円
・平成32年度をめどに、現在の集落営農組織をすべて法人化し、経営所得安定対策等推進事業を推進していく。

3 予算額

法人化支援交付金

区 分	予 算 額	説 明
19節 負担金補助及び交付金	2,800	定額400千円×7組織
合 計	2,800	

4 事業の効果

地域農業の担い手である集落営農組織や複数個別経営体が法人化を行うことにより、農地の集積が行いやすくなり、経営管理やコスト削減など、安定的な経営発展を行うことができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	5	細事業名	佐賀県集落営農組織法人化推進事業費			所属	農業振興課 農政係	
目 名 称	米政策対策費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	16,800					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113	
	前年度当初	0			前年度最終	0		16,800		0	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

農業従事者の高齢化や後継者不足による担い手の減少が進む中、本町水田農業の重要な担い手である集落営農組織の法人化を加速的に推進し、法人化後の経営安定に向けた支援を行う。

2 事業内容

- ・平成32年度をめどに、現在の集落営農組織をすべて法人化し、経営所得安定対策等推進事業を推進していく。
- ・集落営農法人の設立初期に要する経費への補助
 - ①一般タイプ:補助率1/2以内(1法人当たり上限 70万円)
 - ②交換分合タイプ:補助率2/3以内(おおむね2ha以上の交換分合を行った場合、1法人当たり上限100万円)
 - ※1 複数の組織が統合した法人の場合は、「統合前組織数×上限額」で算出し、①、②いずれも最大700万円。
 - ※2 機械等を購入する場合は、上記の1/2まで。

3 予算額

○平成29年度の対象は、平成28年度及び平成29年度前半に法人へ移行した団体
19節 負担金、補助及び交付金

予定対象団体名	構成集落営農数	上限補助金額(予算額)
農事組合法人 ほくめい	15組織	16,800
農事組合法人 六角	1組織	
南有明地区	17組織	
須古南部地区	1組織	
須古北部地区	1組織	
竜王地区	1組織	

※法人化した場合は、構成員と法人の間で利用権設定が必要とされており、その場合に農地中間管理機構を利用することが平成29年度から追加要件となる事が予想される。

4 事業の効果

法人化後の経営安定化に向けた支援を行うことにより、経営の複合化、6次産業化、オペレーターの確保、農地の受け皿機能の強化など、集落営農組織では叶わなかった経営発展に寄与する。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	5	細事業名	集落営農法人経営安定化支援事業			所属	農業振興課 農政係
目 名 称	米政策対策費					財 源 内 訳					
予 算 額	2,300					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	114
	前年度当初	3,300	前年度最終	900					2,300	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

集落営農組織が継続して発展するためには、法人化と経営の安定化が必要であり、農業生産法人設立初期の経営管理の安定化に取り組むための経費を支援し、もって地域農業の活性化を図る。

2 事業内容

農業生産法人(農事組合法人又は会社法人)の経営が不安定な設立直後における経営体制を安定確立するための助成

- ・ 初期の税務申告に係る税務相談、申告書類作成に対する助成
- ・ 農業経営の維持・発展を図るための研修会(視察研修を含む。)、座談会等の実施に対する助成

対象組織:平成26年度から平成30年度までに法人化した集落営農組織

助成期間:設立後3年間

3 予算額

平成29年度 集落営農法人経営安定支援交付金(定額)

1年目:300,000円 2年目:200,000円 3年目:100,000円

※交付金は、経過年数に応じて減額

法人経営安定に要する費用の一部を支援

事務経理費(決算報告書作成、簿記記帳、申告手続等を税理士委託)

研修活動費(先進地視察、座談会・学習会開催に要する経費)

19節 負担金、補助及び交付金

摘 要	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		累計法人数(予想)
	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	
1年目(30万円)	1件	300	1件	300	2件	600	6件	1,800	10 法人
2年目(20万円)		0	1件	200	1件	200	2件	400	
3年目(10万円)		0		0	1件	100	1件	100	
合 計	1件	300	2件	500	4件	900	9件	2,300	

予算額

4 事業の効果

集落営農組織の経営発展・経営体質の強化が図られ、地域の永続的な担い手の確保につながる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	8	細事業名	ふるさと応援事業費			所属	産業創生課 商工観光係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
予 算 額	339,604					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	158,145	前年度最終	497,652				200,544	139,060	56~58・60	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進		

1 目的

平成20年度からスタートした「ふるさと納税制度」によるふるさと寄附金を積み立て、翌年度以降の事業費に充てる。また、ふるさと寄附金を周知するための広報を重点的に行い、寄付者に対して白石町の特産品・6次産品を贈呈することにより、全国から継続的な応援者を集めることができ、併せて特産品と6次産品のPR促進も期待できる。

2 事業内容

- ・ふるさと寄附金元金積立金
- ・ふるさと寄附金PR用パンフレット
- ・ふるさと寄附金に対する謝礼品の配送委託
- ・民間サイト(ふるさとチョイス)を利用した受付、事務システム
- ・在京会、ふるさと会、特産品フェアに出向いてのPR

3 予算額

(単位:千円)

7.賃金	1,536	日々雇用賃金
8.報償費	729	PR用粗品
9.旅費	450	普通旅費
11.需用費	1,245	消耗品費・封筒印刷費
12.役務費	10,457	通信運搬費・広告料・カード決済手数料
13.委託料	123,327	謝礼品配送委託料・パンフレット作成サイト編集委託料
14.使用料 及び賃借料	1,316	ふるさと納税システム使用料
25.積立金	200,544	ふるさと寄附金元金積立金・利子積立金

4 事業の効果

ふるさと寄附金により重要施策の財源積立金が確保できる。
特産品のPR事業とコラボすることにより、全国に白石町をPRすることができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域おこし協力隊推進事業(道の駅関連)		所属	産業創生課 6次産業推進係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	9,098					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	56~59
	前年度当初	7,606	前年度最終	8,826					9,098	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出		

1 目的 人口減少や高齢化の進行が著しい本町において、地域外の人材を活用し、地域の活性化を促進するとともに、その人材の定住及び定着を図るため、地域おこし協力隊推進要綱(平成21年3月31日付け総行応第38号総務次官通知)の規定に基づき、白石町地域おこし協力隊員を設置し、観光素材の掘起しや地場産品の開発、基幹産業である農林水産業従事者の高齢化など、各分野において特有の課題解決を図る。

2 事業内容 都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住し生活の拠点を移した者を、地方公共団体が地域おこし協力隊員として委嘱し、隊員が一定期間地域協力活動を行いながら地域への定住・定着を図る制度。
「道の駅しろいし」設置計画に伴い、その運営組織の設立と新たな地場産品の開発を行うため、外部人材を活用し地域活性化に繋げる。
・地域おこし協力隊設置
地域の活性化を図るため、地域の課題解決に向けて、地域住民、行政などが連携した取組を進められるよう地域のサポート、コーディネイト役として地域おこし協力隊を配置する。
・外部アドバイザー招聘業務
本町における地域力を向上させるための効果的な方策について助言、指導を受け地域の更なる活性化に繋げる。

区 分	内容説明	予算額
1.報酬	地域おこし協力隊員報酬	2,214
4.共済費	地域おこし協力隊員共済費	318
9.旅費	普通旅費	225
11.需用費	消耗品費	60
	燃料費	64
12.役務費	インターネット回線使用料	77
	車両保険料	23
13.委託料	外部アドバイザー委託料	5,000
14.使用料及び賃借料	協力隊員車両賃借料	299
	協力隊員住居賃借料	648
19.負担金補助及び交付金	協力隊員研修負担金	170
合計		9,098

4 事業の効果 都市地域の移住希望者に白石町のPRを行うとともに、地域外の人材を活用することで、地域の魅力を再発見することを目指す。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	8	細事業名	道の駅施設整備事業			所属	産業創生課 <small>6次産業推進係・道の駅整備係</small>
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
予 算 額	370,828					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	176,200	前年度最終	31,807			294,000	73,000	3,828	57~60	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出		

- 1 目的 長距離ドライブや、女性・高齢者のドライバーが増加するなか、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して利用できる休憩施設の整備が求められている。また、有明海沿岸道路の開通により、これまで以上に町内へ流入する車の量が増大することが見込まれる。この状況を町のPRの機会の増大と捉え積極的に展開する必要がある、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を町民が一丸となって取り組める施設として「道の駅しろいし」を整備する。

2 事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	・道の駅登録 ・基本設計・実施設計	・用地取得 ・建設工事 ・運営組織支援	・建設工事 ・運営組織支援 ・道の駅供用開始

3 予算額	区 分	内容説明	予算額
	11.需用費	消耗品費	300
	12.役務費	建築確認申請手数料	111
		構造計算適合判定申請手数料	532
	13.委託料	工事支援業務等委託	6,100
		物件移転補償調査業務委託	300
	15.工事請負費	造成工事費	295,000
		集落排水接続工事費	8,000
		町道拡幅・ハイライン移設工事	3,000
	17.公有財産購入費	用地取得費	39,100
	19.負担金補助及び交付金	運営組織支援補助金	2,785
	22.補償、補填及び賠償金	物件移転補償費	15,600
	合 計		370,828

- 4 事業の効果 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を町民が一丸となって取り組み町のPRに寄与する。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	6次産業推進事業			所属	産業創生課 6次産業推進係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	4,372					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	111
	前年度当初	5,052	前年度最終	5,052				3,500	872	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出		

1 目的

6次産業推進計画(百匠元気プラン)を基に1次産業の生産だけに留まらず、加工や販売も併せた総合産業化を推進し、農家等の所得の向上や地域の活性化を図るため、6次産業化に取り組む事業者に対し、必要な経費の一部を助成するとともに、町内の6次産品のPRを行う。

2 事業内容

6次産業推進補助事業

趣旨 白石町内の農林水産物を活かして、6次産業化(加工、販売まで)する事業者を支援し、産業力の向上と地域活性化を目的とする。
 対象事業者 町内に在住する農林漁業者(個人、グループ、農業生産法人)及び、中小企業者と農林漁業者との連携で、本町の農林水産物を活用し6次産業化を行う者とする。
 補助金限度額 1事業あたりの補助金は10万円～200万円を限度とし、補助対象経費の2分の1以内
 補助対象経費 ①研究開発費 ②事業推進費 ③販路開拓費 ④その他経費

3 予算額

区 分	内容説明	予算額
8.報償費	6次産業活性化委員報償	292
9.旅費	普通旅費	20
11.需用費	消耗品費	30
14.使用料及び賃借料	有料道路通行料	30
19.負担金補助及び交付金	6次産業推進事業費補助金	4,000
合計		4,372

4 事業の効果

地域の資源を活用した農林漁業者等による新事業等の創出や地域の農林水産物の利用促進に関すること等を総合的に推進することで、農林漁業等の振興を図るとともに、地域の活性化を図ることができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	3	細事業名	6次産品販路拡大事業			所属	産業創生課 6次産業推進係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,120					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	111
	前年度当初	0	前年度最終	0				800	320	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出		

1 目的
平成26年度より町内事業者を対象として6次産品の開発に力を入れてきた。平成28年度までに22事業者の方が商品を開発されておられるが、販路を開拓するのは大きな課題である。
そこで、事業者が取組む販路拡大のための商談会への参加や事業者同士の連携による商品開発などへの支援を行い、白石ブランドの確立・地域産業の活性化を図る。

2 事業内容
6次産品販路拡大推進事業(白石町6次産業推進協議会への補助)
趣旨 白石町6次産業推進協議会が行う販路拡大事業に対し補助金を交付する。
事業主体 白石町6次産業推進協議会
主な活動 商談会への参加(東京、福岡)
共同ギフト商品開発

3 予算額

区 分	内容説明	予算額	積算額	備 考
19. 負担金補助及び交付金	6次産品販路拡大事業費補助金	1,120	750	ブース代250,000×3カ所
			30	消耗品費
			240	職員旅費 バイヤー派遣旅費
			100	ギフトボックス作製費
合計		1,120	1,120	

4 事業の効果
地域の資源を活用した農林漁業者等による新事業等の創出や地域の農林水産物の利用促進に関すること等を総合的に推進することで、農林漁業等の振興を図るとともに、地域の活性化を図ることができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円										
款	6	項	1	目	3	細事業名	新規農産物開発研究費			所属	産業創生課 6次産業推進係						
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					予算書頁						
予 算 額	2,630					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	112						
	前年度当初	0	前年度最終	2,000				2,000	630		継 続						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出								
1 目的	<p>山間部においては遊休農地化が進んでおり、その要因として農業者の高齢化、主力品目であるみかんの低迷などが考えられる。特に白岩地区においては後継者不足もあり、みかんの作付面積も減少傾向にある。</p> <p>そこで、白岩地区をモデル地区に認定し、新たな果樹等の試験栽培を行い、売れる農産物、手間のかからない農産物の開発を目指す。また、収穫できた物は直売所等での試験販売を行い、売れる物については広く推進して作付面積の拡大を図る。なお、商品にならない物についても加工品の原材料として使用し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも掲げているとおり、儲かる農産物の開発を目指す。なお、29年度からは平野部での試験栽培も開始し、果樹と同様の取り扱いを行っていく。</p>																
2 事業内容	<p>(果樹試験栽培)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹の試験栽培および管理を28年度より3カ年行う。 ・試験栽培、管理を白岩地区果樹試験組合で実施してもらうため、組合に対し補助金を交付する。 ・事業年度H28～H30 ・H29年度 1,730千円 H30年度 1,730千円 <p>(平野部での試験栽培)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平野部での野菜の試験栽培を29年度より2カ年行う。 ・H29年度 900千円 H30年度 900千円 																
3 予算額	<p>新規農産物開発研究費補助金 1,730千円(白岩地区果樹試験組合)</p> <p>【補助内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 原材料代(肥料、農薬代、燃料代等)</td> <td>511千円</td> </tr> <tr> <td>(2) 借地料、借上げ料代(試験圃場賃借料等)</td> <td>139千円</td> </tr> <tr> <td>(3) 作業委託料(肥培管理、防除等)</td> <td>1,080千円</td> </tr> </table> <p>新規農産物開発研究費補助金 900千円(平野部一般野菜)</p>											(1) 原材料代(肥料、農薬代、燃料代等)	511千円	(2) 借地料、借上げ料代(試験圃場賃借料等)	139千円	(3) 作業委託料(肥培管理、防除等)	1,080千円
(1) 原材料代(肥料、農薬代、燃料代等)	511千円																
(2) 借地料、借上げ料代(試験圃場賃借料等)	139千円																
(3) 作業委託料(肥培管理、防除等)	1,080千円																
4 事業の効果	<p>新規農産物を開発することにより、農業所得の向上、遊休農地解消が期待でき、取組んでいただく地域の活性化が図れる。</p>																

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	7	項	1	目	1	細事業名	商工振興費(地域商業活性化支援事業補助金)			所属	産業創生課 商工観光係
目 名 称	商工振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	129
	前年度当初	0			前年度最終	0		500		500	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 2 節	商工業の振興	

●佐賀県地域商業活性化支援事業補助金充当 500

1 目的

町内の空き店舗や空き家に新規出店を誘致することで地域商業の活性化を図るため、町内での新規出店者に対して支援を行う。

2 事業内容

●白石町地域商業活性化支援事業補助金(新規)「県補助金1/2」

町内の空き店舗や空き家を利用して新規出店を行う者に対し、対象となる経費の1/2を予算の範囲内において補助を行う。

<補助対象経費> 改装費(建物に附帯するものを対象とし、備品等の動産は含まない。)

<補助率> 補助対象事業者が実施した補助対象経費の1/2以内とする。

<補助限度額> 1店舗につき 1,000千円以内を限度とする。

<補助期間> 1補助対象事業者につき初年度のみとする。

3 予算額

19.負担金補助 及び交付金	地域商業活性化支援事業補助金	1,000	(内 県費 500)
-------------------	----------------	-------	------------

4 事業の効果

町内の空き店舗や空き家対策及び町内商業の活性化に寄与する。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	7	項	1	目	1	細事業名	商工団体振興事業補助金 (商工団体環境整備事業補助金)		所属	産業創生課 商工観光係	
目 名 称	商工振興費					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	2,282					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	130
	前年度当初 0 前年度最終 0									2,282	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 2 節	商工業の振興		

1 目的

町内主要商店街である白石商店街に昭和62年に設置されていた街路灯が老朽化し、危険防止のため昨年撤去された。現在、防犯灯が設置されているが、以前ほどの明るさはなく地域住民が街路灯設置を熱望されており、地域商店街組織が商店街の賑わいを取り戻すために街路灯整備を行う事業に対し補助を行う。

2 事業内容

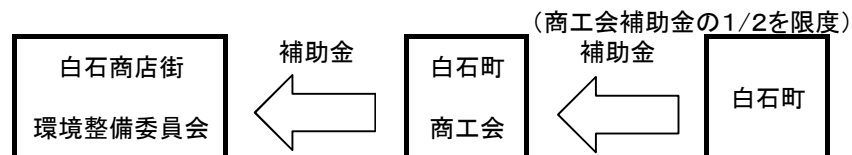
- 補助金交付先 白石町商工会
- 事業内容

商工団体環境整備事業費補助金(新規単年)

地域商店街組織が街路灯設置を行う事業に対し、白石町商工会が行った補助に対して、その補助金の1/2を限度として予算の範囲内において補助を行う。

事業概要

事業主体:白石商店街環境整備委員会
 事業費: 5,070,600円 (内 町1/4.5 商工会1/4.5 受益者1/10)
 街路灯新規設置 25基予定(既存の支柱を利用)



3 予算額

節	事業名	補助金	補助対象経費	補助率	補助額
19.負担金補助 及び交付金	商工団体振興事業	商工団体環境整備事業補助金	4,564	1/2以内	2,282
計					2,282

4 事業の効果

商工業の振興及び商店街の地域活性化の推進に寄与する。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	7	項	1	目	2	細事業名	観光費			所属	産業創生課 商工観光係
目 名 称	観光費					財 源 内 訳					
予 算 額	2,859					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	130・131
	前年度当初	599	前年度最終	2,695					2,859	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 3 節	観光の振興		

1 目的

平成27年度策定した「白石町観光振興基本計画」に沿って観光推進協議会で協議を行い、町内に有する観光、歴史的資産等を活用し、町民がその観光、歴史的資産の価値を再認識するとともに、観光客の誘客体制を整備し、増加を促すことで町産業の振興と活性化を図る。

2 事業内容

- 観光関係一般事務費
- 関係機関の充実……県物産振興協会、県観光連盟
- 観光誘客施策の実施
- 観光ルートパンフレット作成(観光推進協議会H29事業)

3 予算額

8.報償費	観光推進協議会委員報償	351
9.旅費	観光物産関係事業説明会(福岡市)	6
11.需用費(消耗品)	事務用品	9
13.委託料	観光ルートパンフレット作成委託料	2,000
14.賃借料	町PR看板設置敷地(4ヶ所分)土地賃借料	90
19.負担金	県物産振興協会負担金	403
	県観光連盟負担金	
	泊・食佐賀旅キャンペーン事業負担金	
計		2,859

4 事業の効果

「白石町観光振興基本計画」に沿って整備を進めていくことで観光情報を発信することができ、観光客増加が期待できる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	地盤沈下対策事業費負担金			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					
予 算 額	48,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	30,000	前年度最終	56,460			45,000		3,000	116	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備		

1 目的

地盤沈下区域において、沈下により生じた農業用施設等の被害を復旧するとともに、洪水等による災害に対処する。
また、地盤沈下防止のため農業用地下水位を地表水に転換した用水路工事等の水源転換事業を目的とする。

2 事業内容

地沈1号水路整備工事
新拓排水機場機器設置工事及び連絡水路整備工事
福富調整池整備
地沈全体の整備補修等

3 予算額

(補助率 国55% 県39% 町6%)

19.負担金 800,000 千円 × 6% = 48,000 千円

4 事業の効果

地盤沈下により機能低下した農業施設等を改修し機能回復を図るとともに、筑水事業と合わせて地表水への転換を図った用水路の整備を行い、町内一円の末端までスムーズに水が配水できるようになる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	7	細事業名	土地改良施設維持管理適正化事業			所属	農村整備課 農村管理係	
目 名 称		農地費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		16,050				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116・117	
		前年度当初	21,120	前年度最終	18,238				9,400	6,650	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	

1 目的

土地改良事業により造成された施設の整備補修のための資金を造成し、この資金を利用して土地改良施設の定期的な整備補修を行い、施設機能の保持と耐用年数の確保を図ることを目的とする。

2 事業内容 (補助率 国 30% 県30% 町30% 地元10%(土地改良))

土地改良事業施設の整備補修のため5年間で全国土地改良事業団体連合会に拠出し資金を造成する。この資金を利用して土地改良施設の定期的な整備補修を行い、施設機能の保持と耐用年数の確保を図る。

○地沈47号水路整備

3 予算額

11.需用費(消耗品費・燃料費)	164 千円
13.委託料	1,500 千円
15.工事請負費	13,000 千円
19.負担金・補助金及び交付金 (測量・設計委託)	1,386 千円

【内訳】

町が加入した土地改良施設維持管理適正化事業の負担金	1,386 千円
37期生(H25加入) 地沈12号水路	792 千円
37期生(H25加入) 地沈47号水路	594 千円

4 事業の効果

造成された土地改良施設を適正に管理、更新することにより本来の施設機能を回復させ、また施設の耐用年数の確保、施設の多面的利用の達成が期待できる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金 農地維持支払事業			所属	農村整備課 農村整備係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳						
予 算 額	153,323					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	117・118	
	前年度当初	155,531	前年度最終	155,307			114,990			38,333	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的 農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じている。このため、農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動を支援する。

2 事業内容 農業者のみ又は地域住民を含む組織が取り組む、地域資源の基礎的保全活動(草刈り、水路の泥上げ)や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化など多面的機能を支える共同活動を支援。
負担割合 国50%、県25%、町25%

◆対象農用地面積及び交付単価等

地目	対象農用地面積	交付単価	地区数	備考(対象農用地面積の内訳)
田	4,975.07ha	3,000円/10a	67地区 (前年比△1)	H28までの継続面積 5,041.95ha
				H29からの面積減(予定) △67.46ha
				H29からの面積増(予定) 0.58ha
畑	203.45ha	2,000円/10a	67地区 (前年比△1)	H28までの継続面積 203.72ha
				H29からの面積減(予定) △0.38ha
				H29からの面積増(予定) 0.11ha

●補助金の流れ「国→県→町→活動組織」

○返還金の流れ「町→県→国」
町から県へ(国及び県補助金分)を返還。活動組織(事業主体)には当該年度分の補助金から返還額を相殺して交付。

3 予算額 ◆対象農用地に係る交付金の算定 (単位:円)

地目	対象農用地面積	交付単価	交付金総額	財源内訳		
				国補助金(1/2)	県補助金(1/4)	町補助金(1/4)
田	4,975.07ha	3,000円/10a	149,252,100	74,626,050	37,313,025	37,313,025
畑	203.45ha	2,000円/10a	4,069,000	2,034,500	1,017,250	1,017,250
計	5,178.52ha	—	153,321,100	76,660,550	38,330,275	38,330,275

【負担金補助及び交付金】 多面的機能支払交付金 農地維持支払事業補助金 153,322千円
【償還金利子及び割引料】 多面的機能支払交付金 農地維持支払事業補助金返還金 1千円

4 事業の効果 農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金 資源向上支払(共同活動)事業			所属	農村整備課 農村整備係
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					
予 算 額	92,571					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115・116・118
	前年度当初	95,561	前年度最終	95,095		69,695			22,876	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 目的

農業農村は、国土保全・水源涵養・景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化・人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつある。このため、地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等、農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。

2 事業内容

地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等、農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援。

◆対象農用地面積及び交付単価等

地目	対象農用地面積	交付単価	地区数	備考(対象農用地面積の内訳)
田	4,975.07ha	2,400円/10a 基本単価 (1,800円/10a) (75%単価)	66地区 (前年比△1)	H28までの継続面積 5,041.95ha H29からの面積減(予定) △67.46ha H29からの面積増(予定) 0.58ha
畑	131.12ha	1,440円/10a 基本単価 (1,080円/10a) (75%単価)		H28までの継続面積 131.39ha H29からの面積減(予定) △0.38ha H29からの面積増(予定) 0.11ha

●補助金の流れ「国→県→町→活動組織」
○返還金の流れ「町→県→国」
町から県へ(国及び県補助金分)を返還。活動組織(事業主体)には当該年度分の補助金から返還額を相殺して交付。

※旧農地・水保全管理支払の5年以上継続地区及び資源向上支払(長寿命化)を取組む場合は75%単価を適用。基本単価適用地区は1地区のみ。

3 予算額

◆対象農用地に係る交付金の算定

(単位:円)

地目	対象農用地面積	交付単価	交付金総額	財源内訳		
				国補助金(1/2)	県補助金(1/4)	町補助金(1/4)
田(基本)	20.49ha	2,400円/10a	491,760	245,880	122,940	122,940
田(75%)	4,954.58ha	1,800円/10a	89,182,440	44,591,220	22,295,610	22,295,610
畑(基本)	0.76ha	1,440円/10a	10,944	5,472	2,736	2,736
畑(75%)	130.36ha	1,080円/10a	1,407,888	703,944	351,972	351,972
小計(基本)	21.25ha	-	502,704	251,352	125,676	125,676
小計(75%)	5,084.94ha	-	90,590,328	45,295,164	22,647,582	22,647,582
合計	5,106.19ha	-	91,093,032	45,546,516	22,773,258	22,773,258

【負担金補助及び交付金】 多面的機能支払交付金 資源向上支払(共同活動)事業補助金
【償還金利子及び割引料】 多面的機能支払交付金 資源向上支払(共同活動)事業補助金返還金

◆町推進事務費(定額補助)

(単位:円)

内容	予算額
【賃金】 日々雇用職員賃金 (@6,400円 * 20日 * 7ヶ月(4~6月、12~3月))	896,000
【旅費】 多面的研修会等	150,000
【需用費】 001 消耗品費	400,000
【役務費】 切手代	30,000
町推進事務費 計	1,476,000

【財源内訳】(県費)推進交付金1,376千円、町費100千円
91,094千円
1千円

4 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金 資源向上支払(長寿命化)事業			所属	農村整備課 農村整備係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	193,574					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118	
	前年度当初	193,952	前年度最終	175,985		145,179			48,395	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

- 1 目的 農業農村は、国土保全・水源涵養・景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化・人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつある。このため地域住民を含む組織が取組む、水路・農道等の施設の長寿命化のための活動を支援する。
- 2 事業内容 老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道、ため池などの施設の長寿命化のための補修・更新等を支援。
◆対象農用地面積及び交付単価等

地目	対象農用地面積	交付単価	地区数	備考(対象農用地面積の内訳)	うち5/6単価適用	備考(採択年度別地区数)
田	4,347.44ha	4,400円/10a 基本単価 (3,666円/10a) (5/6単価)	51地区 (前年比±0)	H28までの継続面積 4,346.86ha	19.47ha	平成23年度 16地区
		H29からの面積減(予定) 0.00ha		0.00ha	平成24年度 6地区	
		H29からの面積増(予定) 0.58ha		0.58ha	平成25年度 26地区	
畑	121.64ha	2,000円/10a 基本単価 (1,666円/10a) (5/6単価)		H28までの継続面積 121.53ha	0.00ha	平成26年度 3地区
				H29からの面積減(予定) 0.00ha	0.00ha	平成27・28年度 -
				H29からの面積増(予定) 0.11ha	0.11ha	平成29年度(予定) -

※H28以降の新規取組や面積拡大分について、広域組織又は直営施工を行わない組織については5/6単価を適用。継続分は基本単価が適用される。

3 予算額 ◆対象農用地に係る交付金の算定 (単位:円)

地目	対象農用地面積	交付単価	交付金総額	財源内訳		
				国補助金(1/2)	県補助金(1/4)	町補助金(1/4)
田(基本)	4,327.39ha	4,400円/10a	190,405,160	95,202,580	47,601,290	47,601,290
田(5/6)	20.05ha	3,666円/10a	735,032	367,516	183,758	183,758
畑(基本)	121.53ha	2,000円/10a	2,430,600	1,215,300	607,650	607,650
畑(5/6)	0.11ha	1,666円/10a	1,832	916	458	458
小計(基本)	4,448.92ha	-	192,835,760	96,417,880	48,208,940	48,208,940
小計(5/6)	20.16ha	-	736,864	368,432	184,216	184,216
合計	4,469.08ha	-	193,572,624	96,786,312	48,393,156	48,393,156

【負担金補助及び交付金】 多面的機能支払交付金 資源向上支払(長寿命化)事業補助金
【償還金利子及び割引料】 多面的機能支払交付金 資源向上支払(長寿命化)事業補助金返還金

193,573千円
1千円

●補助金の流れ「国→県→町→活動組織」
○返還金の流れ「町→県→国」

町から県へ(国及び県補助金分)を返還。活動組織(事業主体)には当該年度分の補助金から返還額を相殺して交付。

- 4 事業の効果 農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	6	項	1	目	7	細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	24,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116
	前年度当初	44,000	前年度最終	25,240					24,000	継続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 目的

国で造成された農業水利施設は、ダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。

これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが、今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全するためストックマネジメントの手法を導入し施設の状態に応じたきめ細かい対策を講じる。

2 事業内容

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている基幹水利施設の機能を効率的に保全維持するため、実施計画書に基づき順次整備する。

実施計画書に基づく工事の事業主体は県であり、町は事業費の一部を負担する。

○福富地区

八平第1排水機場：主ポンプ設備・ポンプ補機設備・除塵機設備の整備、部品の交換等

八平第2排水機場：ゲート設備、建屋整備、部品の交換等

六府方排水機場：ポンプ補機設備・除塵機設備・電気設備の整備、部品の交換等

3 予算額

19.負担金

福富地区 120,000,000 円 × 20 % = 24,000,000 円
(負担割合 国 50% 県 30% 町20%)

4 事業の効果

計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化が見込める。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業			所属	農村整備課 農村管理係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	44,054					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116・117	
	前年度当初	51,555	前年度最終	43,124			28,000		4,300	11,754	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

団体営事業等で造成された農業水利施設は、ダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。
これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが、今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。

2 事業内容

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている地沈水路の制水門の機能を効率的に保全維持するため、計画的に整備する。

制水門整備 33箇所

(補助対象事業費の負担割合)

国 55% 県 15% 町 20% 地元 10%(土地改良区)

3 予算額

11.需用費(消耗品費・燃料費) 54 千円
15.工事請負費 43,000 千円(補助:40,000千円、単独:3,000千円)
19.負担補助及び交付金 1,000 千円

【内訳】

地域ストックマネジメント事業事務費賦課金(補助対象事業費の2.5%) 40,000 千円 × 2.5% = 1,000 千円

4 事業の効果

団体営造成施設等の劣化状況等の調査に基づき、機能を保全するために必要な対応方を定めた計画を作成し、これに基づく施設の更新や予防的な保全対策、又は事後的な保全対策を適切に組み合わせて行うことにより、白石町全体の水利施設の状況を把握し、かつ早期の対策が図れるため、施設維持にかかるコスト低減が期待できる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	6	項	1	目	7	細事業名	農業基盤整備促進事業				所属	農村整備課 農村整備係
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	44,100					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116	
	前年度当初	52,000	前年度最終	60,700		22,000	16,000	4,400	1,700	継続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

農業用排水路の補修により用排水機能の適切な効果発現を図り、農作物の安定的な供給の確保及び農作物の品質向上を目的とし、また、担い手への農地集積率の向上及び生産拡大、担い手の育成・確保を推進する。

2 事業内容

◎用排水路補修(水路法面補修整備) ●用排水路整備事業費負担割合 国 55%・町 35%・土地改良区 10%
・地盤沈下対策水路31号水路(L=780m)

3 予算額

11.需用費 (消耗品費)	土地改良工事積算基準書外	100千円
13.委託料	測量設計委託料 (水路)	2,000千円
15.工事請負費	水路整備工事	42,000千円

【歳入の算定】

◎農業基盤整備促進事業補助金
(補助対象事業費ベースで算定)
・用排水路 40,000千円
40,000千円×55%= 22,000千円

◎分担金
・用排水路(44,000千円×10%) 4,400千円

◎合併特例債 16,000千円

4 事業の効果

農業用排水路の補修により用排水機能の適切な効果を図り、農作物の安定的な供給を確保することにより、担い手への農地の集積、生産拡大、所得の向上が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	9	細事業名	基幹水利施設管理事業			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	水利施設管理事業					財 源 内 訳					
予 算 額	32,968					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	32,986	前年度最終	32,386			11,701			21,267	119~121
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

大規模で公共性の高い基幹水利施設について、地域の農業情勢及び社会情勢の変化に対応した管理を行なうことにより、その効用を適正に発揮させることを目的とする。

2 事業内容 補助率 国 30% 県30% 町 40%

(1) 管理対象施設 : 排水機場(有明1号・2号・3号) 3箇所(排水量 32.3m³/S)、 有明水路 延長13km。

(2) 管理事業内容

排水機場 基本点検及び重要点検
電気保安点検及び排水機場操作補助委託等
有明水路 有明水路整備工事(除草)
ゲート操作補助委託

3 予算額

11.需用費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	8,112 千円
12.役務費	手数料・自動車保険料・傷害保険料	109 千円
13.委託料	排水機場点検業務委託・排水機場操作補助委託 電気保安点検委託・地下タンク漏洩点検委託 有明水路ゲート操作補助委託・浄化槽管理委託 有明水路除草業務委託	10,923 千円 305 千円 361 千円 12,796 千円
14.使用料及び賃借料	機械借上料	333 千円
27.公課費	自動車重量税	29 千円

4 事業の効果

適正な管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	9	細事業名	基幹水利施設管理事業 佐賀西部白石地区			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	水利施設管理事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	21,770					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	21,740	前年度最終	18,160			7,723		969	13,078	119~121
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

国営筑後川土地改良事業により造成された基幹水利施設である白石平野揚水機場、佐賀西部導水路白石線、山脚導水路、白石導水路(調圧水槽含む)の管理に関し、地域農業の農業用水等の需要に的確に対応するとともに、施設のもつ公共・公益的機能を十分に発揮させるため、施設の適正管理に資するもの。

この施設について、4市町(武雄市・大町町・江北町・白石町)が国から管理委託を受け、事務委託を受ける白石町が代表町となり事務処理を行うもの。

2 事業内容

補助率 国 30% / 県 30% / 4市町 40%(武雄市・大町町・江北町・白石町)

(1) 管理対象施設

揚水機場 1箇所(用水量 2.94×2=5.88m³/S)

佐賀西部導水路白石線 8.7km / 白石導水路 2.5km / 山脚導水路 6.5km / 合計 17.7km(調圧水槽含む)

(2) 管理事業内容

揚水機場 揚水機場保守点検
揚水機場操作・管理点検委託等

導水路 操作・管理点検委託等

管理費負担割合	
武雄市	0.59%
大町町	0.25%
江北町	4.99%
白石町	94.17%
合 計	100.00%

3 予算額

11.需用費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	10,479 千円
12.役務費	通信費、手数料、保険料	1,454 千円
13.委託料	保守点検整備委託料 (揚水機場等点検整備委託・水管理システム保守点検委託・電気設備保安管理委託・消防用設備保守点検)	9,126 千円
	日常管理委託料	690 千円
14.賃借料	JR軌道敷賃借料	21 千円

4 事業の効果

適正な点検と管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	9	細事業名	排水機場管理事業費			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	水利施設管理事業					財 源 内 訳					
予 算 額	37,904					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	44,374	前年度最終	40,174				1	37,903	119~121	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

地盤沈下対策事業、有明海岸保全事業、湛水防除事業等で造成された排水機場(9箇所)の点検整備を良好に行ない、その効用を適正に発揮させることを目的とする。

2 事業内容

排水機場の適正な維持管理 9排水機場(排水量:47.6m³/S) 2排水ポンプ(排水量:1.35m³/S)

- ・新明排水機場
- ・北部排水機場・南部排水機場
- ・八平排水機場(第1・第2)
- ・龍神排水機場
- ・六府方排水機場・佐留志排水機場
- ・廻里江排水機場
- ・(大瀬ゲートポンプ・八平南部ポンプ)

3 予算額

07.賃 金	排水機場管理嘱託職員賃金	1,920 千円
09.旅 費	土地改良財産管理受託機関担当者会議等	80 千円
11.需 用 費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	17,541 千円
12.役 務 費	通信運搬費・手数料・傷害保険料	182 千円
13.委 託 料	排水機場点検整備業務委託料・排水機場操作委託料	14,790 千円
	電気保安点検委託・地下タンク漏洩点検委託・ごみ処理委託	3,391 千円

4 事業の効果

安定的に稼働ができ、湛水被害の軽減が期待できる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	11	細事業名	ため池等整備事業費			所属	農村整備課 農村整備係
目 名 称	ため池等整備事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	33,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	48,135	前年度最終	38,555			18,000		6,000	9,500	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

堤体より漏水が確認されている坂田ため池及び坊ヶ谷ため池について、県営事業により堤体の改修工事を行う。
また、近年の豪雨や大規模地震等により多くのため池が被災し大きな被害が生じていることを踏まえて、平成25年度に佐賀県においてため池の一斉点検を実施された。この一斉点検の結果、下流に人家や公共施設等があり、施設が決壊した場合に影響を与える恐れがあるため池について、防災重点ため池として指定されたため、このため池のハザードマップの作成を行う。

2 事業内容

事業名	ため池名	実施主体	事業内容
農村地域防災減災事業(ため池整備事業) ※負担割合 国55%、県30%、町15%	坂田ため池	佐賀県	堤体工(L=65.0m)、取水施設工(一式)
	坊ヶ谷ため池	佐賀県	堤体工(L=34.0m)、家屋事前調査(調査ボーリング)
農村地域防災減災事業(調査計画事業) ※負担割合 国100%	新ため池	白石町	ハザードマップ作成
	泉ため池		
	梅ノ木谷ため池		
	天神前ため池		
	坂田ため池		
	嘉瀬川ため池		
法蔵寺ため池			

3 予算額

	事業名	事業費	財 源 内 訳				備 考
			国 費	県 費	町 費	そ の 他	
11.需用費 消耗品費		100			100		
13.委託料	ハザードマップ作成業務委託料 (梅ノ木谷他ため池地区)	19,000	18,000	0	1,000	0 補助対象事業費 18,000千円	
19.負担金、補助金	農村地域防災減災事業(ため池整備事業) (坂田ため池) 県営事業	64,000	(35,200)	(19,200)	4,800	4,800 その他は白石土地改良区より支出	
	農村地域防災減災事業(ため池整備事業) (坊ヶ谷ため池) 県営事業	32,000	(17,600)	(9,600)	3,600	1,200 その他は牛間田区より支出	

4 事業の効果

堤体から漏水しているため池を改修やハザードマップ作成を行うことにより、農業用水の確保、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保に寄与することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	3	目	1	細事業名	漁業環境保全事業費			所属	農村整備課 水産林務係
目 名 称	水産振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	24,370					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	19,371	前年度最終	19,371		18,000		5,500	870	126・127	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

漁業生産等に伴って多量に発生する「漁業用生産資材廃棄物」の適正処理を推進し、環境保全を図ると共に、廃棄物のリサイクルによる資源の有効活用に寄与する。
 漁場の海底耕耘、清掃等の整備開発を行い、漁場としての機能を回復させることにより、対象漁貝類生産の回復増大を図り、漁業者の安定した経営と所得の向上を図る。

2 事業内容

- 効用の低下している漁場の生産力の回復や水産資源の生息場の環境改善
 - ・海底耕耘
 - ・堆積物の除去
- 漁業用生産資材(廃プラスチック・ビニール等)の収集・廃棄処分費補助
 - ・種付け用袋(落下傘・カキ殻付き)
 - ・活性処理容器
 - ・冷凍袋

◆沿岸漁場整備事業事業計画

単位:千円

区 分	全体計画		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	数 量	事業費	数 量	事業費	数 量	事業費	数 量	事業費
海底耕耘工	1,482.2ha	66,000	433.8ha	19,000	531.8ha	24,000	516.6ha	23,000
産業廃棄物処理工	14m ³		3m ³		6m ³		5m ³	

■歳入

国庫	24,000千円 × 50.0%	12,000千円
県費	24,000千円 × 25.0%	6,000千円
漁協	24,000千円 × 12.5%	3,000千円

3 予算額

- 11. 需用費: (消耗品費80千円、燃料費20千円) 100千円
- 13. 委託料: 沿岸漁場整備事業底質改善業務等委託 24,000千円
 総事業費: 66,000千円
 事業実施期間: 平成28年度～平成30年度(3ヶ年)
 負担区分: 国50%・県25%・町12.5%・漁協12.5%

◆漁業用生産資材廃棄物適正処理事業補助金 (過年度回収実績) 単位: m³、千円

区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	数量	処理費用	数量	処理費用	数量	処理費用
落下傘	68.0	1,408	60.0	1,089	82.5	872
廃プラスチック類	94.0	757	36.5	354	40.0	294
計	162.0	2,165	96.5	1,443	122.5	1,166

- 19. 負担金補助及び交付金 270千円

漁業用生産資材廃棄物適正処理事業補助金

水産業の振興及び漁場環境の保全を図るため漁業用生産資材廃棄物処理費として、町内の海苔漁業者が所属する漁業協同組合に対し、補助金を交付する。

※1m³当たり1,800円を限度として予算の範囲内で補助する。

4 事業の効果

漁業者の環境保全(有明海再生等)に対する意識改革の高揚が図られる。
 効用の低下している漁場の生産力の回復や、水産資源の生息場の環境改善効果が得られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	6	項	3	目	3	細事業名	漁港整備事業費				所属	農村整備課 水産林務係
目 名 称	漁港整備事業費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	32,969					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	127・128	
	前年度当初	27,178	前年度最終	13,038			19,500			13,469	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

安全性・機能性・快適性等の就労環境や観光漁業・海洋性レクリエーションなど総合的に配慮した『白石地域水産業の拠点』としての漁港整備を行う。
 漁港漁村整備『資源管理型漁業・つくり育てる漁業等への支援、安全で快適な漁業地域の形成』のための施策を推進する。
 大規模な地震及び津波の発生後も安定した漁業活動及び効率的な生産拠点の確保を図ることを目的として、新有明漁港の主要陸揚岸壁及び防波堤の機能を強化するために必要な機能診断を実施する。

2 事業内容

- | | | | |
|--------------------------------|----------------|--------------------------------|-------------------|
| <input type="checkbox"/> 事業名 | 水産生産基盤整備事業(特定) | <input type="checkbox"/> 事業名 | 漁港施設機能強化事業 |
| <input type="checkbox"/> 業務名 | 住ノ江漁港測量業務委託 | <input type="checkbox"/> 業務名 | 新有明漁港施設機能強化業務委託 |
| <input type="checkbox"/> 漁港名 | 住ノ江漁港 | <input type="checkbox"/> 漁港名 | 新有明漁港 |
| <input type="checkbox"/> 概算事業費 | 2,000千円 | <input type="checkbox"/> 概算事業費 | 30,000千円 |
| <input type="checkbox"/> 業務内容 | 漁港区域の変更に伴う地形測量 | <input type="checkbox"/> 業務内容 | 耐震・耐津波に対する施設機能診断 |
| | | | ・土質資料解析 |
| | | | ・沖波の推算 |
| | | | ・波浪変形計算 |
| | | | ・設計計算(耐波設計) |
| | | | ・設計計算(L1地震津波断面照査) |

3 予算額

- | | |
|--|----------|
| 09. 旅 費: 認可設計協議・漁港区域変更協議(水産庁) | 115千円 |
| 11. 需用費:
(消耗品費115千円、燃料費14千円、公用車点検整備費100千円、住ノ江漁港修繕費50千円) | 279千円 |
| 13. 委託料: | 32,000千円 |
| ①水産生産基盤整備事業住ノ江漁港測量業務委託 | 2,000千円 |
| ②新有明漁港施設機能強化設計業務委託 | 30,000千円 |
| 14. 使用料及び賃借料: | 575千円 |
| 事務機器リース料(カラーコピー機115千円、積算共同利用システム460千円) | |

■歳入

・漁港施設機能強化事業費補助金		
国庫	30,000千円×50.0%	15,000千円
県費	30,000千円×15.0%	4,500千円

4 事業の効果

水産資源の持続的利用と、良質な水産物を安全で効率的に供給する体制の整備が図られる。
 安全で快適な漁業地域の形成、および漁業経営の向上が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	8	項	1	目	1	細事業名	住民協働・道路等環境整備事業			所属	建設課 維持管理係
目 名 称	土木総務費					財 源 内 訳					
予 算 額	6,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	134
	前年度当初	6,000	前年度最終	6,000					6,000	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 1 節	参加と協働の促進		

1 目的 地域住民の生活環境を整備し、住みよい町づくりを推進するため、地域住民が主体となって整備する事業に対し、助成を行うことで、地域住民の和と絆を構築し、よりよい町づくりに資することを目的とする。

- 2 事業内容
- ① 住民協働環境整備資材等支給事業
住民が主体となって行う地区内の環境整備事業に対し、必要な資材費等の費用を助成する。
○事業対象 町道等 ○住民作業型 一部業務委託可 ○補助限度額 500,000円
 - ② 道路等環境整備事業
各地区が主体となって施工する地域内の環境整備事業に対し、事業費の80%を限度として補助を行う。
○事業対象 法定外道路・水路等 ○工事発注型 ○補助限度額 1,200,000円

※その他事業(多面的機能支払交付金など)による整備可能路線は対象外

平成28年度実績			
①住民協働	9件	支出見込額	4,500,000円
②道路等環境整備	2件	支出見込額	1,350,000円
		合計	5,850,000円
		現計予算額	6,000,000円
		過不足額	150,000

3 予算額

19 負担金補助 及び交付金	6,000,000 円	002補助金			
		①住民協働環境整備資材等支給事業	4,000,000円	H28に事前相談有り 2地区 100万円 新規申請 6地区 300万円	と見込む
		②道路等環境整備事業	2,000,000円	120万円(事業費150万円)×1箇所 80万円(事業費100万円)×1箇所	と見込む

4 事業の効果 町の事業として着手しにくい地区内の里道や生活排水路などの整備を図り、生活環境の改善に資する。
町内の生活環境施設の小規模な維持管理を住民と協働で行うことにより、環境の改善と地域の活力の増進を図ることができる。

単位:千円

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計							
款	8	項	2	目	1	細事業名	(社会資本整備総合交付金事業) 道路改築・修繕事業			所属	建設課 建設係
目 名 称	道路維持費					財 源 内 訳					
予 算 額	136,800					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	135
	前年度当初	101,100	前年度最終	122,200		78,720		12,400	40,000	5,680	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

1 目的

町道約430kmの中には既にアスファルト舗装の耐用年数が過ぎて老朽化の激しい箇所が多く見受けられる。このため、平成26年度において約200kmを対象に路面性状調査を行い、緊急性の高い路線から順次、舗装補修を実施することで、地域住民の日常生活が安心・安全で利便性の高い快適な道路環境を構築する。
また、町道秀村線においては、町中心部のアクセス道路であり歩道の設置を図ることで歩行者の安全を確保する。

2 事業内容

- ・町道秀村線(福田工区:2期) 町道北川廿治線～町道大戸片町線区間 改良・舗装工事 全長L=280m W=10.25m(継続)
- ・平成26年度に実施した、道路ストック総点検(路面性状調査)に基づき道路老朽化対策(舗装補修)を5ヶ年計画で順次行う。
平成29年度 工事実施総延長 L= 2,350m

3 予算額

路 線 名	本年度施工延長	幅 員	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	その他	計	備 考
①町道秀村線(福田工区・2期)	L=280m	W=10.25m	0	700	3,500	27,000	0	31,200	改築事業(歩道設置含む)
②町道六府方東部線	L=220m	W= 4.00m	95,000	10,000	0	0	0	105,000	修繕事業(舗装補修) 工事実施 10路線 測量調査 9路線
③町道直江線	L=280m	W= 3.50m							
④町道太原遠江又線	L=200m	W= 3.60m							
⑤町道遠江搦線	L=200m	W= 4.10m							
⑥町道太原本線	L=250m	W= 5.50m							
⑦町道遠江中1号線	L=160m	W= 2.50m							
⑧町道横手第7号線	L=200m	W= 3.60m							
⑨町道廻里津大和線	L=390m	W= 6.90m							
⑩町道北端高原線	L=200m	W= 3.50m							
⑪町道岡崎線	L=250m	W= 3.30m							
⑫～⑰修繕事業調査のみ路線 (町道福吉4号線 他5路線)	L=4,930m	W=3.3m～4.5m							
需 用 費			0	0	0	0	300	300	消耗品 (現場用消耗品等)
原材料費			0	0	0	0	300	300	道路補修用碎石、道路補修材
合 計	L=7,560m		95,000	10,700	3,500	27,000	600	136,800	

4 事業の効果

老朽化した道路の維持補修工事及び改良工事(歩道設置含む)を実施することで、道路利用者の安心・安全な通行が確保できる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	8	項	2	目	2	細事業名	道路新設改良費			所属	建設課 建設係
目 名 称	道路新設改良費					財 源 内 訳					
予 算 額	86,397					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	136・137
	前年度当初	81,700	前年度最終	81,700			70,000		16,397	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実
-------------------------------	---------------	------------------------	---------------	---------------

1 目的

市町村合併により旧町間や公共施設を結ぶ町道の総合的な道路ネットワークの整備が急務である。
これらの町道の改良工事を新町建設計画や合併支援道路整備計画との整合性を取りながら、年次施工することにより安全・安心な道路網の整備とゆとりある生活基盤の確保を図る。

2 事業内容

路 線 名 (全 体 計 画)		事業年度	予 定
①町道白石13号線(新村線) 改良・舗装・補償	L= 175m W=6.5m(継続)	H 23 ~ H 29	予定
②町道郷司給線 改良・舗装	L= 255m W=5.5m(継続)	H 28 ~ H 30	予定
③町道弁財線 改良・舗装	L= 100m W=4.6m(新規)	H 29 ~ H 30	予定
④町道沖小路1号線 改良・舗装	L= 100m W=4.0m(新規)	H 29	
⑤町道今泉深通線 改良・舗装	L= 100m W=7.0m(新規)	H 29 ~ H 31	予定
⑥町道第2東区線 改良・舗装	L= 70m W=6.5m(新規)	H 29 ~ H 31	予定
⑦町道下区中央線 改良・舗装	L= 15m W=3.0m(新規) 歩道橋設置	H 29 ~ H 30	予定
⑧町道白石15号線(古賀辺田線)補償		H 23 ~ H 28	

3 予算額

(単位:千円)

路 線 名	施工延長	本工事費	委託費	用地費	補償費	事務費	計	備 考
①町道白石13号線(新村線)	175 m	65,650	5,700	3,800	10,251	-	85,401	過疎債対象道路(合併支援道路)
②町道郷司給線	255 m							過疎債対象道路
③町道弁財線	100 m							過疎債対象道路
④町道沖小路1号線	100 m							
⑤町道今泉深通線	100 m							過疎債対象道路
⑥町道第2東区線	70 m							過疎債対象道路
⑦下区中央線	15 m							過疎債対象道路
⑧町道白石15号線(古賀辺田線)								
消耗品費	-	-	-	-	-	69	69	事務用品及び契約用印紙代
役務費	-	-	-	-	-	10	10	返信用切手、印鑑証明書手数料
使用料及び賃借料	-	-	-	-	-	617	617	積算システムリース料
原材料費	-	-	-	-	-	300	300	砕石及び仕切弁嵩上用枠等
合 計	-	65,650	5,700	3,800	10,251	996	86,397	

4 事業の効果

上記事業を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性の向上が図られる。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計						単位:千円	
款	8	項	2	目	2	細事業名	(社会資本整備総合交付金事業) 通学路整備事業			所属	建設課 建設係
目 名 称	道路新設改良費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	107,460					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	136・137
	前年度当初	104,600	前年度最終	83,400		60,540		40,200		6,720	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

1 目的

社会資本整備総合交付金事業道路新設道路改良で取り組む3路線は、小・中学校、高校の通学路であり、地域間を結ぶ主要道路ともなっている。しかし、いずれの路線も歩道の設置がなされておらず、一般車両と歩行者が交錯し危険な状況である。このため、車道の幅員を確保し歩道設置をすることにより、歩行者の安全を確保し人に優しい交通環境の整備を図る。

2 事業内容

- ①町道中郷揚田線(福田工区) 県道武雄福富線～県道武雄白石線 改良・舗装工事 全長L=440m W=9.50m(継続)
 ②町道高町百貫線(深浦・坂田工区) 県道白石大町線～町道古賀辺田線 改良・舗装工事 全長L=1,100m W=10.00m(継続)
 ③町道六府方南方線(東六府方工区) 国道444線～町道海岸南北産業線 改良・舗装工事 全長L=460m W=9.25m(新規)

3 予算額

(1)通学路の安全対策

(単位:千円)

路線名	総延長	施工延長	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	その他	計	備 考
①町道中郷揚田線(福田工区)	L=440m	L= 20m 交差点改良一式	66,300	20,100	2,300	17,500		106,200	通学路整備(交通安全対策) ・工事施工 2路線 ・調査、測量、設計 1路線
②町道高町百貫線(深浦・坂田工区)	L=1,100m	L=230m							
③町道六府方南方線(東六府方工区)	L=460m	-							
旅 費							60	60	職員研修旅費
需用費							700	700	消耗品費 ・事務用消耗品、大型コピー機トナー、積算基準図書等
原材料費							500	500	道路補修用砕石、道路補修材
合 計	L=2,000m	L=250m	66,300	20,100	2,300	17,500	1,260	107,460	

4 事業の効果

整備計画路線は、主に小中学校及び高校の通学路となっており、国の補助事業を活用した道路整備(歩道設置)を行うことにより歩行者の安全性が確保できる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	8	項	2	目	4	細事業名	(社会資本整備総合交付金事業) 橋りょう長寿命化事業			所属	建設課 建設係
目 名 称	橋りょう維持費					財 源 内 訳					
予 算 額	73,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	138
	前年度当初	91,000	前年度最終	66,000	41,400		17,000		15,100	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実		

1 目的

橋りょう長寿命化修繕計画策定に伴い、計画的な橋梁の維持管理を行い、将来的な財政負担の低減及び道路交通の安全性の確保を図る。

2 事業内容

平成29年度は、詳細設計を実施済の4橋について橋梁補修工事を行うとともに、健全度が悪化している3橋梁の詳細設計を実施する。

また、「道路法施行規則の一部を改正する省令」がH26年7月1日に施行され、国が定める統一的な基準により、5年に1回の頻度で、近接目視による点検が義務化されたため、点検業務を実施する。

- ・ 橋梁補修補強工事 4 橋
- ・ 橋梁補修詳細設計 3 橋
- ・ 橋梁点検業務 195 橋 (近接目視) (H27~H30年度までに全ての橋梁点検を実施する) 町道架設橋梁数 695橋

3 予算額

(単位:千円)

橋 梁 名	橋 長	町 道 名	内 容	本工事費	測量試験費	補償費	負担金	合計
①417-5号橋	15.6 m	横手第6号線	【主な工事内容】 ひび割れ補修工 断面修復工 表面含浸工 橋面補修工	31,000	-	1,000	-	32,000
②市萬橋	14.8 m	昭和搦旧堤防線						
③末福橋	13.3 m	福吉東西5号線						
④満江2号橋	13.3 m	遠江搦5号線						
詳細設計業務	一式	-	3橋	-	7,000	-	-	7,000
橋梁点検業務	一式	-	195橋	-	34,000	-	-	34,000
橋梁点検負担金(馬田橋)	一式	-	-	-	-	-	500	500
合 計	-	-	-	31,000	41,000	1,000	500	73,500
内補助対象事業費	-	-	-	29,000	40,000	-	-	69,000

4 事業の効果

定量的かつ定期的な維持補修により橋梁の長寿命化を促し、維持補修にかかる金額の平準化及び第三者被害の防止を図る。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	8	項	6	目	2	細事業名	公営住宅ストック総合改善事業			所属	建設課 建築住宅係
目 名 称	住宅管理費					財 源 内 訳					
予 算 額	35,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	143
	前年度当初	75,800	前年度最終	74,812		15,525				19,975	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実	

1 目的

本町の町営住宅は、昭和35年から昭和61年にかけて建設され、木造住宅や耐用年数を超過した住宅が数多くあり、適切な維持管理が必要となっている。したがって、このような老朽住宅について、国の交付金を利用して計画的な補修、改修を行い長寿命化を図る。

2 事業内容

六角住宅下水道接続工事及び宅内改修工事

3 予算額

節	予算額	細節
13委託料	4,500	設計監理委託料
15工事請負費	31,000	工事請負費
合計	35,550	

4 事業の効果

居住性や安全性が低下している町営住宅の計画的な補修等を行い、町営住宅の適正な管理を図る。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	1	目	3	細事業名	外国青年語学指導助手設置費		所属	学校教育課 庶務係	
目名称	教育振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	13,301					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	13,309	前年度最終	13,309				360	12,941	152・153	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

英語をもっと身近に、親しみを持つことができる環境を子どもたちに与えることを目的とし、中学校を中心に町内の小学校、保育園、幼稚園で、英会話を広めるため子ども達とコミュニケーションを図りながら活動を行う。

2 事業内容

中学校における外国語授業の補助など英語の授業等に参加し、各小学校へは総合的な学習の時間に年約30回(60時間)ずつ派遣し英語活動に取り組む。
また、町内の保育園、幼稚園を年5回程度訪問し、ゲーム等を通して園児との交流を図る。町内のさまざまなイベントに、積極的に参加し英会話を広めながら交流を図る。
各中学校1名 計3名配置

3 予算額

08.報償費	10,800千円	300,000円 × 3人 × 12月 = 10,800,000円
09.旅費	56千円	研修旅費 2,000円 × 3人 = 6,000円 大会等引率 50,000円
11.需用費	110千円	消耗品費(教材消耗品) 10,000円 修繕料(宿舍等) 100,000円
12.役務費(手数料)	55千円	ハウスクリーニング代 55,000円
14.使用料及び賃借料	594千円	白石家賃 49,500円 × 12月 = 594,000円 ※福富は町設置宿舍、有明は有中用務員宿舍 新規招待者ホテル宿泊費
18.備品購入費	100千円	備品買換 100,000円(エアコン、洗濯機等)
19.負担金	1,586千円	ALT社会保険料 131,000円 × 5ヶ月 + 133,000円 × 7ヶ月 = 1,586,000円

※財源内訳 その他(家賃個人負担分) 10,000円 × 12ヶ月 × 3名分

4 事業の効果

ALTによる英語指導により、児童生徒が英語を身近に感じるとともに外国文化に直接に接することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	10	項	1	目	3	細事業名	スクールカウンセラー配置事業費			所属	学校教育課 学校教育係	
目名称		教育振興費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		3,155				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	152	
		前年度当初	3,155	前年度最終	2,755		1,051			2,104	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成			

1 目的

小学校における不登校の増加に伴う教育相談事業の重要性に鑑み、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識を有するカウンセラーを配置し、小学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。

2 事業内容

- ① 児童生徒へのカウンセリング
- ② カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・指導
 - ・教師の教育相談に関する力量の向上(校内事例研修会、実技研修会等)
 - ・保護者や相談機関との連携の在り方 など
- ③ 児童生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供
 - ・いじめや不登校等の基本的な認識
 - ・子どもの心の捉え方や対応の在り方 など
- ④ その他児童生徒のカウンセリング等に関し、各学校において適当と認められるもの
 - ・保護者への講話、カウンセリング
 - ・学校だよりや教育相談だより等の原稿執筆

※補助率1/3以内(対象経費:謝金及び旅費に要する経費)

3 予算額

08 報償費 2,900 千円 スクールカウンセラー謝金 5,000円 × 580H = 2,900,000円

09 旅費 255 千円 片道1,740円(白石町～唐津市)×2×73日 = 254,040円
(配置されるSCの住所により旅費が変動するため、以前の実績で最も遠い唐津市で計上)

4 事業の効果

家庭と学校とカウンセラーと連携することで、よりよい子どもの状態が保たれる。

※財源内訳 3,155千円×1/3=1,051千円 県補助

※この事業は、H20年度までスクールアドバイザー配置事業(1/2県補助)として実施。H21年度からは、佐賀県スクールカウンセラー配置事業(1/3県補助)として実施。

H25年度から中学校SC配置事業(国庫1/3補助、県2/3)…県より支出

小学校佐賀県SC配置事業(県1/3補助、市町2/3)で実施…市町より支出

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	1	目	3	細事業名	適応教室事業		所属	学校教育課 庶務係	
目名称	教育振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	4,006					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	4,006	前年度最終	4,006					4,006	152・153	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、交流館2階に適応指導教室コンフォートスペース「あい」を開設し、指導員2名を配置し指導を行う。

2 事業内容

場所 白石町交流館 2階 80㎡
 指導員 常勤1名、非常勤2名
 ※白石町小中学生適応教室設置要綱
 ※白石町コンフォートスペース「あい」運営要項

	H25	H26	H27	H28
指導員	3人	3人	3人	3人
正式入級者	5人	5人	6人	7人
見学者	のべ249人	のべ135人	のべ143人	のべ95人
保護者相談	のべ102人	のべ16人	のべ16人	のべ9人
体験入級者	のべ7人	のべ15人	のべ9人	のべ4人
別室登校者	のべ4人	のべ4人	のべ135人	のべ0人

※H28年度は1月現在

3 予算額

07.賃金 3662千円 指導員(日々雇用) 6,800円 × 10日 × 12月 × 2名 = 1,632,000 円
 指導員(嘱託専任) 169,100円 × 12月 × 1名 = 2,029,200 円

11.需用費 166千円 消耗品費 事務消耗品 10,000円 × 12月 = 120,000 円
 活動費 3,000円 × 12月 = 36,000 円
 修繕料 10,000円

12.役務費 53千円 電話料 4,000円 × 12月 = 48,000 円
 クリーニング料 5,000円

14.使用料及び賃借料 75千円 ケーブルテレビ利用料(年払い) 16,632円
 ケーブルインターネット (4,298円+540円) × 12月 = 58,056円

18.備品購入費 50千円 教材備品・図書購入費

4 事業の効果

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、集団生活に適応する力を育むことができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	2	目	2	細事業名	学校教育課費(小学校情報教育費)			所属	学校教育課 学校教育係
目名称	教育振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	25,449					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	157
	前年度当初	44,781	前年度最終	41,081					25,449	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

平成23年4月に「教育の情報化ビジョン」が取りまとめられ、国は、電子黒板や学習用電子端末などのICT機器等を利用した教育を推進している。佐賀県も例外ではなく、教育現場におけるICT機器等の整備と利活用教育に関する研修の充実を図るなどして、先進的な利活用教育の推進を目指している。こうした動きを受け、本町でも町内小学校でタブレットPCを配置し、デジタル教科書による授業の実現を図り、ICT機器等を利用した教育を推進する。

2 事業内容

- ・パソコン教室PCのリース満了、老朽化により、新しいパソコン教室のあり方として、「移動パソコン教室構想」で小学校パソコン教室の運用を行う。(小学校分)
- ・校務用パソコン・サーバを更新する(次回更新は、H32年度～)

【参考】校務用パソコン等更新計画案

	須古	六角	白石	北明	福富	有東	有西	有南
配置済	H26	H28	H28	H28	H26	H27	H27	H28
H32	○				○			
H33						○	○	
H34		○	○	○				○

3 予算額

13 委託料	町内小学校 移動パソコン教室パソコン運用委託 パソコン廃棄委託	33,000円 × 8校 × 1.08	16,984,080 円 285,120 円	16,985 千円 286 千円
14 使用料	町内小学校 移動パソコン教室パソコン等リース料 (681,450円×12ヶ月)		8,177,400 円	8,178 千円

4 事業の効果

- ・県内小中学校の各種教育研究会において研修や行事等を行うことで、専門知識が身に付き教職員の資質が向上してよりよい学校教育の振興につながる。
- ・すべての教室に電子黒板付きのデジタルテレビが配置されることで、児童生徒にとって分かりやすい授業が展開される。
- ・総合支援保守を行うことで、安心して機器を使用することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	2・3	目	1	細事業名	学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業	所属	学校教育課 庶務係		
目名称	教育振興費					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	42,200					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	154・159
	前年度当初	42,200	前年度最終	42,700					42,200	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

今の学校現場では、特別支援学級の生活面の対応、不登校(別室登校を含む)児童生徒への対応、障害や発達障害等による特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員(教職員)での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。そこで、教員免許を有する者、教員を目指している者、児童生徒の生活面の支援に知識を有する者、学校事務に経験を有する者を配置し、児童生徒の健全な育成と円滑な学校経営に資することを目的とする。

2 事業内容

- ・特別支援学級の児童生徒への対応補助
- ・別室登校及び不登校児童生徒への対応補助
- ・障害等により個別対応が必要な登校児童生徒への対応
- ・授業や補充学習の指導補助
- ・各種学校行事における指導及び準備補助
- ・事務補助 など

小学校	特別支援教育対応	1,000時間	} 8校
	教育相談対応(不登校対策)	1,000時間	
	発達障害児等対応	1,000時間	
中学校	特別支援教育対応	1,000時間	} 3校
	教育相談対応(不登校対策)	1,000時間	
	事務支援対応	1,000時間	
	学習支援対策	400時間	

身体・知的・情緒障害、発達障害(LD・ADHD・自閉症・言語障害)の生徒
 小学校71人、中学校24人 計95人(29年4月想定)
 不登校者数 小学校5人、中学校25人 計30人(H29.1現在)

3 予算額

※各学校予算へ配分

7 賃金	小学校	1,000 円 × 4,200 時間 × 1 校 =	4,200,000 円(1校)	計 4,200 千円
	小学校	1,000 円 × 4,100 時間 × 1 校 =	4,100,000 円(1校)	計 4,100 千円
	小学校	1,000 円 × 3,900 時間 × 6 校 =	23,400,000 円(6校)	計 23,400 千円
	中学校	1,000 円 × 3,900 時間 × 1 校 =	3,900,000 円(3校)	計 3,900 千円
	中学校	1,000 円 × 3,300 時間 × 2 校 =	6,600,000 円(3校)	計 6,600 千円

参考H27	H28予算
小学校 31,900 千円	小学校 31,700 千円
中学校 10,200 千円	中学校 11,000 千円
計 42,100 千円	計 42,700 千円

4 事業の効果

児童生徒の障害に応じた支援体制の確立と事故防止対策がつながり、また、不登校・いじめなどの予兆的なサインをいち早くキャッチし、個別の教育相談を行ったり、教師間の連帯強化を図ったりするなど、児童生徒の状況に応じた適切な支援・指導が行えるようになる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	2・3	目	2	細事業名	コミュニティ・スクール導入等に資する取組			所属	学校教育課 庶務係
目名称	教育振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	6,315					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	156~158・161・162
	前年度当初	3,580	前年度最終	3,580	1,980				4,335	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

熟議や協働のもと信頼される開かれた学校づくりを目的として、学校運営協議会を設置し、地域に根差したコミュニティ・スクールの導入のあり方と推進について、実践を通じて調査・研究を行う。

2 事業内容

- ◆ 研究指定期間 2年間
国庫補助 1/3(国の予算の範囲内)
- ◆ コミュニティ・スクールの取組の充実
 - ・ H29年度から2年間 全小中学校

※学校運営協議会とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5の規定に基づく組織
同法律に基づき「白石町学校運営協議会規則」を整備
学校運営協議会は学校毎に設置
※学校運営協議会の役割
校長の作成する学校運営の基本方針の承認
学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べるができる
教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べるができる

3 予算額

580,000円 × 11 校 ≒ 6,315,000円 (運営の充実)

学校運営協議会設置状況(H28年4月現在)
全国2,806校
佐賀県 43校(佐賀市 小3・中2 武雄市 小2・中2 鹿島市 小1 嬉野市 小8・中4
多久市 小3・中3 唐津市 小2・中1 大町町 小中1 白石町 小8・中3)

代表者会

委員報酬 6,000円 × 10 名 × 2 回 = 120,000円
費用弁償 1,000円 × 10 名 × 2 回 = 20,000円

※代表者会予算は、事務局費に計上

4 事業の効果

保護者・地域住民との連携がこれまで以上に強化され、信頼される開かれた学校づくりが図れる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
款	10	項	4	目	1	細事業名	小学校施設整備費			所属	学校教育課 学校教育係																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
目名称		小学校施設整備費				財 源 内 訳					予算書頁																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
予 算 額		50,450				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	163																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		前年度当初	92,000	前年度最終	89,493				45,000	5,450	継 続																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>1 目的 町内の小学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、児童の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>消耗品費</td> <td>独自で行う修繕等に必要な消耗品代</td> <td>5 千円</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>独自で行う修繕等に必要な機材の燃料代</td> <td>5 千円</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>各学校に対応した緊急性の高いものから対応する</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>各小学校</td> <td>緊急を要する修繕(60万円×8校)</td> <td>合計</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>プール濾過機修繕・プール塗装補修等</td> <td>5,300 千円</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td colspan="12">委託料</td> </tr> <tr> <td>白石小</td> <td>体育館外壁等改修 設計</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>北明小</td> <td>北校舎屋上等改修 設計・監理</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>福富小</td> <td>校舎屋上防水改修 設計・監理</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>有明西小</td> <td>校舎屋上等改修 監理</td> <td>合計</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>緊急的に対応が必要となる工事の設計等</td> <td>4,600 千円</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>機械借上料</td> <td>独自で行う修繕等に必要な機械の借上料</td> <td>40 千円</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td colspan="12">工事請負費</td> </tr> <tr> <td>六角小</td> <td>用務員宿舎解体</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>須古小</td> <td>農具倉庫解体</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>北明小</td> <td>北校舎屋上等改修</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>北明小</td> <td>プール配管・塗装改修</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>福富小</td> <td>校舎屋上防水改修</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>有明西小</td> <td>校舎屋上等改修</td> <td>合計</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>緊急的に対応が必要となる工事</td> <td>40,500 千円</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td colspan="12">3 予算額</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>5 千円</td> <td>修繕費</td> <td>5,300 千円</td> <td>機械借上料</td> <td>40 千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>5 千円</td> <td>委託料</td> <td>4,600 千円</td> <td>工事請負費</td> <td>40,500 千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td colspan="12">4 事業の効果</td> </tr> <tr> <td colspan="12">児童及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、適切な維持管理により、保護者に安心を与え児童の教育充実及び安全確保が図られる。</td> </tr> </table>												消耗品費	独自で行う修繕等に必要な消耗品代	5 千円										燃料費	独自で行う修繕等に必要な機材の燃料代	5 千円										修繕料	各学校に対応した緊急性の高いものから対応する											各小学校	緊急を要する修繕(60万円×8校)	合計										その他	プール濾過機修繕・プール塗装補修等	5,300 千円										委託料												白石小	体育館外壁等改修 設計											北明小	北校舎屋上等改修 設計・監理											福富小	校舎屋上防水改修 設計・監理											有明西小	校舎屋上等改修 監理	合計										その他	緊急的に対応が必要となる工事の設計等	4,600 千円										機械借上料	独自で行う修繕等に必要な機械の借上料	40 千円										工事請負費												六角小	用務員宿舎解体											須古小	農具倉庫解体											北明小	北校舎屋上等改修											北明小	プール配管・塗装改修											福富小	校舎屋上防水改修											有明西小	校舎屋上等改修	合計										その他	緊急的に対応が必要となる工事	40,500 千円										3 予算額												消耗品費	5 千円	修繕費	5,300 千円	機械借上料	40 千円							燃料費	5 千円	委託料	4,600 千円	工事請負費	40,500 千円							4 事業の効果												児童及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、適切な維持管理により、保護者に安心を与え児童の教育充実及び安全確保が図られる。											
消耗品費	独自で行う修繕等に必要な消耗品代	5 千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
燃料費	独自で行う修繕等に必要な機材の燃料代	5 千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
修繕料	各学校に対応した緊急性の高いものから対応する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
各小学校	緊急を要する修繕(60万円×8校)	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他	プール濾過機修繕・プール塗装補修等	5,300 千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
委託料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
白石小	体育館外壁等改修 設計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
北明小	北校舎屋上等改修 設計・監理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
福富小	校舎屋上防水改修 設計・監理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
有明西小	校舎屋上等改修 監理	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他	緊急的に対応が必要となる工事の設計等	4,600 千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
機械借上料	独自で行う修繕等に必要な機械の借上料	40 千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
工事請負費																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
六角小	用務員宿舎解体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
須古小	農具倉庫解体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
北明小	北校舎屋上等改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
北明小	プール配管・塗装改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
福富小	校舎屋上防水改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
有明西小	校舎屋上等改修	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他	緊急的に対応が必要となる工事	40,500 千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3 予算額																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
消耗品費	5 千円	修繕費	5,300 千円	機械借上料	40 千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
燃料費	5 千円	委託料	4,600 千円	工事請負費	40,500 千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
4 事業の効果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
児童及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、適切な維持管理により、保護者に安心を与え児童の教育充実及び安全確保が図られる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	4	目	2	細事業名	中学校施設整備費			所属	学校教育課 学校教育係
目名称	中学校施設整備費					財 源 内 訳					
予 算 額	41,900					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	42,000	前年度最終	41,529				35,000	6,900	163	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

町内の中学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、生徒の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。

2 事業内容

消耗品費	独自で行う修繕等に必要な消耗品代	5 千円
燃料費	独自で行う修繕等に必要な機材の燃料代	5 千円
修繕料	各学校に対応した緊急性の高いものから対応する	
各中学校	緊急を要する修繕(80万円×3校)	合計
その他	プール濾過機修繕・プール塗装補修等	2,900 千円
委託料		
白石中	屋上防水 設計	
福富中	技術室解体・新設 設計・監理	合計
その他	緊急的に対応が必要となる工事の設計等	3,950 千円
機械借上料	独自で行う修繕等に必要な機械の借上料	40 千円
工事請負費		
白石中	屋上防水改修	
福富中	技術室解体・新設	合計
その他	緊急的に対応が必要となる工事	35,000 千円

3 予算額

消耗品費	5 千円	委託料	3,950 千円
燃料費	5 千円	機械借上料	40 千円
修繕費	2,900 千円	工事請負費	35,000 千円

4 事業の効果

生徒及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、適切な維持管理により、保護者に安心を与え、生徒の教育充実及び安全確保が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	4	目	3	細事業名	子どもの学習環境改善事業			所属	学校教育課 学校教育係
目名称	子どもの学習環境改善費					財 源 内 訳					
予 算 額	185,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
									170,000	15,500	164
	前年度当初	0	前年度最終	4,500						継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

ここ数年の異常気象により、小中学校教室内の夏場の室温が連日30℃を超えることが多くなった。このような中で授業をすることは、児童生徒や教師の健康を害してしまう恐れがある。また、学習環境の悪化や児童生徒の集中力の低下等を考慮し、小中学校の普通教室及び特別支援学級にエアコンを設置する。

2 事業内容

- ・町内小中学校の普通教室及び特別支援学級の88教室にエアコンを設置するため、平成29年度中に空調機設置工事を行う。
- ・またこれらの工事を適正に行うため、工事監理を委託する。

3 予算額

13委託料	小中学校空調設備工事監理業務	5,500,000 円	(5,500) 千円
15工事請負費	空調機設置工事	180,000,000 円	(180,000) 千円

4 事業の効果

小中学校に空調設備を整備することで、夏場の高温時による児童生徒の健康悪化を防ぐことができる。また学習環境が改善でき、授業時など児童の集中力の向上が期待できる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	10	項	5	目	1	細事業名	人権・同和教育費				所属	生涯学習課 生涯学習係
目 名 称	人権・同和教育費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	555					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	165・166	
	前年度当初	531	前年度最終	531					555	継続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 5 節	人権の尊重と男女共同参画の推進		
<p>1 目的 人権・同和教育問題(高齢者・女性・子ども・障害者・同和地区)に関する正しい理解と認識を深め、いつまでも・どこでも差別のないあたたかなふれあいの町づくりを目指す。 また、学校と地域及び行政との連携で「人権フェスティバル」を開催し、これまでの白石町を振り返り、「差別の現実から深く学ぶ」</p> <p>2 事業内容 ①「しろいし人権フェスティバル」の開催(講演会・町内から標語・作文の募集表彰) ②町内地域への人権教育の啓発事業 ③佐賀県人権・同和教育研究協議会主催事業への参加</p> <p>3 予算額 8 報償費 555 千円 353 千円 ①人権・同和教育研修会講師謝金 8,000円×11回=88,000円 12,000円×3回=36,000円 ②人権フェスティバル講演会講師 100,000円 ③選考委員謝礼 1,000円×5人=5,000円 ④人権フェスティバル実行委員謝礼 1,000円×20人×2回=40,000円 1,000円×32人=32,000円 ⑤入賞者記念品 1,000円×52個=52,000円 9 旅 費 10 千円 職員研修旅費 10,000円 11 需用費 90 千円 ①人権フェスタ消耗品 40,000円 ②人権・同和教育研修会消耗品 15,000円 ③九州地区人権・同和教育夏期講座 2,500円×8人(市町関係者参加要請人員)=20,000円 ④佐賀県人権・同和教育研究大会分科会 1,500円×8人(市町関係者参加要請人員)=12,000円 ⑤その他研修会参加資料代 500円×2人×3回=3,000円 19 負担金補助 102 千円 佐賀県人権・同和教育研究協議会負担金 101,086円 及び交付金</p> <p>4 事業の効果 学校と保護者及び町老連など組織へ人権教育の浸透と、学社連携により人権・同和教育を推進しあたたかなふれあいの町づくりを目指す。</p>												

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	5	目	2	細事業名	中央公民館費			所属	生涯学習課 生涯学習係
目 名 称	中央公民館費					財 源 内 訳					
予 算 額	13,469					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	166・167
	前年度当初	12,745	前年度最終	12,745					13,469	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

1 目的

佐賀県公民館連合会、杵島郡公民館連合会の活動をとおり、公民館の連絡を密にし、公民館運営についての調査研究を行い、相提携して公民館活動の充実振興を図る。
また、住民に最も身近な活動拠点である自治公民館活動を充実させる。また、自治公民館長を委嘱し、地域公民館事業の推進と活動支援を行う。

2 事業内容

公民館運営審議会委員委嘱
佐賀県公民館連合会、杵島郡公民館連合会の活動への参画
自治公民館長委嘱と自治公民館長会の開催/年間5回(全体会議1回、校区ごと4回)
自治公民館活動交付金の交付
自治公民館施設整備補助金(補助対象経費の4分の1助成)

3 予算額

13,469 千円	
1 報 酬	8,599 千円 自治公民館長報酬 均等割:51,000円×109館=5,559,000円 戸数割:400円×7,600世帯=3,040,000円
9 旅 費	545 千円 自治公民館長費用弁償 年間5回(1,000円×109人×5回=545,000円)
11 需用費	252 千円 事務用品 100,000円 年間事業計画表(スポーツ・3公民館行事含む)印刷 18円×7,800枚×1.08=151,632円
19 負担金補助 及び交付金	4,073 千円 佐賀県公民館連合会負担金 18,610円 杵島郡公民館連合会負担金 24,000円 自治公民館整備補助金 700,000円 自治公民館活動交付金 3,330,000円 均等割:18,000円×109公民館=1,962,000円 世帯割:180円×7,600世帯=1,368,000円

(単位:円)

公民館名	見積金額	補助金額	種 別
牛屋東分	324,000	80,000	駐車場舗装
下田野上	949,428	230,000	増改築
三町	597,240	140,000	駐車場舗装
一の籠	1,032,220	250,000	増改築
合 計	2,902,888	700,000	

4 事業の効果

各種事業の企画実施、公民館活動の充実振興が図られる。
住民の方々の身近な施設としての自治公民館の役割は大きく、住民の盛り上がりの中で地域の教育力の回復とともに、各単位公民館での活発な活動が行える。
自治公民館(長)の事業実施について、財政的支援を行い地域の盛り上がりを手助けする。

区分	平成29年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	10	項	5	目	3	細事業名	文化活動推進・文化財保護費			所属	生涯学習課 生涯学習係
目 名 称	文化活動・文化財保護費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	5,292					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	168・169
	前年度当初	4,951	前年度最終	4,951					3,240	2,052	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 3 節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造			
1 目的	優れた人材への助成と日本三大歌垣の一つ杵島山の歌垣に因む三十一文字コンテストを開催することにより、地域文化の育成と芸術文化の向上を図る。 伝承芸能・文化財の保護・啓発・活用をととして、白石町の歴史への認識を深め、郷土に対する愛着心と誇りを醸成する。										
2 事業内容	文化活動推進費:九州・全国及び世界的団体が主催する競技大会若しくは研究大会または表彰式典への出場者に対し、大会規模に応じて一人当たりの助成金を交付する。 「愛」をテーマとする和歌を全国から募集する「歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト」を開催し、日本三大歌垣の一つ杵島山の歌垣を全国にPRする。 文化財保護:開発行為と埋蔵文化財保護との調整を図る。指定文化財の維持管理・公開を委託する。各種文化財の調査及び啓発の推進及び活用を図る。重要文化財の指定化。 伝承芸能の保存・伝承に必要な不可欠な用具の購入及び修理に要する経費に対して助成金を交付する。 浮立の笛経験者が初心者等へ指導助言できるように篠笛講習会を開催する。										
3 予算額	5,292 千円										
1 報酬	60 千円	文化財保護審議会委員報酬	6,000円×5人×2回=60,000円								
8 報償費	399 千円	篠笛講習会講師謝金	30,000円×6回=180,000円								
		三十一文字コンテスト選者謝金	20,000円×3人=60,000円								
		三十一文字コンテスト入賞副賞(特産物)	3,000円×23個=69,000円								
		三十一文字コンテスト入賞副賞(図書カード)	3,000円×30枚=90,000円								
9 旅費	40 千円	文化財保護審議会委員費用弁償	1,000円×5人×2回=10,000円								
		篠笛講習会講師旅費	5,000円×6回=30,000円								
11 需用費	210 千円	事務消耗品費	50,000円								
		三十一文字コンテスト入賞歌集印刷費	91,000円								
		文化財マップ増刷費	69,000円								
12 役務費	100 千円	三十一文字コンテスト募集要項等送料	100,000円								
13 委託料	515 千円	指定文化財維持管理委託料(11団体2個人)	215,000円								
		埋蔵文化財確認調査等作業委託料	864円×4人×7時間×3日=72,576円								
		三十一文字コンテスト掲示板2基作製設置委託料	227,000円								
14 使用料及び賃借料	241 千円	埋蔵文化財確認調査用掘削機借上げ料	6,868円×7時間×5日=240,380円								
15 負担金、補助金及び交付金	3,727 千円	伝承芸能保存育成交付金	150,000円								
		文化振興財団自主事業補助金	3,427,000円								
		文化振興激励費交付金	150,000円								
4 事業の効果	地域文化の向上と活性化を期待し、ふるさと白石町の歴史に関する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りを愛着心を増進させる。										

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	10	項	5	目	4	細事業名	青少年育成費			所属	生涯学習課 生涯学習係
目 名 称	青少年育成費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,600					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	3,623	前年度最終	3,223			300		2,310	990	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

1 目的

青少年の健全育成を積極的に推進するために、地域の人たちや関係団体との協力のもと、地域ぐるみで見守り、地域を拠点とした文化活動、野外活動、自然活動を行う。大自然の中で、たくましさや自主性を学び、友情を育み、自然体験をとおして子ども達の資質を高め、白石町の青少年リーダー育成をめざす。

2 事業内容

□放課後子ども教室推進事業 国1/3、県1/3、市町1/3 補助対象経費450千円×2/3=300千円

○おおどぼう倶楽部・・・町内小学校4～6年生の希望者に、野外活動を中心とした年間8回程度の体験学習活動を行う。

○ジュニア合唱教室・・・小学生の希望者を対象に、毎月第2第4土曜日、合唱の指導を行う。

□青少年育成町民会議・・・理事会、総会、研修会等の開催。学校・PTA・老人会・地域の見守り隊への協力、非行防止活動のための防犯パトロールの実施、自主性と異学年間の交流を目的にした通学合宿の実施。青少年育成活動を行なう団体への助成。花いっぱい運動を主体とした環境美化活動。

参加負担金

内 容	金額
おおどぼう	18,000円×45人
合計	810千円

放課後子ども教室推進事業

項 目	金額
国県費	300千円
参加料	810千円
町 費	1,890千円
合計	3,000千円

3 予算額

8 報償費	630千円	おおどぼう:特別講師謝金 10,000円/回×4人=40,000円 指導員謝金 720円/hr×4時間×のべ87人=250,560円 Jr合唱:講師謝金 3,000円×3人×35回=315,000円 特別講師謝金12,000円×2回=24,000円
9 旅 費	1,644千円	長崎県大島村民泊費等 小人6,480円×45人×2日=583,200円 大人9,800円×8人×2日=156,800円 引率者日当 1,000円×8人×3日=24,000円 小人体験2種8,000円×45人=360,000円 大人3,500円×8人=28,000円 フェリー代 小人300円×45人×2回=27,000円 大人590円×7人×2回=8,260円 自動車航送料(1台) 5,750円 島内移動他13,000円 安心院民泊費 7,700円×45人=346,500円 スタッフ・運転者 9,800円×8人=78,400円 引率者日当 1,000円×6人×2日=12,000円
11 需用費	492千円	活動教材・食材費 おおどぼう倶楽部:年間8回活動 422,000円、ジュニア合唱教室:35回(毎月2回 出演他) 70,000円
12 役務費	112千円	おおどぼう小人800円×45名=36,000円 大人1,850円×20名=37,000円 Jr合唱小人・大人800円×30名=24,000円 通信用切手代 82円×45人×4回=14,760
14 使用料及び 賃借料	122千円	諫早少年自然の家施設使用料他 22,080円 ふれあい郷遊喜館施設及び備品使用料 11,000円 干潟体験使用料他 88,000円
19 負担金補助 及び交付金	600千円	青少年育成町民会議補助金 600,000円

4 事業の効果

青少年育成事業をとおし、地元の人たちの指導・協力・サポートによって、白石町の子ども達がたくましく元気に育ち、安全で明るい地域づくりができる。子どもたちの生きる力を育み、地域教育力の向上が図られる。また、集団での自然体験を行うことにより、自然の美しさ・厳しさを体感し、自立を促し、社会の一員としての責任感を知り、白石町の子どもとしての様々な能力を養う。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	6	目	1	細事業名	スポーツ事業費			所属	生涯学習課 生涯スポーツ係
目 名 称	保健体育総務費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,039					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	172・173
	前年度当初	1,056	前年度最終	1,056					1,039	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

1 目的

町全体規模のスポーツ大会を通じて、健康づくり・体力向上と、町民の親睦融和を図る。「スポーツでまちを元気に、まちがひとつに」
また、各種スポーツ教室を実施することにより、町民の健康や親子のふれあい等の推進を図る。

2 事業内容

町全体でのスポーツイベントを開催し、スポーツの振興を広く町民に呼びかける。

- ① 自治公民館対抗男子ソフトボール大会
- ② 自治公民館対抗女子ソフトバレーボール大会
- ③ ニュースポーツ教室・体力づくり教室・パークゴルフ教室等

3 予算額

			男子ソフトボール	女子ソフトバレーボール	スポーツ教室
08.報償費	謝礼及び謝金	326 千円	審判講習会謝金 1名 大会役員謝金 55名 214千円	大会役員謝金15名 52千円	出前講座謝金 40千円
589 千円	賞品代	263 千円	優勝・準優勝賞品(商品券)、参加賞 162千円	優勝・準優勝賞品(商品券)、参加賞 101千円	パークゴルフ教室 20千円
09.旅費	費用弁償	56 千円	-	-	費用弁償 56千円
56 千円	消耗品費	301 千円	ソフトボール、メンバー表、ロジンバッグ、プロテクター、賞状、事務用品費ほか 167千円	ソフトバレーボール、ネット、ラインテープ、アルコールシート(笛消毒用)、賞状、事務用品費ほか 129千円	一般消耗品 5千円
11.需用費	医薬材料費	14 千円	冷却スプレー 消毒液(補充用) 14千円		
315 千円		35 千円	-	審判講習会・大会審判委託料 35千円	-
13.委託費	原材料	44 千円	石灰代、グランドポイント材料代 44千円	-	-
35 千円					
16.原材料					
44 千円					

4 事業の効果

町全体でのスポーツ大会やスポーツ教室を実施することにより、町民の健康増進と融和を図ることができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	6	目	1	細事業名	ロードレース大会費 (歌垣の郷ロードレース大会)			所属	生涯学習課 生涯スポーツ係
目 名 称	保健体育総務費					財 源 内 訳					
予 算 額	4,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	173
	前年度当初	4,000	前年度最終	4,000				3,000	1,000	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実		

1 目的

中・高校生の駅伝大会における全国的な活躍により、町民の駅伝に対する期待と関心が高まっているなか「駅伝の町しろいし」「歌垣の郷しろいし」を全国的に広めるため、歌垣の郷ロードレース大会を開催し、町民の健康増進と町の活性化を図る。

2 事業内容

大会開催日 :平成30年3月11日(毎年3月第2日曜日開催)
 企画・運営 :実行委員会形式により、11月より3月まで5回の実行委員会を開催
 競技種目 :日本陸連公認コース10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ファミリージョギングの部 合計5種目・15競技を開催
 参加料 :第21回大会より、自動計測タグを使用する種目については、一律500円アップ。
 2キロ・3キロ・5キロ・10キロ 小中学生1,000円 高校生2,000円 1.7キロファミリージョギング 小中学生500円 高校生1,500円

3 予算額

13.委託料 4,000 千円
 13.委託料 4,000 千円
 その他委託料 4,000 千円 歌垣の郷ロードレース大会委託料(大会運営費等)

4 事業の効果

競技申込者:第1回・769名 第2回・985名 第3回・1,115名 第4回・1,503名 第5回・2,104名 第6回・2,014名 第7回・2,185名 第8回・2,343名 第9回・2,324名
 第10回・2,946名 第11回・2,522名 第12回・2,718名,第13回・2,776名,第14回・2,788名(平成20年度),第15回・2,701名(平成21年度)
 第16回・2,814名(平成22年度) 第17回・2,720名(平成23年度) 第18回・2,784名(平成24年度) 第19回大会・2,746名(平成25年度) 第20回大会・3,154名(平成26年度)
 第21回大会・2,575名(平成27年度)・第22回大会・2,272名(平成28年度)
 ※ロードレース大会を実施することにより、町の活性化や町のPRができ、町民のスポーツに対する意識も高めることができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	6	目	2	細事業名	白石社会体育館改修事業費			所属	生涯学習課 白石公民館係
目 名 称	体育施設管理費					財 源 内 訳					
予 算 額	127,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	174
	前年度当初	6,000	前年度最終	3,640			110,000		17,500	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実		

1 目的

白石社会体育館は、社会体育施設として利用者も多く、白石中学校の授業や部活動の場としても利用されており、また、白石町防災計画の中でも避難所として指定されている。当体育館は、昭和51年に建築され40年が経過し老朽化が激しいため施設の改修を行い、利用者が安全に安心して活用できるような施設を提供し、生涯スポーツの推進を図る。

2 事業内容

- ・ 建築年月 昭和51年3月
- ・ 構造 1階:鉄筋コンクリート造り、2階:鉄骨造り
- ・ 延面積 1973.35㎡ (1階:1,641.77㎡ 2階:331.58㎡)

○ 委託料 ・ 工事監理業務委託料

○ 工事内容 ・ 屋根、天井、外壁、内装・建具、玄関スロープ及び外溝等の改修工事

3 予算額

節	名 称	予算額	備 考
13.委託料	白石社会体育館改修工事監理委託料	5,500	
15.工事請負費	白石社会体育館改修工事費	122,000	工事予定期間 H29年6月下旬~H30年3月上旬
	計	127,500	

4 事業の効果

施設の長寿命化が図られ、安心安全な施設の提供ができ、町民スポーツの振興等に資することができる。

区分	平成29年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	6	目	2	細事業名	パークゴルフ場費			所属	生涯学習課 生涯スポーツ係
目 名 称	体育施設費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,542					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	0	前年度最終	3,353				1,568	1,974	173・174	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実		

1 目的

近年、パークゴルフは子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツであることから、地域の活性化や健康促進に加え、地域交流が行える「生涯スポーツ」として注目されている。平成28年9月に県内で5番目にオープンした、「しろいしパークゴルフ場」を適切に維持管理し、集客増を図る。

2 事業内容

- ・施設名 しろいしパークゴルフ場(有明干拓記念公園内)
- ・住 所 白石町大字新明2805番地
- ・コース 敷地面積7,530㎡ Aコース PAR33 距離417.5m Bコース PAR33 距離402.5m
- ・料 金 高校生以上300円(3,000円) 中学生100円(1,000円) 小学生以下 無料
貸クラブ・ボールは 高校生以上200円(2,000円) 中学生以下100円(1,000円)
()は13枚綴回数券 消費税別

3 予算額

(単位:円)

節	金額	説 明	備 考
11. 需用費	268,000	消耗品費	12,000 事務用品
		光熱水費	156,000 公園内トイレ水道料・散水用ポンプ電気料
		修繕費	100,000 公園内施設修繕費
12. 役務費	62,000	通信運搬費	24,000 電話通話料(2,000円×12ヶ月)
		券売機保守料	38,000 受付券売機保守契約
13. 委託料	3,090,000	パークゴルフ場管理委託料	3,090,000 受付事務・芝管理・公園内除草等(むつごろうC. C)
14. 使用料及び賃借料	122,000	券売機リース料	122,000 10,152円×12ヶ月(6年リース)
合 計	3,542,000		

4 事業の効果

パークゴルフ場として子どもから高齢者まで幅広い年代で利用できることで、町民の健康増進や各種グループ・団体の利活用で町民の親睦を図ることができる。また、町外からの利用により、交流人口を増やし、地域の活性化に寄与することができる。

平成29年度 起債充当事業一覧

(単位:千円)

事業	事業費	財 源 内 訳				一般財源	備 考	所属課
		国庫	県費	起債	その他			
過疎対策事業債【ハード分】充当事業 合計	701,485	139,260	0	416,600	113,000	28,797		
道路新設改良費	86,397			70,000		16,397		建 設 課
通学路整備事業	107,460	60,540		40,200		6,720		
道路改築・修繕事業	136,800	78,720		12,400	40,000	5,680		
道の駅施設整備事業	370,828			294,000	73,000			産業創生課
過疎対策事業債【ソフト分】充当事業 合計	134,479	0	20,458	90,000	1,524	22,497		
コミュニティタクシー運行事業	16,644			15,000		1,644		企画財政課
敬老の日記念事業	21,105			15,000		6,105		長寿社会課
緊急通報体制等整備事業	1,365			1,000		365		
地域医療体制事業	8,078			6,000	1,422	656		保健福祉課
こどもの医療事業費	69,087		20,458	40,000	101	8,528		
小学生・中学生医療事業費	8,000			5,000	1	2,999		
まちおこし事業補助金	6,200			5,000		1,200		産業創生課
ロードレース大会費	4,000			3,000		1,000		生涯学習課
合併特例債充当事業 合計	1,073,100	41,400	22,000	929,000	4,400	73,300		
振興基金積み立て	780,000			741,000		39,000		企画財政課
農業基盤整備促進事業	44,100		22,000	16,000	4,400	1,700		農村整備課
県営地盤沈下対策事業負担金	48,000			45,000				
橋りょう長寿命化事業	73,500	41,400		17,000		15,100		建 設 課
白石社会体育館改修事業費	127,500			110,000		17,500		生涯学習課

平成29年度 ふるさと寄附金充当事業一覧

(千円)

細事業名(個別事業名)	活用メニュー	基金充当額
しろいし農業塾	活気と魅力ある豊かなまちづくり(移住者支援)	12,500
不妊治療支援事業費	子どもたちが健やかに育つまちづくり(出産支援)	3,000
保育園運営費(公設民営・管外・私立・認定こども園)	子どもたちが健やかに育つまちづくり(子育て支援)	185,000
小6・中3給食費無償化分、無償化に伴う補助金	子どもたちが健やかに育つまちづくり(子育て支援)	18,200
食の自立支援事業(配食サービス)	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり(高齢者福祉)	5,000
重度心身障害者医療給付費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり(障害者福祉)	20,000
土づくり推進事業費補助金	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業振興)	1,000
優良肥育素牛導入事業費補助金	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業振興)	1,500
6次産業推進事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業振興)	3,500
新規農産物開発研究費	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業振興)	2,000
6次産品販路拡大事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業振興)	800
沿岸漁場整備事業底質改善業務	その他(自然環境・保全)	2,500
合 計		255,000

平成29年度地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率(国・地方)が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収部分については、その用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 180,700 千円
 (歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 3,763,563 千円

(単位:千円)

事業名	経費 (予算額)	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	町債	その他	引上げ分の地方消費税(社会保障財源化分の市町村交付金)	その他
社会福祉事業	39,942	4,521	0	531	1,918	32,972
障害者福祉事業	746,724	526,373	0	24,384	35,852	160,115
老人福祉事業	142,607	2,710	16,000	63,765	6,847	53,285
児童福祉事業	1,298,145	437,992	0	356,920	62,328	440,905
子ども・子育て支援事業	62,500	34,772	0	7,223	3,001	17,504
国民健康保険事業	403,931	98,385	0	0	19,394	286,152
介護保険事業	380,402	0	0	0	18,264	362,138
後期高齢者医療事業	479,771	83,700	0	0	23,035	373,036
子ども・小中学生医療事業	77,087	20,458	45,000	102	3,701	7,826
保健衛生事業	42,020	1,330	6,000	6,242	2,018	26,430
疾病予防事業	90,434	577	0	4,655	4,342	80,860
合計	3,763,563	1,210,818	67,000	463,822	180,700	1,841,223

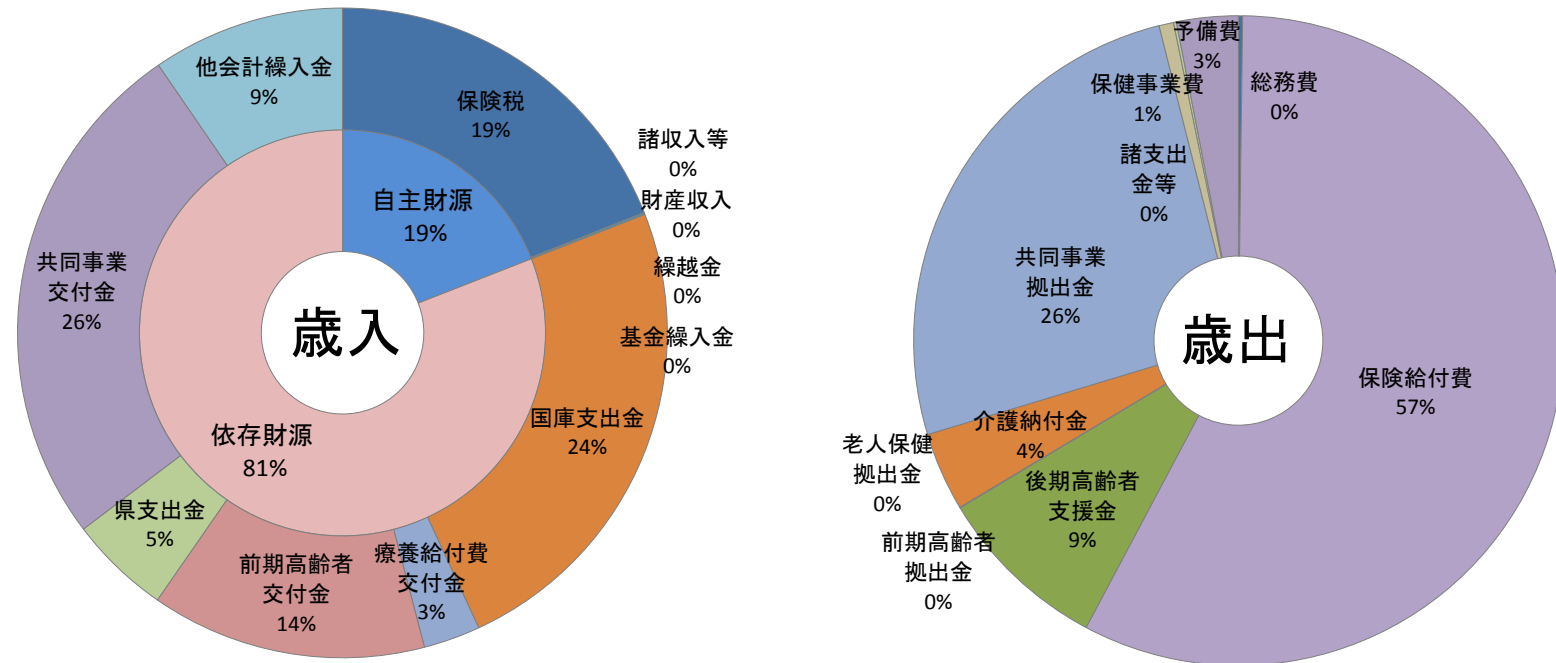
平成29年度 白石町国民健康保険特別会計歳入歳出予算の概要

住民課 保険係

医療費の適正化、資格の適正管理及び収納率の向上等により財政の健全化に努めていますが、被保険者数の減少や近年の医療費の増嵩により健全な国保運営が困難となり、平成25年度の保険率引き上げとともに、一般会計から8千万円の財政補填を受け運営しています。

歳入（主な財源）

- ①保険税 804,600千円（歳入割合：19%）
保険税は歳入の19%を占める貴重な自主財源です。被保険者所得を対前年度比88%と見込んでいます。
- ②国庫支出金 1,020,362千円（歳入割合：24%）
療養給付費等負担金759,491千円は、保険給付費の約3割を賄うものです。高額医療共同事業負担金は26,508千円。特定健診等負担金3,200千円は、特定健診・特定保健指導の実施状況により交付されます。財政調整交付金231,163千円は、保険者の財政の運営状況により交付されます。
- ③療養給付費交付金 119,997千円（歳入割合：3%）
退職者医療制度の被保険者の給付に充てるものです。平成27年度から新規適用はなく今後は減少の見込です。
- ④前期高齢者交付金 581,575千円（歳入割合：14%）
前期高齢者（65歳～74歳）の加入割合に応じて交付されます。
- ⑤県支出金 213,871千円（歳入割合：5%）
高額医療共同事業負担金は26,508千円。特定健診等負担金3,200千円は、特定健診・特定保健指導に対し交付されます。財政調整交付金184,163千円は、保険者の財政の運営状況により交付されます。
- ⑥共同事業交付金 1,092,020千円（歳入割合：26%）
高額医療費共同事業交付金106,033千円は、レセプト1件80万円以上の医療費に対し交付されます。保険財政共同安定化事業交付金985,987千円は、レセプト1円（平成26年度まで20万円）以上の医療費に対し交付されます。平成27年度以降は対象額の拡大に伴い大幅に増加しています。
- ⑦他会計繰入金 406,431千円（歳入割合：9%）
保険基盤安定繰入金131,180千円は、低所得者の保険税軽減相当額を公費（国、県、町）で補填するものです。財政安定化支援事業繰入金14,000千円は、低所得者、病床数、高齢者が多いなどの事情により交付されます。出産育児一時金繰入金は9,800千円。財政補填繰入金は240,000千円を計上しています。



歳出（主な支出）

- ①保険給付費 2,442,141千円（歳出割合：57%）
保険給付費については、過去の給付実績に基づき推計しています。
- ②後期高齢者支援金 365,837千円（歳出割合：9%）
後期高齢者の医療費負担を軽減するため、若年層が財源の一部を負担するものです。
- ③介護納付金 165,871千円（歳出割合：4%）
介護給付費の約3割を各医療保険の第2号被保険者（40歳～64歳）数に応じて負担するものです。
- ④共同事業拠出金 1,092,023千円（歳出割合：26%）
高額医療費共同事業費拠出金106,034千円は、レセプト1件80万円以上の医療費を対象に拠出します。保険財政共同安定化事業拠出金985,988千円は、県内市町国保間の保険料の平準化や財政の安定化を図るため拠出するもので、レセプト1円（平成26年度までは20万円）以上の医療費を対象としています。平成27年度以降は歳入と同様に対象額の拡大に伴い大幅に増加しています。
- ⑤保健事業費 30,918千円（歳出割合：1%）
給付費抑制の観点からも特定健診・特定保健指導（40歳から64歳）を積極的に行うとともに、受診対象外の30歳代の被保険者に対しても引き続き健診を実施します。
特定健診のほか、人間ドック150人（平成28年度比+25人）、脳ドック250人（平成28年度比+50人）の枠を確保し被保険者の更なる健康増進に努めることとしています。

歳入（H29は当初予算、H26・27は決算、H28は決算見込み）

単位：千円

区分	平成29年度の自主財源 (19%)										平成29年度の依存財源 (81%)										合計		前年度比		
	保険税		財産収入		基金繰入金		繰越金		諸収入等		国庫支出金		療養給付費交付金		前期高齢者交付金		県支出金		共同事業交付金					繰入金	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率		金額	伸び率
29	804,600	-9.4%	2	-	1	-	2	-	4,139	169.3%	1,020,362	6.8%	119,997	27.0%	581,575	9.3%	213,871	-8.4%	1,092,020	2.7%	406,431	68.2%	4,243,000	5.8%	232,367
28	888,290	0.2%	0	-	0	-	0	-	1,537	-67.8%	955,717	1.5%	94,457	-29.5%	532,316	4.9%	233,542	7.8%	1,063,077	1.9%	241,697	-29.0%	4,010,633	-1.6%	-64,306
27	886,793	6.0%	0	-	0	-100.0%	0	-	4,777	32.3%	942,045	0.7%	133,922	-30.6%	507,239	-9.5%	216,601	8.0%	1,043,154	99.7%	340,408	23.4%	4,074,939	15.2%	536,692
26	836,619		0		10,000		0		3,611		935,260		193,110		560,673		200,586		522,427		275,961		3,538,247		

歳出（H29は当初予算、H26・27は決算、H28は決算見込み）

単位：千円

区分	総務費		保険給付費		後期高齢者支援金		前期高齢者拠出金		老人保健拠出金		介護納付金		共同事業拠出金		保健事業費		諸支出金		予備費		前年度繰上充用金		合計		前年度比
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	
29	8,951	5.5%	2,442,141	1.9%	365,837	-1.5%	1,329	395.9%	13	0.0%	165,871	0.1%	1,092,023	4.3%	30,918	29.6%	5,917	-77.6%	130,000	-	0	-100.0%	4,243,000	2.5%	102,937
28	8,487	6.3%	2,397,231	0.6%	371,488	-5.9%	268	-0.4%	13	-18.8%	165,704	-7.6%	1,047,143	4.3%	23,850	-3.1%	26,449	81.7%	0	-	99,430	-40.5%	4,140,063	-0.8%	-34,305
27	7,986	2.0%	2,381,860	3.0%	394,911	-1.5%	269	-14.1%	16	0.0%	179,362	-9.2%	1,003,730	85.9%	24,621	13.6%	14,556	-58.7%	0	-	167,057	-11.9%	4,174,368	12.7%	469,064
26	7,831		2,312,490		400,818		313		16		197,566		539,805		21,675		35,267		0		189,523		3,705,304		

区分	平成29年度 当初		会計	国民健康保険特別会計		単位:千円						
款	1	項	1	目	1・2	細事業名	国民健康保険税(歳入)				所属	住民課 保険係
目 名 称	一般被保険者・退職被保険者国民健康保険税					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	804,600					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	9	
	前年度当初	854,200	前年度最終	864,430					804,600	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節		社会保障の充実	

1 目的

国民健康保険税は、国民健康保険を運営する市町村が、運営するために必要な費用に充てるため、被保険者の属する世帯の世帯主に対して賦課する税金であり、分類上は地方税、直接税、目的税に該当する。現在、被保険者相互扶助のための医療給付費分、後期高齢者の負担を軽減するための後期高齢者支援金分、介護保険制度運営のための介護納付金分の3区分で賦課されている。

2 事業内容

平成28年度現計(9月補正後)予算・29年度当初予算比較

区 分		A 28年度現計	B 29年度当初	B-A	B/A	
一般被保険者	現年	医療給付費分	545,000	510,800	△ 34,200	93.72%
		後期支援金分	172,600	161,000	△ 11,600	93.28%
		介護納付金分	80,300	73,300	△ 7,000	91.28%
	滞繰	医療給付費分	20,600	25,800	5,200	125.24%
		後期支援金分	5,600	7,400	1,800	132.14%
		介護納付金分	3,400	4,000	600	117.65%
計		827,500	782,300	△ 45,200	94.54%	
退職被保険者	現年	医療給付費分	22,800	13,300	△ 9,500	58.33%
		後期支援金分	7,100	4,100	△ 3,000	57.75%
		介護納付金分	5,800	3,700	△ 2,100	63.79%
	滞繰	医療給付費分	800	800	0	100.00%
		後期支援金分	210	200	△ 10	95.24%
		介護納付金分	220	200	△ 20	90.91%
計		36,930	22,300	△ 14,630	60.38%	
合 計		864,430	804,600	△ 59,830	93.08%	

平成29年度国民健康保険税の状況

平成29年度国保税の算定に当たっては、平成28年の被保険者所得の減を見込み、予算額としては、対前年度比6.92%減と算定した。
 収納率見込:現年度分95%、滞納繰越分35%

国保世帯数及び被保険者数の状況

	世帯数	被保険者数
A H27年10月	3,564世帯	7,166人
B H28年10月	3,461世帯	6,874人
B-A	△ 103世帯	△ 292人

区分	平成29年度 当初		会計	国民健康保険特別会計		単位:千円						
款	2	項	1	目	1	細事業名	一般被保険者療養給付費				所属	住民課 保険係
目 名 称		一般被保険者療養給付費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	1,980,288					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	19	
	前年度当初	1,940,229	前年度最終	2,022,703		781,593	138,138		598,076	462,481	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 4 節	社会保障の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	---------

1 目的

国民健康保険に基づき、被保険者の疾病、負傷に関して必要な保険給付を行うことにより、地域住民の医療を保障し、住民の福祉増進に寄与する。

2 事業内容

一般被保険者が疾病、負傷のために自己の選定する保険医療機関または、保険薬局で現物給付として行う療養の給付等に要する経費から、一般被保険者の一部負担金に相当する額を控除した額を医療機関に支払う。

3 予算額

19負担金補助 及び交付金	1,980,288千円	給付実績最高額を参考	1,980,288,000円	(27年度から退職者医療制度の新規適用が無く一般被保険者に移行するため漸増)
		21年度	1,835,053,802円	
		22年度	1,790,785,048円	
		23年度	1,878,117,182円	
		24年度	1,878,606,067円	
		25年度	1,854,427,548円	
		26年度	1,887,803,520円	
		27年度	1,925,625,271円	
		28年度(見込)	1,965,170,395円	

4 事業の効果

被保険者の福祉増進に寄与する。

区分	平成29年度 当初			会計	国民健康保険特別会計		単位:千円				
款	8	項	2	目	1	細事業名	特定健康診査			所属	住民課 保険係
目 名 称	特定健康診査等事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	17,478					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	18,661	前年度最終	13,756		3,000	3,000			11,478	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 4 節	社会保障の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	---------

1 目的

高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年4月から医療保険者に対し、40歳～74歳の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査の実施が義務付けられたため、健診を実施し、生活習慣病予防を図る。

2 事業内容

対象者	40歳～74歳の国民健康保険被保険者		
健診項目	基本的な健診項目	既往歴調査、自覚・他覚症状の有無検査、身長、体重、腹囲、BMI測定、血圧、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査	
	詳細な健診項目	貧血検査、心電図検査、眼底検査（医師の判断による）	
健診費用	基本的な健診項目	集団健診:5,640円	個別健診:7,020円 左記金額から自己負担額を差引いた額を公費負担
	詳細な健診項目	集団健診・個別健診	貧血:238円 心電図:1,404円 眼底:1,210円
自己負担額	集団健診:1,000円	個別健診:1,500円	→ 1,000円（平成29年度から個別健診も1,000円とする。）

3 予算額

節	予算額	細 節	内 訳				
07賃金	82千円	日々雇用職員賃金	81,500円	健診通知発送事務	6,400円 × 1人 × 5日 =	32,000円	
				健診時事務補助	825円 × 1人 × 4時間 × 15日 =	49,500円	
11需用費	262千円	消耗品費	261,320円	未受診者勧奨はがき、宛名シール、トナー、事務用品		61,320円	
				未受診者採尿キット等医師会支払分		200,000円	
				受診者勧奨用窓あき封筒(水色)	15円 × 5,200通 × 1.08 =	84,240円	
				個人通知用パンフレット	14円 × 5,200通 × 1.08 =	78,624円	
12役務費	1,331千円	通信運搬費	1,330,800円	各戸配布用パンフレット	14円 × 8,000通 × 1.08 ÷ 2 =	60,480円	
				受診券	5円 × 5,700枚 × 1.08 返信用封筒	7円 × 1,000通 × 1.08	38,340円
				受診票・受診券送付通知	5,000通 × 120円 =	600,000円	
13委託料	15,454千円	その他委託料	15,453,072円	未受診者勧奨通知	4,000通 × 124円 =	496,000円	
				結果通知	1,900通 × 92円 =	174,800円	
				料金後納・受取人払い郵便	5,000円 × 12月 =	60,000円	
14使用料及び賃借料	87千円	その他使用料	86,395円	集団健診	4,640円 × 1,900人 =	8,816,000円	
				ドック、個別健診	6,020円 × 700人 =	4,214,000円	
				詳細な健診、二次健診、国保連手数料、医師会手数料		2,423,072円	
				健診施設使用料(ふれあい郷)	22,000円 × 3日 ÷ 2 =	33,000円	
				国保データベースシステム端末機リース料	4,120円 × 12月 ÷ 1.08 =	53,395円	

4 事業の効果

糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の発症、あるいは重症化や合併症の進行を予防し、医療費の適正化が図られる。

単位:千円

区分	平成29年度 当初			会計	後期高齢者医療特別会計						
款	2	項	1	目	1	細事業名	後期高齢者医療広域連合納付金		所属	住民課 保険係	
目 名 称	後期高齢者医療広域連合納付金					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	315,708 前年度当初 312,137 前年度最終 309,813					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	12
									315,708	0	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 4 節	社会保障の充実		

1 目的 後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2 事業内容 町は、後期高齢者医療制度の事務を処理する特別会計の設置、広域連合の経費負担、保険基盤安定制度の負担、保険料の徴収と広域連合への納付、被保険者の資格・給付等に関する申請・届出の受付など処理している。

3 予算額

項 目	事業費	説 明
保 険 料	188,310	・保険料 = 均等割額 51,800円 + 所得割額(所得額×9.88%)
		・白石町分賦課総額 299,671千円 - 保険基盤安定負担対象額 111,600千円 = 188,071千円(保険料賦課額)
		特別徴収分 135,411 賦課額 188,071千円×特別徴収割合0.72×徴収率100%
		普通徴収分 52,412 賦課額 188,071千円×普通徴収割合0.28×徴収率99.53%
	計 187,823	
	過年度分 487	滞納額650千円×徴収率75%
保険基盤安定負担金	111,600	町負担(1/4) 27,900
		県負担(3/4) 83,700
		計 111,600
		・低所得者軽減額 103,034千円 + 被扶養者軽減額 8,566千円 = 111,600千円 (負担金対象額)
		・県負担分は一般会計で歳入後、町負担分と合わせて後期特別会計へ繰出し、広域連合へ納付
広域連合共通経費 (一般会計分)	6,671	広域連合運営経費(職員人件費、議会費他) 均等割(10%) 965千円 + 人口割(45%) 2,507千円 + 高齢者人口割(45%) 3,199千円 = 6,671千円 (佐賀県広域連合合計192,936千円の約3.46%)
広域連合共通経費 (特別会計分)	9,127	運営経費(電算システム運営費、レセプト点検等) 均等割(10%) 1,087千円 + 人口割(45%) 2,825千円 + 高齢者人口割(45%) 3,606千円 = 7,518千円 (佐賀県広域連合合計217,443千円の約3.46%)
		被保険者証郵送代実費負担金 1,609千円
計	315,708	

4 事業の効果 医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	平成29年度 当初			会計	農業集落排水特別会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	1	細事業名	農業集落排水機能強化事業費			所属	下水道課 下水管理係	
目 名 称	農業集落排水事業費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	67,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	15	
	前年度当初	168,800	前年度最終	53,194		31,000		36,400	100	0	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

供用開始後16年目を迎えた牛屋西分地区農業集落排水施設について、経年劣化による施設の摩耗及び腐食等の対策等の機能強化事業を実施し、施設の長寿命化による効率的な運営を図る。

2 事業内容

牛屋西分地区については、機能強化事業で詳細設計書作成及び水処理センター真空ステーションの機器更新、真空弁ユニット通報装置等の更新を行う。

処理施設工事					真空ステーション工事					管路施設工事				
区 分	全体	H28	H29	H30～	区 分	全体	H28	H29	H30～	区 分	全体	H28	H29	H30～
機器更新・点検整備	28台	2台	2台	24台	ポンプ更新・点検整備	5台	2台	2台	1台	真空弁点検整備	250台	105台	145台	-
電気設備更新・点検整備	22台	-	5台	17台	電気設備更新・点検整備	1式	-	1式	-	無線通報装置	250基	105基	145基	-
水槽防食工事	1式	1式	-	-	発電機設置	1基	-	1基	-	硫化水素対策	2基	1基	1基	-
周辺沈下対策	1式	-	-	1式										

◎ 牛屋西分地区機能強化事業の年度別事業費見込額

総事業費	H27(繰越)事業費	H28事業費	H29事業費	H30以降事業費
259,200	4,774	53,074	67,500	133,852

3 予算額

節	区 分	項 目	事業費	摘 要	財源内訳		
					国費	地方債	繰入金
13	委託料	農業集落排水機能強化事業	2,500	牛屋西分地区	1,000	1,500	0
15	工事請負費	農業集落排水機能強化事業	65,000	牛屋西分地区	30,000	34,900	100
	計		67,500		31,000	36,400	100

<財源内訳>

農山漁村地域整備交付金	31,000 千円
下水道事業債	36,400 千円
施設整備費繰入金	100 千円

4 事業の効果

施設の長寿命化により経費を節減し、事業の効率的な運営が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	特定環境保全公共下水道特別会計		単位:千円				
款	1	項	1	目	1	細事業名	地方公営企業化推進費			所属	下水道課 庶務係
目 名 称	総務管理費					財 源 内 訳					
予 算 額	9,800					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	14
	前年度当初	0	前年度最終	0			9,700	100	0	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

総務省より、平成31年度までに人口3万人以上の地方公共団体が地方公営企業法の適用を行い、公営企業会計を適用することが義務化されている。本町は、人口が3万人未満であるため適用する義務はないが、平成32年4月以降は公営企業会計適用の法制化も検討されているため、平成31年4月に地方公営企業法の適用を行い、経営状況、資産等の正確な把握による経営管理の向上を図る。

2 事業内容

平成31年4月を公営企業法適用開始とし、法適用を行うため下記の業務を委託する。
 ・法適用移行事務支援業務 … 法適用に伴う条例改正、勘定科目の検討、職員研修を行う。
 ・固定資産台帳整理業務 … 下水道事業が有する資産を調査し、資産評価を行う。
 ・会計システム導入業務 … 複式簿記による経営管理を行うため、会計システムを導入する。

3 予算額

※3カ年の債務負担行為を設定。
 ○3カ年の事業費と業務（総事業費 36,000千円）

平成29年度 9,800千円	平成30年度 24,400千円	平成31年度 1,800千円
○主な業務 ・資産調査及び評価 計画準備・資料収集整理・資産評価 ・移行事務手続き支援 関係部局との調整・条例規則の制定変更支援 ・企業会計システム導入 システム設計協議	○主な業務 ・資産調査及び評価 資料収集整理・資産評価、減価償却費等の算出 ・移行事務手続き支援 条例規則の整備・予算調整、打ち切り決算等 ・企業会計システム導入 パッケージソフト・システム初期設定	○主な業務 ・資産調査及び評価 資産評価支援 ・移行事務手続き支援 打ち切り決算等支援 ・企業会計システム導入 システム運用支援

財源内訳

その他 繰入金 一般会計繰入金 総務管理費繰入金 100

4 事業の効果

公営企業の経営基盤の強化が図られる。

区分	平成29年度 当初			会計	特定環境保全公共下水道特別会計		単位:千円				
款	3	項	1	目	1	細事業名	特定環境保全公共下水道施設整備費		所属	下水道課 施設整備係	
目 名 称	公共下水道施設整備費					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	513,271					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	17
	前年度当初	411,504	前年度最終	586,064		225,000		261,300	26,971	0	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的 公共用水路の水質汚濁については各家庭等から排出される生活排水が大きな原因の一つになっているため、下水道の整備を行うことにより生活環境の改善と公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上に寄与する。

第2期事業計画区域

○事業予定期間・・・H27～H32(6年間) ○総事業費・・・3,480,000千円 ○面積・・・48ha ○計画処理人口・・・1,720人 ○排除方式 分流式

2 事業内容

○本年度の主な事業

工事施工地区 中郷・東郷・網代地区の一部、太原地区の一部

(単位:千円)

節	工種等	補助	単独	計
委託料	詳細設計	60,000	8,000	68,000
工事請負費	管路工事等	387,000	40,000	427,000
補償補填及び賠償金	水道管移設等	3,000	2,000	5,000
	事業費計	450,000	50,000	500,000

3 予算額

(単位:千円)

区 分	事業費	事務費・人件費	計	左の財源内訳			
				交付金	起債	繰入金	負担金
国庫補助事業	450,000		450,000	225,000	200,000	1,256	23,744
単独事業	50,000	13,271	63,271		61,300	1,971	
計	500,000	13,271	513,271	225,000	261,300	3,227	23,744

4 事業の効果 潤いのある水環境を守ることにより、安全かつ安心な食料の提供と生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られ、より快適で豊かなまちづくりに貢献できる。

区分	平成29年度 当初		会計	水道事業会計		単位:千円					
款	41資本的支出	項	01建設改良費	目	01設備工事費	細事業名	水道管管網整備事業			所属	水道課 業務係
目 名 称	設備工事費					財 源 内 訳					
予 算 額	94,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	35
	前年度当初	94,200	前年度最終	94,200					94,500	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実			

1 目的

- ① 道路改良工事及び下水道工事の進捗に合わせた配水管布設替等工事をおこない管網の整備充実を図る。
- ② 長期使用の老朽管を更新することにより、漏水・赤水等の防止をおこない、安定した水の供給と有収率の向上を図る。

2 事業内容

【設備工事費】

事業内容	長さ	径	管種	【主な管種／表示記号】
1 県道武雄福富線～県道白石大町線(下葺具)配水管布設工事	L=630m	φ 50	RRVP-L	1. DCIP-GX 水道用ダクタイル鋳鉄管(GX形)
2 県道武雄福富線～県道久間白石線(馬田)配水管布設工事	L=100m	φ 50	RRVP-L	2. DCIP-NS 水道用ダクタイル鋳鉄管(NS形)
3 県道武雄福富線～町道福田線(福田北)配水管布設工事	L=120m	φ 50	RRVP-L	3. DCIP-K 水道用ダクタイル鋳鉄管(K形)
4 国道444号(遠江掬)配水管布設替工事	L=20m	φ 75	DCIP-NS	4. PE 水道配水用ポリエチレン管
5 町道大戸片町線配水管布設替工事	L=40m	φ 75	RRVP-L	5. RRVP-L 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管
6 町道新村線道路改良工事に伴う配水管布設替工事	L=180m	φ 75	RRVP-L	6. SGP-VD 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管
7 農道有明第一-15, 112号線配水管布設替工事	L=490m	φ 50	RRVP-L	
8 町道高町百貫線道路改良工事に伴う水管橋架替工事	L=30m	φ 250	DCIP-NS	
9 町道横手第7号線配水管布設替工事	L=460m	φ 50	RRVP-L	
10 里道(道-63)町道新盛西南線～町道廻里津日登線配水管布設替工事	L=230m	φ 50	RRVP-L	
11 町道西南沖清線配水管布設替工事	L=60m	φ 50	RRVP-L	
12 町道干拓線連絡配水管布設替工事	L=530m	φ 100	PE	
13 県営地盤沈下対策事業 58号3号暗渠改修工事	L=30m	φ 150	DCIP-NS	
14 国道207号(太原上)配水管布設替工事	L=220m	φ 75	PE	
	L=3140m			

(注)事業個所、延長については現時点での予定工事量であり、国県道、町道改良工事、下水道工事等の進捗により、変更を伴う。

3 予算額 94,500千円

4 事業の効果

道路改良工事等と同時施工することにより、工事コストの省力化を図りながら、老朽管更新等の進捗率を高め、併せて漏水防止等の解消を行い、安全で安定した水の供給を行う。